

令和7年度

通常総会

令和7年6月21日（土）宮崎県看護等研修センター



「看護の日」キャラクター
宮崎県かんごちゃん



公益社団法人 宮崎県看護協会

令和 7 年度 宮崎県看護協会

通常総会要綱

目 次

宮崎県看護協会の基本理念

会長あいさつ

通常総会プログラム

提出議題

第一号議案 令和 7 年度役員等選出	7
令和 8 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出	8
(委員任命) 令和 8 年度選挙管理委員会委員の任命	8
第二号議案 令和 6 年度決算報告（案）並びに監査報告	9

報告事項

報告事項 1 令和 6 年度理事会報告	13
令和 6 年度常任理事会報告	15
報告事項 2 令和 6 年度重点事業並びに事業報告	16
職能委員会報告	30
保健師職能委員会	30
助産師職能委員会	31
看護師職能委員会 I	32
看護師職能委員会 II	33
常任委員会報告	36
推薦委員会	36
教育委員会	36
働き続けられる職場環境づくり推進委員会	37
広報出版委員会	38
特別委員会報告	39
看護制度委員会	39
医療安全推進委員会	39
認定看護管理者教育運営委員会	40
学会委員会	41
実習指導者講習会検討委員会	42
まちの保健室地区代表者委員会	43
災害看護委員会	44
専門・認定看護師委員会	45
令和 6 年度地区活動報告	47
令和 6 年度日本看護協会理事会及び地区別法人会員会報告	57
報告事項 3 令和 7 年度重点事業並びに事業計画	60
報告事項 4 令和 7 年度収支予算	69

活動報告資料

令和 6 年度研修分類別研修実績	73
令和 6 年度キャリア支援講話報告	76
令和 6 年度看護職員無料職業紹介事業報告	77
令和 6 年度復職支援研修受講者就業状況調査報告	78
令和 6 年度看護系進学状況調査結果	79
令和 6 年度看護の出前授業実施報告	79
令和 6 年度看護管理者等支援事業報告	80
令和 6 年度宮崎県看護職員需給調査結果【概要】	81
令和 6 年度訪問看護推進事業報告	82
令和 6 年度宮崎県看護協会訪問看護ステーション報告	84

資料

定款	89
定款細則	95
会館整備資金取扱規程	99
組織図	100
令和 6 年度役員・委員名簿	101
令和 7 年度日本看護協会代議員及び予備代議員名簿	103
令和 6 年度・7 年度 表彰者名簿	104
令和 6 年度各種事業に伴う委員会	105
令和 6 年度関係機関等への委員等の参画	106
令和 6 年度関係団体の後援	108
令和 7 年度入会施設一覧・名誉会員・個人会員	109
年次別入会者数	118
県内就業者数と入会状況	119
全国看護協会会員数と入会率	120
日本看護協会歌	121

宮崎県看護協会の基本理念

I 使命

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。そのため、

- 一 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- 一 看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- 一 人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

II 活動理念

- 一 看護職の力を変革に向けて結集する
- 一 自律的に行行動し協働する
- 一 専門性を探究し新たな価値を創造する

III 基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の3つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の6つの実現手法を用いて、人々の健康な生活の実現を図るものである。

令和7年度 宮崎県看護協会通常総会開催にあたって

会長 久保敦子

会員の皆さんには、日頃より看護協会事業へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

会長就任から1年が経過しました。この1年、宮崎県の看護職能団体を代表する立場での役割の重さを感じるとともに、県内の医療・看護・福祉を検討する多くの場で得られた情報や課題を理解し、本協会として何をすべきかを考えながら、様々な事業に取組んでまいりました。

さて、日本看護協会は、本年6月、「看護の将来ビジョン2040～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」を公表しました。将来ビジョンでは「2040年のすがた」として、人口減少地域でのインフラの維持困難、高齢者の多い地域での共助機能の弱体化、複合ニーズを有する人々の増加、加えて、治療や療養、看取りの場が在宅等へ移行することにより、看護職の多くが活躍の場を地域に広げて人々の健康や、療養を支える存在になることが、予測されています。

宮崎県では、これらの状況が全国より早く、2040年を待たずしてそのすがたになると想えます。さらに、宮崎県の看護に関する特徴的な問題として、全国に比べ低賃金であることも影響した若者の県外流出による人員不足、中小規模病院における看護管理者を支える体制不足などがあります。

また、日本看護協会は、2040年に向け看護職が挑戦する3つの目標として、①その人らしさを尊重する生涯を通じた支援、②専門職としての自律した判断と実践、③キーパーソンとしての多職種との協働を掲げています。そして、これらの目標達成には、看護職が活躍する基盤として、看護職一人ひとりのウェルビーイングを重視した職場環境や雇用制度を整えること、自己研鑽と主体的なキャリアの形成のためのシステムがあること、多様で柔軟な働き方への雇用者・看護管理者の思考の転換を必要としています。

そこで、宮崎県看護協会では、令和7年度の重点事業として次の5つを掲げ、取り組むことと致しました。

- 1 全世代の健康を支える看護機能の強化
- 2 看護専門職としての生涯学習（キャリア継続）の支援
- 3 就業継続が可能な看護職の働き方改革の推進
- 4 地域における健康危機管理の推進
- 5 組織力の維持

宮崎の医療・介護・福祉を守る職種として、一人ひとりがいきいきと働きつつ、自己の専門性ならびに実践能力の向上を図り、看護職の職責を果たしていくよう、会員の皆さんと共に歩んでいきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度公益社団法人宮崎県看護協会 通常総会プログラム

日 程 令和7年6月21日（土） 10：00～12：25
会 場 宮崎県看護等研修センター 大研修室

- 9：30 開場
9：55 オリエンテーション
10：00 開会
物故会員への默とう
会長あいさつ
来賓祝辞
来賓紹介
宮崎県看護協会長表彰
各種表彰者紹介
- 10：45 議長団選出
議事録署名人決定
10：50 議決事項
第一号議案 令和7年度役員等選出
令和8年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出
- 令和8年度選挙管理委員会委員の任命
< 選 挙 >
- 11：10 第二号議案 令和6年度決算報告（案）並びに監査報告
- 11：25 報告事項
報告事項1 令和6年度理事会報告
報告事項2 令和6年度重点事業並びに事業報告
報告事項3 令和7年度重点事業並びに事業計画
報告事項4 令和7年度収支予算
- 12：10 選挙結果報告
新役員紹介
議長団退出
退任役員代表あいさつ
- 12：25 閉会

提 出 議 題

第一号議案

令和 7 年度役員等選出	7
令和 8 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出	8

(委員任命)

令和 8 年度選挙管理委員会委員の任命	8
---------------------	---

第二号議案

令和 6 年度決算報告（案）並びに監査報告	9
-----------------------	---

(第一号議案)

令和7年度役員等選出
令和8年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出

令和7年度改選役員候補者

役職名	定数	改選	候補者	候補者名	所 属	現・新
会 長	1	1	1	久保 敦子	宮崎県看護協会	現
副 会 長	2	2	2	田中 美幸	自宅	現
				中村 小夜子	宮崎大学医学部附属病院	現
常 務 理 事	2	2	2	永野 秀子	宮崎県看護協会	現
				川崎 伸子	宮崎県看護協会	現
保健師職能理事	1	1	1	松尾 祐子	宮崎県中央保健所	新
助産師職能理事	1	1	1	田中 優子	古賀総合病院	現
看護師職能Ⅰ理事	1	1	1	釣崎 信	西都病院	現
看護師職能Ⅱ理事	1	1	1	黒木 正樹	介護老人保健施設螢邑苑	現
地区理事	7	7	7	鴨田 充世	延岡市医師会病院	現
				富山 由美	和田病院	現
				関原 昭吾	鶴田病院	現
				福満 美和	宮崎大学医学部附属病院	新
				荒武 昌代	藤元総合病院	現
				山之口 和樹	えびの市立病院	新
				大木 郁美	宮崎県立日南病院	新
准看護師理事	1	1	1	押川 朋一郎	近間病院	新
外 部 理 事	1	1	1	横山 幸子	宮崎県社会福祉協議会	新
監 事	3	3	3	荒瀬 みえ	自宅	新
				小城 一代	自宅	新
				三浦 洋司	三浦会計事務所	現

令和7年度推薦委員会委員候補者

候補者名	所 属	現・新
甲斐 聰	五ヶ瀬町国民健康保険病院	新
湯浅 宏美	宮崎県延岡保健所	新
河野 由香里	若草病院	新
中山 雄貴	宮崎大学医学部附属病院	新
池永 博恵	おび中央病院	新
上森 妃美	都城市郡医師会病院	新

令和8年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者

番号	代議員・予備代議員区分	氏名	職能別	役職等
1	代議員候補者	中村 小夜子	看護師	副会長
2	代議員候補者	永野 秀子	保健師	常務理事
3	代議員候補者	松尾 祐子	保健師	保健師職能理事
4	代議員候補者	田中 優子	助産師	助産師職能理事
5	代議員候補者	釘崎 信	看護師	看護師職能Ⅰ理事
6	代議員候補者	黒木 正樹	看護師	看護師職能Ⅱ理事
7	代議員候補者	押川 朋一郎	准看護師	准看護師理事
8	代議員候補者	鴨田 充世	看護師	延岡・西臼杵地区理事
9	代議員候補者	荒武 昌代	看護師	都城・北諸県地区理事
予備 1	予備代議員候補者	田中 美幸	保健師	副会長
予備 2	予備代議員候補者	川崎 伸子	看護師	常務理事
予備 3	予備代議員候補者	田邊 真理	保健師	保健師職能委員
予備 4	予備代議員候補者	長倉 千夏	助産師	助産師職能委員
予備 5	予備代議員候補者	長友 三梨子	助産師	助産師職能委員
予備 6	予備代議員候補者	平山 薫	看護師	看護師職能委員（Ⅰ領域）
予備 7	予備代議員候補者	兒玉 真由見	看護師	看護師職能委員（Ⅱ領域）
予備 8	予備代議員候補者	池上 好枝	准看護師	元准看護師理事
予備 9	予備代議員候補者	関原 昭吾	看護師	西都・児湯地区理事
予備 10	予備代議員候補者	福満 美和	看護師	宮崎・東諸県地区理事

令和8年度選挙管理委員会委員の任命について

公益社団法人宮崎県看護協会は、役員・推薦委員並びに日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選挙を公正に行うために、事前に選挙管理委員会を設置し以下の任務を行うものとします。

- (1) 選挙に関する公示（選挙の4か月前までに正会員に公示する）
- (2) 立候補、又は候補者辞退の届出の受理
- (3) 推薦委員会から推薦候補者名簿の受理
- (4) 立候補者及び推薦候補者の公示
- (5) 投票及び開票の管理
- (6) 当選者の確定
- (7) 当選者の総会議長への報告
- (8) その他選挙事務の管理に必要と認めた事項

令和8年度選挙管理委員会委員候補者

職種	氏名	所属
保健師	地田 良美	宮崎市保健所
保健師	中川 優馬	宮崎県福祉保健部福祉保健課
助産師	長倉 千夏	宮崎県立宮崎病院
助産師	川辺 恵	古賀総合病院
看護師Ⅰ	日高 栄美	和田病院
看護師Ⅰ	岩切 ひとみ	西都病院
看護師Ⅱ	谷口 世志美	自宅
看護師Ⅱ	作本 愛	はまぼう訪問看護ステーション

(別冊)

報 告 事 項

報告事項 1 令和 6 年度理事会報告.....	13
報告事項 2 令和 6 年度重点事業並びに事業報告.....	16
報告事項 3 令和 7 年度重点事業並びに事業計画.....	60
報告事項 4 令和 7 年度収支予算.....	69

(報告事項1) 令和6年度 理事会報告

1. 役員総数：理事 17名、監事 3名

2. 開催回数：8回

3. 開催状況

回数	日時	主な協議事項	出席者数	
			理事	監事
第1回	令和6年 4月13日(土) 10:00～11:10	協議1. 基本方針：なし 協議2. 事業推進に関する事項 2-1 事業報告（令和6年1月～3月分）（案）について：承認 2-2 第1回常任委員会・特別委員会合同委員長会議について：承認 協議3. 管理的事項：なし 協議4. 人事関係：なし 協議5. その他：なし	14名	3名
第2回	令和6年 5月23日(木) 9:55～10:50	協議1. 基本方針 1-1 令和6年度宮崎県看護協会事業計画（案）について：承認 協議2. 事業推進に関する事項：なし 協議3. 管理的事項 3-1 令和5年度決算報告（案）並びに監査報告について：承認 協議4. 人事関係：なし 協議5. その他：なし	15名	3名
第3回	令和6年 6月15日(土) 12:22～12:47	協議1. 会長（代表理事）及び副会長の選定（案）について：承認 協議2. 常務理事の選定（案）について：承認 協議3. 会長代行の優先順位（案）について：承認	17名	3名
第4回	令和6年 7月13日(土) 11:00～11:55	協議1. 基本方針 令和6年度事業計画（案）：承認 協議2. 事業推進に関する事項 2-1 事業報告（令和6年4月～6月分）（案）：承認 2-2 令和6年度施設代表者会議（案）について：承認 2-3 常任委員会（教育委員会）委員の辞退に伴う後任の選定について：承認 協議3. 管理的事項 「訪問看護ステーションなでしこ館職員給与規程」の改正（案）について：承認 協議4. 人事関係：なし 協議5. その他：なし	15名	3名
第5回	令和6年 10月19日(土) 9:55～11:52	協議1. 基本方針：なし 協議2. 事業推進に関する事項 2-1 事業報告（令和6年7月～9月分）（案）：承認 協議3. 管理的事項 3-1 「宮崎県看護協会公印取扱規程」の改正について（案）：承認 協議4. 人事関係：なし 協議5. その他：なし	12名	3名

回数	日時	主な協議事項	出席者数	
			理事	監事
第6回	令和6年 12月7日(土) 9:57~11:18	協議1. 基本方針 1-1 令和7年度教育計画（案）について：承認 協議2. 事業推進に関する事項：なし 協議3. 管理的事項：なし 協議4. 人事関係：なし 協議5. その他 5-1 令和7年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について： 承認 5-2 令和7年度日本看護協会長表彰候補者の推薦について	16名	3名
第7回	令和7年 1月18日(土) 9:55~11:45	協議1. 基本方針：なし 協議2. 事業推進に関する事項 2-1 事業報告（令和6年10月～12月分）（案）：承認 2-2 「定款細則」及び「選挙及び選挙管理委員会に関する規則」の改正について：承認 2-3 特別委員会「医療安全推進委員会」「まちの保健室地区代表者委員会」の構成委員の変更（案）について：承認 2-4 特別委員会『宮崎県看護協会史～活動の記録（仮）～』編さん委員会の設置について：承認 協議3. 管理的事項：なし 協議4. 人事関係：なし 協議5. その他：なし	17名	2名
第8回	令和7年 3月15日(土) 10:00~11:45	協議1. 基本方針 1-1 令和7年度重点事業並びに事業計画（案）：承認 協議2. 事業推進に関する事項： 令和7年度宮崎県看護協会通常総会について 2-1 プログラム（案）について：承認 2-2 通常総会議長団等の選出（案）について：承認 2-3 通常総会提出議案：承認 2-4 令和8年度選挙管理委員会委員について：承認 2-5 令和7年度職能委員並びに常任委員等（案）の選任について：承認 2-6 令和7年度宮崎県看護協会収支予算（案）について：承認 協議3. 管理的事項 3-1 寄附金の執行について：承認 3-2 「育児・介護休業等に関する規則」の改正について：承認 協議4. 人事関係：なし 協議5. その他 5-1 令和7年度宮崎県看護協会長表彰候補者の選考について： 承認 5-2 令和7年度理事会等開催計画（案）について：なし	16名	3名

令和6年度 常任理事会報告

1. 構成員：会長・副会長（2名）・常務理事（2名）

2. 開催回数：7回

3. 開催状況

回数	日時	主な協議事項	出席
第1回	令和6年 4月10日(水) 10:00～11:30	第1回（4月13日）理事会の協議事項・報告事項について	5名
第2回	令和6年 5月22日(水) 10:00～11:10	第2回（5月23日）理事会の協議事項・報告事項について	5名
第3回	令和6年 7月10日(水) 10:00～11:35	第4回（7月13日）理事会の協議事項・報告事項について	5名
第4回	令和6年 10月16日(水) 10:00～11:45	第5回（10月19日）理事会の協議事項・報告事項について	5名
第5回	令和6年 12月4日(水) 9:50～11:25	第6回（12月7日）理事会の協議事項・報告事項について	5名
第6回	令和7年 1月15日(水) 10:25～11:55	第7回（1月18日）理事会の協議事項・報告事項について	5名
第7回	令和7年 3月12日(水) 10:00～12:00	第8回（3月15日）理事会の協議事項・報告事項について	5名

(報告事項2) 令和6年度重点事業並びに事業報告

重点事業

1. 地域包括ケアを支える看護提供体制の強化
2. 看護職の働き方改革の推進
3. 看護職の役割拡大の推進と人材育成
4. 地域における健康危機管理体制の整備
5. 組織力の強化

1. 地域包括ケアを支える看護提供体制の強化

重点事業 (実施内容)		事業内容	参照 (事業報告)
番号	内容		
1)	多職種との連携推進	<ul style="list-style-type: none"> ○看護職と多職種との交流 ○地区活動 ○関係機関等との連携強化 	4-1) (1) 7-1) (1)④ 7-3) (1)②
2)	地域における健康支援	<ul style="list-style-type: none"> ○まちの保健室の開催 ○生涯を通じた女性の健康支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「いいお産の日」のイベントの実施 ○地域の健康課題に対応した研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・3職能4委員会合同研修 「虐待の現状について～サインと対応～」 ・自殺対策に係る人材育成研修 ・看護職員認知症対応力向上研修 ○地区活動 	4-3) (1) 4-3) (2) 3-2) 4-3) (5) 4-3) (6) 7-1) (1)④
3)	在宅療養を担う看護職の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問看護推進事業（宮崎県委託事業） <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護推進協議会運営事業・訪問看護推進検討会 ・訪問看護推進協議会運営事業・訪問看護実態調査の実施 ・訪問看護人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> 訪問看護研修 STEP1・STEP2 訪問看護管理者研修（ベーシックコース） 訪問看護管理者研修受講者フォローアップ研修 訪問看護師養成コアカリキュラム研修 新卒訪問看護師育成研修 ・看護人材連携支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 専門看護師・認定看護師による研修会・相談会 医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修 訪問看護管理者交流研修 ・訪問看護相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 県民及び訪問看護ステーション等への情報提供、相談対応 訪問看護ステーション運営支援研修 ○研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師職能II研修会 「在宅でも医療的ケア～在宅腹膜透析・最新在宅医療機器の使い方～」 ・新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 アドバンス・ケア・プランニングを正しく理解しよう 入退院支援看護師養成研修 ・看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 外来看護管理～新しい外来を創造する ○地区活動 	6-1) (1) 3-2) (4)③ 1-1) (1) 1-1) (1) 7-1) (1)④

4)	訪問看護総合支援センター設置に向けた活動	○県行政等への要望活動	7-3) (1)①
----	----------------------	-------------	-----------

- ・看護協会は県・市町村・関係機関等の協議会等の構成メンバーであり、看護職の立場から意見を述べるとともに、多職種と検討し、地域の健康課題の解決に参画している。
- ・まちの保健室や「いいお産の日」のイベント、地域の健康課題に対応した研修会等を通じ、県民の健康支援に寄与している。
- ・訪問看護の推進のために検討会や研修会を実施し、訪問看護の質向上を図り在宅療養を推進した。
- ・県民や訪問看護ステーション等関係機関からの在宅療養に関する相談に対応し、サービス提供体制の推進に取り組んだ。
- ・在宅での腹膜透析、アドバンス・ケア・プランニング、入退院支援に関する研修を行い、在宅療養を推進する一助となった。

2. 看護職の働き方改革の推進

重点事業 (実施内容)		事業内容	参照 (事業報告)
番号	内容		
1)	看護職の働き方改革(多様な働き方、待遇改善の推進)	○職場環境づくり推進事業（宮崎県委託事業） <ul style="list-style-type: none"> ・看護職の働き方改革推進研修会 ・看護職員の勤務環境についての調査報告 ・施設代表者会議において勤務環境調査結果の報告 ・働き続けられる労働環境づくりを推進する施設の支援 	2-1) (1)
2)	看護職が健康で安全に働く職場環境（ヘルシーワークプレイス）の実現に向けた取り組み	○研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師職能Ⅰ研修会 「看護業務効率化のための実践報告」 ○看護管理者等支援事業（宮崎県委託事業） <ul style="list-style-type: none"> 対象機関への相談支援の実施 事業報告会（2地区） 	3-2) (3)③ 2-1) (2)
3)	ナースセンターの利用促進(人材確保・定着・復職支援)	○ナースバンク事業（宮崎県委託事業） <ul style="list-style-type: none"> ・無料職業紹介 ・広報 ナースセンターだより（「なでしこ」内に掲載） LINEによる情報発信 PRグッズ作成 ・ハローワークでの就業相談 ・求人施設への情報提供、助言 ・求職者への情報提供、助言 ○看護職員需要調査（宮崎県委託事業） ○復職支援事業（宮崎県委託事業） <ul style="list-style-type: none"> ・研修会 講義・演習コース 看護の分野別理解コース（認知症・訪問看護） 採血・点滴技術演習 復職支援交流カフェ ・セカンドキャリア支援 プラチナナースカフェの実施 ・就職準備セミナー ・地区別復職支援研修 地区研修（延岡） 採血技術演習・復職支援研修の実施（ハローワーク） ・令和6年度受講生に対する就業状況調査・就業支援 	2-2) (1) 2-2) (4) 2-3) (1)
4)	看護職の人材活用システムの周知	○看護職の人材活用システム（NuPS）の周知 <ul style="list-style-type: none"> 〔システム運用開始予定が令和7年度秋となったため、〕 周知は次年度以降に行う。 	2-2) (5)

5)	未来の看護の担い手の育成、看護学生への県内就業促進の取組み	○県内看護学校卒業生へのPRグッズの配付 ○「みやざきナース Today2024」の開催 ○看護進路相談会 2024 の開催 ○看護の出前授業の実施 ○「ふれあい看護体験 2024」の実施 ○看護系進学状況調査の実施	2-2) (1)② 2-4) (1)① 2-4) (2)① 2-4) (2)② 2-4) (2)③ 2-4) (2)④
----	-------------------------------	---	--

- ・看護職の働き方改革に関しては、看護職員の勤務環境についての調査報告結果をもとに、看護職の働き方改革推進研修会を行い、多様な働き方、DXの活用、処遇改善を推進した。
- ・職能委員会においては、「看護業務効率化」をテーマに研修会を実施、働き方改革の一助となった。
- ・看護管理者等支援事業において、対象機関への訪問を行い、看護管理者へ看護管理への助言、人材確保の方法を情報収集し、研修会での事例報告や好事例集を作成しホームページに掲載することで人材確保を推進した。
- ・看護職員需要調査では、県内の採用の充足率（74.4%）、離職率（新卒 8.8%、新卒以外 24.3%）等の人材確保・定着に必要な基礎資料を得ることができた。
- ・研修受講を通して潜在看護職のスキルアップを図るとともに復職支援を推進した。
- ・ふれあい看護体験等を通して、未来の看護職等へ看護の魅力を発信した。

3. 看護職の役割拡大の推進と人材育成

重点事業 (実施内容)		事業内容	参照 (事業報告)
番号	内容		
1)	看護職に求められる看護実践能力とキャリアに応じた研修	○クリニカルラダーに応じた研修会の実施 ○新人看護職員研修推進事業（宮崎県委託事業） ○ファーストレベル教育課程（フォローアップ研修含む） ○セカンドレベル教育課程（フォローアップ研修含む） ○セカンドレベル教育課程（看護管理実践報告会） ○専門看護師・認定看護師研修会 ○専門・認定看護師が協働して企画する看護職対象研修 ○看護学会の開催と次年度からの要綱変更に向けた情報発信 ○看護学生対象のキャリア支援講話 ○7地区研修	1-1) (1) 1-2) (1) 1-3) (2) 1-3) (3) 1-3) (3)③ 1-4) (1)① 1-4) (2)① 1-5) (1) 7-1) (1)③ 7-1) (1)④
2)	特定行為研修、日本版ナース・プラクティショナー（仮称）制度、看護職の生涯学習ガイドライン、看護師基礎教育に関する情報発信	○日看協の研修分類に準じた教育研修計画見直しと広報 ○『看護師のまなびサポートブック』の配布（新人教育） ○施設代表者会議での日看協からの情報発信（看護管理研修及び認定看護管理者教育課程見直し、ナース・プラクティショナー） ○専門・認定看護師の分野を越えたネットワーク構築 ○専門・認定看護師の専門知識を活用した県民及び会員への情報発信 ○進路相談会での基礎教育に関する情報発信	1-1) (2) 1-2) (1)① 3-1) (1)④ 1-4) (2) 1-4) (2)③ 2-4) (2)①

- ・専門職としての実践能力向上の人材育成を目指した研修をはじめとした幅広い研修を実施した。
- ・新人看護職員研修推進事業では、基礎教育を担う教員と臨床現場で教育を担当する看護師がコロナ禍に学生時代を過ごした新卒看護師の特徴と関わりを学ぶことができた。
- ・令和9年宮崎県で開催される国スポ・障スポ大会に向けたメディカルスタッフ育成研修では定員の2倍以上の受講希望があり関心度の高さが伺われ継続研修とした。
- ・日本看護協会の「生涯学習ガイドライン」においてクリニカルラダーから看護実践能力習熟段階に改定されたことにより本協会も次年度に向けてそれに準じた枠組みにより研修の再構築を行った。
- ・専門・認定看護師の専門知識を活用し県民や全員に分かりやすく情報発信を行うことで、特に会員の質向上につながった。

4. 地域における健康危機管理体制の整備

重点事業 (実施内容)		事業内容	参照 (事業報告)
番号	内容		
1)	不測の事態発生に備えた機能維持のための支援体制づくりの推進	○災害発生時に備えての体制・環境整備 ・県との災害・感染症支援ナースの派遣に関する協定に向けた協議 ・宮崎県、市町村の防災会議・防災訓練等への参加を通じた実動訓練	5-2) (2)
2)	災害看護支援体制の整備	○災害支援ナース登録管理 ○災害支援ナース養成事業・災害看護支援研修（地区開催） ○災害支援ナース養成事業・災害看護研修（看護管理者編） ○災害関連の研修等 ・保健師職能委員会研修（災害時の面接技術関連） ・「いいお産の日」イベント（テーマ：災害時への備え） ・訪問看護管理者交流研修（災害への備え・BCP関連） ○地区活動	5-2) (1)② 5-2) (1) 5-2) (1) 3-2) (1)③ 3-2) (2)③ 6-1) (1)③ 7-1) (1)④
3)	災害支援ナースの育成	○災害支援ナース養成事業・災害支援ナース養成研修（災害・感染症対応） ○災害支援ナース養成事業・災害支援ナース登録者対象研修（災害編）10月4日、（感染症編）10月11日	5-2) (1)① 5-2) (1)①
4)	感染管理認定看護師の養成勧奨	（県内の感染認定看護師教育課程は令和6年度から休講となつてている。開講となれば周知を行う。）	

- ・災害支援ナースの派遣に関しては令和6年4月から派遣の仕組みが変わり、法に基づき派遣されることになった。新たなカリキュラムでの災害支援ナースの養成となり、令和5年度から養成を開始し、令和6年度は64名が災害支援ナース養成研修を修了し、令和6年度末で178名となった。
- ・県と災害・感染症支援ナースの派遣に関する協定締結に向けた協議を行い、災害発生に備えた。
- ・災害支援ナースの登録を円滑に行い、災害時に迅速に対応するための体制を推進した。
- ・災害時の面接技術やBCP等に関して研修を行うことで、災害への備えの一助となった。
- ・宮崎県、宮崎市、都城市の災害対策本部や防災訓練等に参加し、災害時の関係機関との連携の推進や行政や住民に災害支援ナースの役割等を理解してもらう機会になった。

5. 組織力の強化

重点事業 (実施内容)		事業内容	参照 (事業報告)
番号	内容		
1)	看護学生に向けたキャリア支援の充実	○看護学生に向けたキャリア支援講話	7-1) (1)③
2)	未加入施設・未加入者に向けた入会促進	○各研修会の未加入者への入会の案内 ○入会促進スライドの作成 ○「保健師職能だより」の発行	7-1) (1) 3-2) (1)⑦
3)	入会の特典PR	○入会特典の周知 看護学生に向けたキャリア支援講話 ホームページ掲載、「なでしこ」掲載	7-1) (1)

- ・キャリア支援講話に関しては、県内の17校の看護師等養成機関、641人の学生が受講した。看護職のキャリア形成等において看護協会の役割を伝えることで、将来的な入会につなげた。
- ・未入会者の研修受講者等に対しては、入会に関する資料を渡して入会の勧奨を行った。
- ・新規入会及び入会の継続を推進するために、入会案内のためのスライドを作成し、各施設が活用できるようにホームページに掲載した。
- ・令和7年3月末現在、会員数は8,577人になり、前年度同時期から224人の減となった。
- ・看護学生へのキャリア支援講話では会員が加入できる「看護職賠償責任保険制度」の紹介を行い、看護職を取り巻くリスクへの備えとしての保険の必要性を伝えた。

事業報告

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する看護の質向上に関する事業（公益目的事業）

1-1) 継続教育の推進

(1) 教育の企画・実施 (P73~75 参照)

①「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

・22 研修 参加者 1,457 名

②ラダーと連動した継続教育

・11 研修 参加者 1,062 名

③看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

・4 研修 参加者 257 名

④専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

・6 研修 参加者 361 名

⑤資格認定教育

・4 研修 参加者 133 名

⑥看護の質向上のための研修 (P47~56 参照)

・5 研修 参加者 207 名

(2) 教育研修計画の広報

・2025 年度「研修一覧」リーフレットの作成 (9,000 部) 及び配布

(3) 会員専用ページ「キャリナース」への研修受講履歴の提供によるキャリア構築の支援

(4) 教育委員会の開催 (委員 12 名) 9 回 (P36~37 参照)

(5) 日本看護学会教育関連の学会、研修会等への参加

・第 55 回日本看護学会学術集会 (熊本県) 9 月 27~29 日 参加者 1 名

(6) 研修実施報告書の作成

・令和 5 年度「教育研修実施報告書」の作成、配付

作成部数：400 部 配布先：会員施設、県医師会・郡市医師会等

(7) 研修環境の整備・管理

①購入雑誌・図書の検討及び見直し

②教材機器の整備・管理

③研修管理システム「マナブル」の運営

1-2) 新人看護職員育成の推進

(1) 新人看護職員研修推進事業 (宮崎県委託事業)

①新人看護職員研修の計画・実施 (P73~75 参照)

・新人看護職員合同研修 参加者 154 名

・新人看護職員研修責任者研修 参加者 25 名

・新人看護職員教育担当者研修 参加者 32 名

・新人看護職員実地指導者研修 参加者 97 名

・令和 7 年度新人看護職員の理解に向けて～看護基礎教育の現場と看護現場の連携～

令和 7 年 2 月 22 日開催 参加者 37 名

②研修計画・実施について広報

・2025 年度「新人看護職員研修教育計画」リーフレットの作成 (1,800 部) 及び配布

③新人看護職員教育体制づくり支援(アドバイザー派遣)事業

・アドバイザー派遣 3 施設

・打合せ会議の開催 6 月 27 日 参加者 6 名

・フォローアップ 8 月 27 日 参加者 12 名

④新人看護職員研修推進協議会の開催 2 月 6 日 出席者 7 名

⑤新人看護職員研修に関連する学会、研修会への参加

・第 55 回日本看護学会学術集会 (熊本県) 9 月 27~29 日 参加者 1 名

⑥研修実施報告書の作成

1-3) 認定看護管理者教育の推進

(1) 認定看護管理者教育運営委員会開催（委員 8 名） 6 回 (P40～41 参照)

(2) ファーストレベル教育課程

①認定看護管理者教育課程ファーストレベル

5 月 16 日～9 月 13 日(105 時間) 受講者 62 名 補講者 3 名 修了者 61 名

②ファーストレベル教育課程修了者フォローアップ研修 5 月 26 日 参加者 22 名

(3) セカンドレベル教育課程

①認定看護管理者教育課程セカンドレベル

10 月 4 日～1 月 24 日(183 時間) 受講者 20 名 補講者 1 名 修了者 20 名

②セカンドレベル教育課程修了者フォローアップ研修 6 月 1 日 参加者 17 名

③看護管理実践報告会 7 月 28 日 参加者 8 名

④看護管理学会、日本看護学会等への参加

・第 28 回日本看護管理学会学術集会（愛知県） 8 月 23 日～24 日 参加者 2 名

1-4) 専門・認定看護師活動の支援

(1) 専門看護師・認定看護師研修会

①専門看護師・認定看護師研修会の開催 令和 7 年 1 月 25 日 参加者 55 名

②専門・認定看護師委員会開催（委員 6 名） 4 回 (P45～46 参照)

③人的資源活用

(2) 専門看護師・認定看護師の分野を越えたネットワーク構築

①専門・認定看護師が協働して企画する看護職対象研修の開催 11 月 23 日 参加者 85 名

②人的資源活用

③県内看護職・県民への情報発信

・会報「なでしこ」への掲載『もう一度おさえておきたい看護のコツ』(Vol. 154～157)

・ホームページ「専門・認定看護師からのお知らせ」への掲載 (Vol. 31～33)

1-5) 看護学会等学術振興の支援

(1) 宮崎県看護研究学会の開催 令和 7 年 3 月 8 日

・発表演題 口演 20 題 示説 18 題

・参加人数 250 名 (学生含む)

・特別講演 テーマ『「地元創成看護」をめざして』 講師 長鶴美佐子氏

①看護研究学会委員会開催（委員 6 名） 6 回 (P41～42 参照)

②看護研究抄録選考委員会開催（委員 11 名） 11 月 21 日 参加者 16 名

③日本看護学会、日本看護科学学会等への参加

・第 44 回日本看護科学学会学術集会（熊本県） 12 月 6 日～8 日 参加者 1 名

・第 55 回日本看護学会学術集会（熊本県） 9 月 27～29 日 参加者 1 名

1-6) 実習指導者講習会の支援

(1) 実習指導者講習会（宮崎県委託事業）

①宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会開催

・病院主体コース 6 月 12 日～8 月 9 日 (29 日間) 受講者 41 名 補講者 1 名 修了者 42 名

・特定分野コース 7 月 30 日～8 月 22 日 (8 日間) 受講者 10 名 修了者 9 名

②実習指導者講習会修了者フォローアップ研修開催 令和 7 年 2 月 1 日 参加者 36 名

③実習指導者検討委員会開催（委員 5 名） 6 回 (P42～43 参照)

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益目的事業)

2-1) 働きやすい職場環境づくりの推進と事業支援

(1) 職場環境づくり推進事業（宮崎県委託事業）

①看護職の働き方改革の推進に向け、健康で安心して働くことができる職場づくりの推進

- ・働き続けられる職場環境づくり推進委員会開催（委員 8 名） 9 回 (P37～38 参照)
 - ・看護職の働き方改革推進研修会 9 月 10 日 参加者 61 名
 - ・看護職員の勤務環境についての調査の報告 施設代表者会議 10 月 1 日
 - ・地区施設代表者会議において勤務環境調査結果の報告及び意見交換
延岡地区 12 月 19 日、日向地区 10 月 17 日
 - ・働き続けられる労働環境づくりを推進する施設の支援
 - ・労働安全衛生ガイドラインの活用
 - ②看護職離職防止支援（定着支援）
 - ③関係団体との連携
 - ・みやざき医療・福祉分野人材確保対策推進協議会（宮崎労働局） 6 月 13 日 出席者 1 名
 - ・都城・北諸地域子育て女性等の就職支援協議会関係機関の情報交換 6 月 19 日 出席者 1 名
 - ④働きやすい職場づくりに関する情報発信
 - ⑤勤務環境等に関する相談の実施 45 件
- (2) 看護管理者等支援事業（宮崎県委託事業）
- ①看護管理者等支援事業
 - ・対象機関への相談支援の実施 医療機関 43 施設
 - ・地域ごとのネットワークに関する現状把握
日向・東臼杵：11 月 13 日、西都・児湯：10 月 24 日、宮崎・東諸県：10 月 2 日、
都城・北諸県：10 月 1 日、小林・えびの・西諸県：10 月 1 日、日南・串間：11 月 20 日
 - ・訪問看護管理者交流会で訪問看護ステーション訪問結果報告（宮崎、都城、日向）
 - ・「参考にしたい取り組み事例一覧」をホームページで周知
 - ②事業報告会の開催（2 地区）
 - ・延岡市中小企業振興センター 11 月 8 日 参加者 24 名
 - ・宮崎県庁防災庁舎 11 月 28 日 参加者 36 名
 - ③看護人材獲得支援事業連絡会議の開催（毎月 1 回） 10 回

2-2) 就業支援

- (1) ナースバンク事業（宮崎県委託事業）
- ①NCCS を活用した職業紹介の円滑化、就業に効果的な情報の提供
 - ②ナースセンター広報活動
 - ・ナースセンターだよりを広報誌「なでしこ」内に掲載（年 4 回） ※7-1) (1)⑧参照
 - ・SNS（LINE）による情報発信の強化 配信回数 92 回
 - ・ナースセンターPR グッズ作成
 - ・県内看護学校卒業生への PR グッズの配布
 - ③ハローワークにおける就業相談の実施
 - ・就業支援相談員会議（年 2 回）
6 月 4 日 参加者 8 名、11 月 7 日 参加者 9 名
 - ・ハローワーク宮崎、延岡、日向、高鍋、都城、小林、日南での就業相談
 - ④求人施設への労働条件の改善に関する情報提供、助言
 - ・多様な就労受入れ体制・支援の強化
 - ・求人施設訪問の強化 9 施設
 - ⑤求職者への労働環境・労働条件の改善に関する情報提供、助言
 - ・多様な就労支援の強化
 - ・施設見学の促進
 - ⑥宮崎県ナースセンター事業運営委員会の開催（年 1 回） 令和 7 年 2 月 7 日 参加者 10 名
 - ⑦ハローワーク、福祉人材センターとの連携
 - ・令和 6 年度「福祉のしごと就職フェア」 7 月 22 日 相談者 5 名
 - ・介護・看護就職デイ 就職面談会 11 月 6 日 相談者 5 名
 - ⑧ナースセンター・ハローワーク連携事業
 - ⑨中央ナースセンターとの連携

(2)看護職の届け出制度の窓口(宮崎県委託事業)

①看護師等の届出制度のPRと就業支援の充実

- ・令和6年度届出者 124名 総届出者 2,179名
- ・看護職へのPR活動
- ・届出登録者への就業に関する意向の確認と就業支援

(3)県内外看護師等への県内就業支援

①看護師養成学校との連携

- ・宮崎県看護の就職フェア(県主催)への協力 10月27日 相談者3名

②移住相談者への支援

③県内施設の採用試験情報の提供

(4)看護職員需要調査の実施 調査期間 9月9日～10月4日 調査対象 1,116施設(P81参照)

(5)看護職の人材活用システムの周知

(6)看護補助者の確保・定着推進事業(日本看護協会委託事業)

①看護補助者の仕事に関する周知・広報活動

- ・宮崎労働局、県内ハローワーク、福祉人材センター、ホームページ、LINE

②看護補助者の仕事を知るセミナー 11月29日 参加者14名

③就職者に対する研修「ナースセンターによる看護補助者としての就業に向けた研修」の周知

研修期間: 11月～令和7年2月 参加者1名

④看護補助者の職場見学会(ハローワーク宮崎との協働)

令和7年2月28日 増田病院 参加者8名

2-3)復職支援

(1)復職支援事業(宮崎県委託事業)

①講義・演習コースの開催 6月20日～21日 参加者8名、9月5日～6日 参加者12名

②看護の分野別理解コース(認知症・訪問看護)

12月5日～6日 参加人数: 認知症看護の理解7名、訪問看護の理解7名

③採血・点滴技術演習の開催(毎月1回) 12回 参加者66名

④復職支援交流カフェの開催(毎月1回) 12回 参加者62名

⑤協力機関での職場体験コースの開催

⑥セカンドキャリア支援

- ・プラチナナースカフェの実施 6月6日 参加者10名、2月6日 参加者3名

⑦就職準備セミナーの実施 7月12日 参加者6名、1月9日 参加者7名

⑧地区別復職支援研修の開催

- ・地区研修の実施(延岡) 10月28日～30日 参加者3名

- ・採血技術演習・復職支援研修の実施(ハローワーク)

延岡: 2月12日 3名、日向: 10月15日 参加者3名、高鍋: 11月19日 参加者3名、

日南: 12月18日 参加者2名

⑨令和6年度受講生に対する就業状況調査・就業支援(P78参照)

2-4)「看護の心」普及事業

(1)看護の心普及事業

①看護の日のイベントの開催

- ・「みやざきナース Today2024」の開催 5月17日

「看護の日」PRバス出発式、看護の出前授業(宮崎市立加納中学校)、PRバス宮崎市内巡回、

宮崎県庁本館ライトアップ(5月10日～20日)、まちの保健室にて看護の日グッズの配布

(2)看護の魅力発信事業(宮崎県委託事業)

①看護進路相談会2024の開催 7月6日 参加者156名

②看護の出前授業の実施 8回 参加者994名(P79参照)

③「ふれあい看護体験2024」の実施 7月29日～8月9日 参加施設54施設 参加者461名

④看護系進学状況調査の実施(P79参照)

⑤職業選択に関するイベントへの協力

- ・宮崎市立大塚中学校（総合的な学習の時間）
6月21日 参加者：1年生191名、3年生34名、10月3日 参加者：3年生20名
- ・宮崎県立都城きりしま支援学校（キャリア支援）
9月18日 参加者：高等部2年生5名、3年生3名
- ・赤江小学校（赤江っ子フェスタ） 11月24日 参加者：1~4年生23名

⑥進路指導担当教諭への情報提供

3. 看護に関する調査及び研究並びに看護業務及び看護制度等の改善への提言に関する事業 (公益目的事業)

3-1) 看護制度に関する事業

(1) 看護制度に関する普及啓発事業

- ①看護制度委員会（委員6名） 3回 (P39参照)
- ②特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報提供及び啓発
- ③看護基礎教育制度改革に係る情報発信
- ④その他看護制度に係る情報発信

(2) 准看護師への進学支援及び学習支援事業

- ①准看護師研修・交流会 10月26日 参加者7名
- ②看護師養成2年課程（通信制）に関する情報提供
- ③日本看護協会との連携

3-2) 看護業務の改善に関する事項

(1) 保健師職能委員会活動

- ①保健師職能委員会開催（委員6名） 9回 (P30~31参照)
- ②3職能4委員会合同研修会 11月9日 参加者75名 (Web 36名)
- ③保健師職能研修会 12月14日 参加者21名
- ④保健師職能集会（つどい）
- ⑤宮崎県保健師現任教育推進会議（2回）（県、県立看護大学との協働）
10月9日 参加者1名、2月20日 出席者1名

⑥宮崎県段階別保健師研修運営委員会

- 5月21日、10月23日、12月19日、3月6日 出席者1名
- ⑦宮崎県母子保健運営協議会 3月17日 出席者1名
- ⑧日本公衆衛生看護学会学術集会への参加（愛知県）
令和7年1月4日~5日 参加者1名

- ⑨保健師職能だよりの発行 第21号（3月）300部

(2) 助産師職能委員会活動

- ①助産師職能委員会開催（委員6名） 11回 (P31~32参照)
- ②3職能4委員会合同研修会 11月9日 ※3-2)(1)②参照
- ③「いいお産の日」イベント 11月23日 参加者150名
- ④助産師職能研修会
 - ・助産師職能研修会 令和7年1月18日 参加者16名
- ⑤研修会及び学会等への参加
 - ・第65回日本母性衛生学会総会・学術集会（宮崎県） 10月18日~19日 参加者2名
 - ⑥「母子のための地域包括ケア病棟」に関するアンケート調査の実施

(3) 看護師職能委員会I活動（病院領域）

- ①看護師職能委員会I開催（委員10名） 8回 (P32~33参照)
- ②3職能4委員会合同研修会 11月9日 ※3-2)(1)②参照
- ③研修会
 - ・看護師職能I研修会 11月14日 参加者26名
 - ・准看護師研修・交流会 10月26日 参加者7名

(4)看護師職能委員会Ⅱ活動（介護・福祉関係施設・在宅等領域）

①看護師職能委員会Ⅱ開催（委員8名） 11回（P33～35参照）

②3職能4委員会合同研修会 11月9日 ※3-2) (1)②参照

③研修会

・看護師職能Ⅱ研修会 8月24日 参加者53名（Web10名）

(5)県や関係団体の各種審議会等での発言・提言

①関係機関・団体等への働きかけ

②審議会等で本会意見の反映（P106～107参照）

4. 県民に対する疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（公益目的事業）

4-1)地域包括ケアシステムの推進（P47～56参照）

(1)看護職と他職種との交流会 2回 参加者63名

(2)地域医療構想調整会議等への参画

4-2)救急医療に関わる看護職の質向上の推進

(1)救急看護研修 2回 参加者73名

(2)災害救急看護研修 8回 参加者418名

(3)精神科救急看護研修 3回 参加者159名

4-3)県民の健康づくり推進に関する事業

(1)まちの保健室事業の普及啓発（P43～44参照）

①定期型「まちの保健室」開催（地区開催） 217回 相談件数4,305件

②地域支援型・イベント型「まちの保健室」 12回 相談件数678件

③まちの保健室地区代表者委員会開催（委員13名） 5回

④まちの保健室協力員の養成研修と登録の推進

・研修会の開催 1回 参加者55名

・令和6年度新規登録協力員数 16名

⑤地区別協力員会議 11回 出席者110名

(2)生涯を通じた女性の健康支援

①「いいお産の日」イベントにおける相談啓発 11月23日 ※3-2) (2)③参照

(3)がん対策支援

①ピンクリボン活動の普及啓発

②関係団体との連携

・ピンクリボンみやざき実行委員会への参加

③研修会の開催 2回 出席者91名

(4)生活習慣病並びに疾病予防対策

①世界糖尿病デー、肝疾患・腎疾患・リウマチ等関連会議・イベント等の参加による予防対策の啓発

(5)自殺対策に係る人材育成研修事業（宮崎県委託事業）

①看護師等専門研修会の開催（自殺対策研修） 8月10日 参加者73名

②地区別研修会の開催（P47～56参照）

・日向・東臼杵 12月10日 参加者40名

・西都・児湯 10月11日 参加者46名

③自殺対策相談・まちの保健室相談員の養成講座の開催

(6)高齢者対策への取り組み

①研修会の開催 3回 出席者321名（P73～75参照）

②看護職員認知症対応力向上研修の開催（宮崎県委託事業） 参加者29名（P74参照）

4-4)子育て支援

(1)子育て支援事業

- ①児童虐待予防対策への取り組み
 - ・宮崎県社会福祉審議会児童福祉専門分科会への参加
- ②宮崎県「未来みやざき子育て県民運動推進事業」への協力

5. 医療安全対策及び災害等危機管理に関する事業（公益目的事業）

5-1) 医療安全推進事業

(1) 研修会及び交流会の開催

- ①医療安全推進委員会開催（委員 10 名） 6 回（P39～40 参照）
- ②医療安全管理者養成研修（e ラーニング 35 時間、集合研修 5 時間 10 月 17 日） 参加者 46 名
- ③医療安全研修会
 - ・第 1 回 8 月 23 日 参加者 106 名
 - ・第 2 回 12 月 7 日 参加者 66 名

(2) 医療安全対策推進

- ①医療安全推進週間の啓発
- ②医療安全情報提供
- ③医療安全推進の研修（地区開催） 6 回 参加者 189 名（P47～56 参照）
- ④医療安全推進会議（年 1 回） 開催なし
- ⑤医療の質安全学会への参加
- ⑥看護職賠償責任保険制度加入の促進

5-2) 災害看護活動の推進

(1) 災害看護研修の開催

- ①災害支援ナース養成事業
 - ・災害支援ナース養成研修（災害・感染症対応）：オンデマンド 20 時間、演習 10 時間（11 月 29 日、30 日）（オンデマンド受講 70 名）演習受講 64 名 修了者 64 名
 - ・災害支援ナース登録者対象研修（災害編）10 月 4 日、（感染症編）10 月 11 日 参加者 60 名
 - ・災害看護支援研修（地区開催） 4 回 参加者 261 名（P47～56 参照）
 - ・災害看護研修（看護管理者編） 8 月 3 日 参加者 33 名
- ②災害支援ナース登録管理
 - ・2023 年度災害支援ナース養成研修修了者の登録内容更新
- ③災害看護委員会の開催（委員 8 名） 6 回（P44～45 参照）

(2) 災害発生時に備えての体制・環境整備

- ①日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加を通じた実動訓練 ※本県は訓練対象外となったため、実施無し
- ②日本看護協会との「災害支援ナース派遣に関する協定」に基づく災害支援ナースの派遣調整
 - ・令和 6 年 4 月 1 日協定締結
- ③宮崎県保健医療福祉調整本部設置の際の支援団体リエゾン派遣、災害支援ナース派遣調整協力
- ④宮崎県、市町村の防災会議・防災訓練等への参加を通じた実動訓練
 - ・関係会議等への参加 7 回 出席者 9 名
 - ・実働訓練への参加 5 回 出席者 10 名
- ⑤看護管理者ネットワークの構築

5-3) 感染対策

(1) 感染管理研修会の開催 2 回 参加者 115 名 ※1-1) (1)①②の再掲

(2) 新興感染症対策に向けた体制整備

- ①事業継続計画（BCP）の推進
- ②宮崎県感染症対策審議会への参画

6. 在宅ケアサービス等の実施及び訪問看護の推進支援に関する事業（公益目的事業）

6-1) 在宅・福祉関係施設への支援

(1) 訪問看護推進事業（宮崎県委託事業）

① 訪問看護推進協議会運営事業

- ・宮崎県訪問看護推進協議会の開催（委員 14 名） 11 月 20 日 出席者 12 名
- ・訪問看護推進検討会（委員 11 名） 3 回
- ・訪問看護実態調査の実施
- ・訪問看護啓発活動
- ・関係機関との連携

② 訪問看護人材育成事業（P82 参照）

- ・訪問看護研修 STEP 1 7 月 9 日～11 月 21 日（講義 3 日間、実習 3 日間）
受講者 21 名 修了者 20 名
- ・訪問看護研修 STEP2 5 月 16 日～8 月 23 日（講義 5 日間、実習 2 日間）
受講者 10 名 修了者 10 名
- ・訪問看護管理者研修（ベーシックコース） 8 月 28 日～10 月 17 日（講義 5 日間）
受講者 14 名 修了者 9 名
- ・訪問看護管理者研修受講者フォローアップ研修 参加者 9 名
- ・訪問看護師養成コアカリキュラム研修 8 月（講義・演習 2 日間、実習 1 日間）
受講者 10 名 修了者 9 名
- ・在宅ケアに関心のある看護職のための公開講座 6 回 参加者 57 名
- ・新卒訪問看護師育成研修
 - i 打合せ会・交流会 3 回 参加者 13 名
 - ii 臨床研修計画打合せ会 3 回 研修生 3 名

③ 看護人材連携支援事業（P83 参照）

- ・訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による研修会・相談会
 - i 検討会（検討員 4 名） 2 回
 - ii 研修会・相談会 7 月 20 日 参加者 27 名
- ・医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修
 - i 検討会（検討員 12 名） 2 回
 - ii 交流研修 1 回 参加者 16 名
- ・訪問看護管理者交流研修
 - i 検討会（検討員 7 名） 2 回
 - ii 交流会 3 回 参加者 52 名

④ 訪問看護相談支援事業（P83 参照）

- ・県民・訪問看護ステーションへの情報提供及び相談のための窓口の運営 相談件数 148 件
- ・訪問看護ステーション運営支援研修 7 月 27 日 参加者 19 名
- ・訪問看護パンフレット作成
- ・訪問看護ステーションに関する情報発信

(2) 在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修（地区開催） 4 回 参加者 132 名（P47～56 参照）

6-2) 看護協会訪問看護ステーション事業所の運営事業（P84～85 参照）

(1) 宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ 1～3 号館の運営

- ・訪問看護事業 利用人数 2,416 名 訪問延べ回数 14,406 回
- ・居宅介護支援事業 利用人数 1,518 名
- ・看護学生・看護職の実習教育 受入人数 419 名
- ・関連機関との連携・協力

(2) 看護協会訪問看護ステーション運営協議会の開催（委員 9 名） 4 回

7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

7-1) 組織に関する事項

(1) 本会組織の充実と強化

① 看護政策推進のための組織強化事業

②会員の加入増加拡大

- ・令和6年度会員数 8,577名（会員目標数9,000名、対前年度224名減）

③看護学生に向けたキャリア支援 17校 18回 参加者641名（P76参照）

④地区活動の推進（P47～56参照）

⑤日本看護協会との連携

⑥諸会議の開催

- ・令和6年度通常総会 6月15日 出席した会員数6,878名（本人出席120名、委任状出席6,758名）

- ・理事会・常任理事会開催 理事会：8回 常任理事会：7回（P13～15参照）

- ・職能・常任・特別委員会の開催（P30～46参照）

- ・選挙管理委員会（委員8名） 2回

- ・日本看護協会代議員及び予備代議員研修会 5月23日 出席者14名

- ・常任委員会・特別委員会合同委員長会 6月22日 出席者26名

- ・施設代表者会議（全体会議1回） 10月1日 出席者75名

⑦監査及び審査に關すること

- ・業務監査 5月15日

- ・会計監査 5月14日

- ・公益法人立入検査 11月12日

⑧広報活動に関する事業

- ・広報誌「なでしこ」の発行（年4回） 各11,000部

第154号：4月30日、第155号：7月31日、第156号：10月31日、第157号：1月31日

- ・ホームページの管理

- ・マスメディアを活用した広報

⑨会員の福利厚生

- ・各種表彰制度への会員の推薦

令和6年度宮崎県看護協会長表彰 10名

令和6年度宮崎県公衆衛生功労者表彰 1名

令和7年度日本看護協会名誉会員 1名

令和7年度日本看護協会長表彰 1名

訪問看護ステーション管理者永年勤続表彰 2名

- ・弔意及び見舞い（火災、風水害等） 弔慰金4名 弔電20件

7-2) 日本看護協会との相互協力

(1) 日本看護協会との連携

(2) 日本看護協会が開催する会議に關すること

①日本看護協会通常総会及び全国職能別交流集会（東京都開催）

- ・通常総会 6月6日 出席者9名

- ・全国職能交流集会 出席者9名

②理事会 6回 出席者1名（P57～58参照）

③法人会員会 4回 出席者1名

④全国職能委員長会

- ・第1回 8月2日 出席者4名

- ・第2回 3月7日 出席者4名

⑤地区別法人会員会（熊本県開催）10月31日 出席者2名

⑥地区別職能委員長会（熊本県開催）11月1日 出席者4名

⑦日本看護協会が開催する会議等への参加

- ・ナースセンター事業担当者会議（Web開催） 5月21日 出席者7名

- ・都道府県看護協会会員情報管理情報交換会 7月4日 出席者2名

- ・都道府県看護協会看護労働担当者会議 7月18日 出席者2名

- ・都道府県看護協会教育担当者会議 8月9日 出席者2名

- ・都道府県看護協会図書室担当者研修会（Web開催） 9月12日 出席者1名

- ・医療事故調査制度に関する情報交換会（Web 開催） 9月17日 出席者1名
- ・都道府県看護協会政策責任者会議 9月19日 出席者2名
- ・公益法人運営に関する勉強会 9月27日 出席者1名
- ・都道府県看護協会広報担当役員会議（Web 開催） 11月7日 出席者2名
- ・都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議（Web 開催） 11月14日 出席者2名
- ・都道府県看護協会健康危機管理担当者会議（Web 開催） 12月19日 出席者2名
- ・全国看護基礎教育担当役員会議（Web 開催） 2月4日 出席者1名

7-3) 涉外に関する事項

(1) 重点事業等に関する涉外活動

- ①県行政等への要望活動
- ②関係機関等との連携強化
 - ・関係機関への委員の派遣（P106～107 参照）
 - ・他団体主催の学会・イベント等への名義後援 19件（P108 参照）

7-4) 施設管理に関する事項

(1) 宮崎県看護等研修センターの管理

- ①整備資金納入活動と管理
- ②施設・機器の管理
- ③図書室の管理・運営

令和6年度 職能委員会報告

保健師職能委員会

委員長：姥原夕起子

委 員：有川文美、岩崎恵子、太田直子、田邊真理、永山加恵

1. 活動目標

- 1) 保健師活動指針をふまえた全世代型の地域包括ケアを目指した保健活動を推進する。
- 2) 保健師職能集会及び研修会等を通して知識技術のスキルアップを図るとともに保健師同士の交流及び他職種との連携を推進する。
- 3) 県、県立看護大学と3者で実施している保健師現任教育の推進に取り組み、段階に応じた保健師の人材育成を行う。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

- (1) 開催回数 9回
- (2) 内容
 - ・令和6年度委員会活動について
 - ・保健師職能研修会および交流会の企画、実施、評価
 - ・保健師現任教育推進についての検討
 - ・保健師職能だよりの企画、編集、発行
 - ・次年度委員会活動計画について
 - ・宮崎県看護協会理事会報告
 - ・全国保健師職能委員長会等報告
 - ・まちの保健室地区代表者委員会報告
 - ・会員拡大についての検討

2) 研修会の開催

- (1) 3職能4委員会合同研修会（ハイブリッド）※看護師職能委員会Ⅱ参照
- (2) 保健師職能研修会
 - 日 時：12月14日（土）13:25～16:30
 - 参加者：21名（非会員8名）、運営委員6名
 - 内 容：「災害時の保健師活動における面接技術」
 - 講師：①木添茂子 氏（宮崎県立看護大学看護研究・研修センター）
 - ②又木真由美 氏（元宮崎県看護協会常務理事）
 - 「ワールドカフェ～楽しく情報交換しましょう～」

3) 会議・学会等への参加

- (1) 第1回全国職能委員長会
 - 日 時：8月2日（金）11:00～14:00
 - 会 場：TKP新橋カンファレンスセンター 参加者：1名
- (2) 宮崎県保健師現任教育推進会議
 - 日 時：10月9日（水）9:30～10:30 2月20日（木）10:00～12:00
 - 会 場：県庁防災庁舎 参加者：各1名
- (3) 宮崎県段階別保健師研修運営委員会
 - 日 時：5月21日（火）14:00～16:30 10月23日（水）14:00～16:30
 - 12月19日（木）14:00～16:30 3月6日（木）10:00～12:00
 - 会 場：県立看護大学 参加者：各1名
- (4) 第13回日本公衆衛生看護学会学術集会
 - 日 時：1月4日（土）～5日（日）
 - 会 場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 参加者：1名
- (5) 地区別保健師職能委員会長会
 - 日 時：11月1日（金）10:00～15:30

- 会 場：ANA クラウン ホテル熊本ニューカイ 参加者：1名
- (6) 第2回全国職能委員長会
日 時：3月7日（金）10:00～16:00
会 場：TKP 新橋カンファレンスセンター 参加者：1名
- (7) 宮崎県母子保健運営協議会
日 時：3月17日（月）19:00～20:15
会 場：県庁防災庁舎 参加者：1名
- 4) 実態調査・事業報告書等
保健師職能だより「さくら」第21号 300部 3月発行

3.まとめ（次年度の課題）

今年度は、保健師職能研修会を通して災害時における保健師活動における知識のスキルアップを図ることができた。今後も災害や新興感染症発生時は、保健師活動の重要性が非常に高まり保健師は地域のために業務に邁進する。しかし、先の見えない困難な状況においては、保健師の離職やバーンアウトにつながるケースもあり、保健師個人や組織がレジリエンスを高める必要がある。そこで次年度はレジリエンスの高め方についての研修会を開催する。

また、少子高齢化が急激に進み、保健師における業務や役割が年々増加する中で、人材確保は喫緊の課題である。そこで、保健師の魅力を直接情報発信する機会を設け、保健師課程への進路選択を検討してもらうことや保健師資格を有する者の県内就業促進につながるように働きかける。さらに看護協会の役割周知と入会促進につながる機会としていきたい。

助産師職能委員会

委員長：田中優子
委 員：林田留実子、兒玉朋希、長倉千夏、佐藤百恵、土器屋智子

1.活動目標

- 1) 安心・安全な妊娠・出産・育児環境整備に向け、助産師としての助産実践能力の強化支援、モチベーション向上のための研修会の実施
- 2) 宮崎県周産期医療ネットワークを基盤とした、助産ケアに関する情報共有とネットワークづくりの実施
- 3) 助産師の役割・活動の啓蒙ならびに地域への貢献を行う。

2.活動内容

- 1) 委員会開催状況
 - (1) 開催回数 11回
 - (2) 内容
 - ・令和6年度助産師職能活動計画検討事業計画説明
 - ・役割分担・委員会活動マニュアル説明 委員会活動方針検討
 - ・助産師職能研修会企画・運営
 - ・3職能4委員会合同研修会運営（看護師職能委員会Ⅱ主催）
 - ・「いいお産の日」の企画・運営
 - ・「母子のための地域包括ケア病棟」に関するアンケート調査の実施
 - ・次年度活動計画書作成
- 2) 研修会の開催
 - (1) 3職能4委員会合同研修会（ハイブリッド）※看護師職能委員会Ⅱ参照
 - (2) 助産師職能研修会
日 時：1月25日（土）9:50～12:00
参加者：16名（非会員0名）運営委員5名
テーマ：新生児のフィジカルアセスメント
講師：谷口 肇 氏（古賀総合病院 産婦人科部長）
- 3) イベント等の開催
 - (1) いいお産の日 in 宮崎
日 時：11月23日（土）10:00～15:00

会 場：宮崎県立図書館 研修ホール

参加者：150名、運営委員5名

4) 会議・学会等への参加

(1) 日本母性衛生学会

日 時：10月18日（金）、19日（土） 9:00～16:00

会 場：シーガイアコンベンションセンター 参加者：2名

5) 実態調査・事業報告書等

(1) 母子のための地域包括ケア病棟に関するアンケート調査

①調査実施期間：1月6日～23日

②調査対象：宮崎県内の分娩取扱医療機関25施設の看護管理者1名と3～5年目と6年目以上

産科病棟助産師各1名

③調査内容：「母子のための地域包括ケア病棟」の認知状況や実施状況について

3.まとめ（次年度の課題）

助産師職能として県内の助産師が抱える課題収集として「母子のための地域包括ケア病棟」の推進に向けてアンケートを実施した。結果としては、認知されていないことが明らかになり周知することが必要とされた。診療報酬に繋がらない取組みを推進していくことは難しいが、少子化、助産師の流出・高齢化の中、本県の母子への支援を推進するためにも、次年度も精力的に活動すべきと考える。また、アンケートの結果から、「母子のための地域包括ケア病棟」を実施するために助産師が習得すべき知識や技術を学ぶ研修を企画していきたい。

毎年開催する「いいお産の日」イベントでは災害をメインテーマとした。参加者も多く学び多いイベントとなった。災害用品を提供した企業へ自治体や団体から問い合わせ等もあり、次につながるイベントであった。

次年度も母子のため、助産師の働く環境整備など引き続き本県の現状を情報収集し、課題解決に向けて活動を進めていきたい。

看護師職能委員会Ⅰ

委員長：釘崎 信

委 員：野邨つぐみ、日高栄美、井上めぐみ、上森妃美、餅原悦子、平山 薫、岩部 仁、中村幸恵、崎村真由美（准看護師理事）

1.活動目標

- 1) 看護職が専門性を發揮し、やりがいを持ち働き続けられるための看護実践能力向上を支援する。
- 2) 准看護師への進学支援

2.活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 8回

(2) 内容

- ・県内の医療機関における働き続けるための問題点の抽出と課題の確認
- ・令和6年度事業計画について
- ・3職能4委員会合同研修会について
- ・准看護師研修会・交流会について
- ・看護師職能Ⅰ研修会について
- ・令和7年度事業計画・研修企画書（案）について

2) 研修会の開催

- (1) 3職能4委員会合同研修会（ハイブリッド）※看護師職能委員会Ⅱ参照
- (2) 准看護師研修会・交流会

日 時：10月26日（土）9:20～12:30

参加者：7名（非会員4名）、運営委員5名

テーマ：准看護師から看護師へステップアップ～情報提供と進学支援～

講 師：①水津賢二 氏（都城看護専門学校）

- ②鈴木葉子 氏（麻生看護大学校）
- ③野間かず子 氏（穴吹医療大学校）

進学体験発表

- ①都城看護専門学校 卒業生
- ②麻生看護大学校 卒業生
- ③穴吹医療大学校 卒業生

(3) 看護師職能 I 研修会

日 時：11月14日（木）9:30～12:30

参加者：26名（非会員0名）、運営委員5名

テーマ：看護業務効率化のための実践報告

- ①看護業務の効率化による働き続けられる職場づくり

講師：吉田節子 氏（熊本地域医療センター）

- ②ベットメーキングチーム委託業務の導入

講師：小柳優美子 氏（潤和会記念病院）

3) 会議・学会等への参加

(1) 第1回全国看護師職能委員長会 I

日 時：8月2日（金）13:30～16:00

会 場：TKP新橋カンファレンスセンター 参加者：1名

(2) 地区別看護師職能委員長会 I 病院領域

日 時：11月1日（金）10:00～15:30

会 場：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 参加者：1名

(3) 第2回全国看護師職能委員長会 I 病院領域

日 時：3月7日（金）13:00～16:00

会 場：TKP新橋カンファレンスセンター 参加者：1名

3.まとめ（次年度の課題）

宮崎県の医療機関の現状や課題発見、現場スタッフの意見集約に努め、現場での処遇改善の糸口や多様な働き方の提案、業務改革としてタスク・シフト/シェアの周知に向け取り組んできた。

『准看護師研修会・交流会』の研修では、進学支援のための糸口となるように情報提供と看護専門学校紹介、その卒業生の体験を発表してもらった。研修参加者からは、進学に向けて不安が軽減し受験を前向きに考えるという意見が聞かれた。『看護業務効率化のための実践報告会』は、業務を効率化し働き続けられる職場づくりとベッドメーキング委託業務の導入について報告した。宮崎県内の医療機関が人材確保に苦慮し業務の効率化に取り組んでいる中、他施設の取り組みや成功例を聞く事でヒントを得ることができた内容であった。

業務の効率化により成果を上げている施設もある中、看護師のモチベーション低下や人員確保困難、労働環境の悪化など、委員会や研修会を通じて各医療機関の現場が逼迫している状況を改めて認識した。次年度は、看護実践の質向上、働き続けるための職場づくり支援を目標に、各医療機関の看護現場の声を集約し、課題発見・解決に向けて取り組んでいきたい。

看護師職能委員会 II

委員長：黒木正樹

委 員：佐藤幸代、谷口世志美、日野亮司、小森順子、兒玉真由見、岩永美由紀、作本 愛

1.活動目標

- 1) 専門職の知識や技術を学び日常の業務に活かす。
- 2) 情報交換を通じて各事業所等の理解を深める。
- 3) 医療、介護、福祉施設、在宅領域等多職種とのネットワークの推進を図り、医療的ケアの知識を深める。

2.活動内容

1) 委員会開催状況

- (1) 開催回数 11回
- (2) 内容

- ・令和6年度委員会活動について
- ・看護師職能委員会Ⅱ研修会の企画・運営・評価
- ・3職能4委員会合同研修会の企画・運営・評価
- ・日本看護協会通常総会報告
- ・日本看護協会職能委員長会会議報告
- ・日本看護協会地区別職能委員長会会議報告
- ・宮崎県看護協会通常総会・理事会等報告
- ・まちの保健室地区代表者委員会報告
- ・職能委員の抱えている問題提起（意見交換）
- ・次年度活動計画について

2) 研修会の開催

(1) 看護師職能委員会Ⅱ研修会(ハイブリッド)

日 時：8月24日（土）12:50～16:00

参加者：53名（非会員8名）、運営委員8名

テーマ：在宅でも医療的ケア～在宅腹膜透析・最新在宅医療機器の使い方～

講 師：①眞川昌大 氏（ひなた在宅クリニック・医師）

②中角吉伸 氏（県立看護大学在宅看護学・講師）

③岩村優子 氏（有限会社エコフィールド 代表取締役）

(2) 3職能4委員会合同研修会(ハイブリッド)

日 時：11月9日（土）12:50～16:00

参加者：75名（非会員4名）、運営委員9名

テーマ：虐待の現状について～サインと対応～

講 師：①住吉美保 氏（宮崎県福祉保健部 長寿介護課医療・介護連携推進室）

②八ヶ代和希 氏（宮崎県福祉保健部こども政策局こども家庭課）

③森久保 裕 氏（県立延岡病院 救急看護認定看護師）

3) 会議・学会等への参加

(1) 2024年度 日本看護協会通常総会

日 時：6月6日（木）9:30～17:00

会 場：東京国際フォーラム ホールA 参加者：1名

(2) 2024年度 日本看護協会全国職能交流集会

日 時：6月7日（金）10:00～15:30

会 場：東京国際フォーラム ホールC 参加者：1名

(3) 2024年度 第1回全国職能委員長会Ⅱ

日 時：8月2日（金）11:00～16:00

会 場：TKP新橋カンファレンスセンター 参加者：1名

(4) 2024年度 地区別看護師職能委員長会Ⅱ

日 時：11月1日（金）10:00～15:30

会 場：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 参加者：1名

(5) 第1回 延岡市在宅医療・介護連携推進協議会部会

日 時：1月30日（木）18:30～20:00

会 場：延岡市役所 2階講堂 参加者：1名

(6) 令和6年度 第2回宮崎県介護現場革新会議

日 時：2月13日（木）10:30～11:30

会 場：宮崎県防災庁舎5階 53号室 参加者：1名

(7) 2024年度 第2回全国職能委員長会Ⅱ

日 時：3月7日（金）10:00～16:00

会 場：TKP新橋カンファレンスセンター 参加者：1名

3.まとめ（次年度の課題）

研修会では「在宅でも医療的ケア」と題し、他県と比較して普及率が低い在宅腹膜透析の現状や課題に関する講演、実際に在家でできる医療的ケアの紹介により、医療機関から在宅へのスムーズな退院支援に向け、事例を通して在宅医療の実際を知る機会となった。また、医療機器メーカーの協力により、

在宅医療機器をハイブリッド形式で紹介するなどの取組を行った。在宅での腹膜透析や医療的ケアが「できない」から「できる」へ意識が変化し、研修会の目標は達成できた。

3 職能 4 委員会合同研修会では、虐待をテーマに 3 名の講師の講演により、宮崎県内における虐待の現状や対応の実際を知ることができた。しかし、反省として 3 職能共通のテーマではあるが、参加者のほとんどが看護師職能 I・II 領域に偏ったため企画の難しさを感じた。

委員会活動では、今まで同様に地域の課題抽出や研修会企画など積極的な意見交換ができた。

次年度は、今後発生する地震など大規模災害に対して、災害弱者と言われる避難行動要支援者の救命率向上のために避難行動への備えをテーマに研修会を企画している。研修会では、市町村での作成が進んでいない個別避難計画に着目しながら、在宅領域の看護師として、より現実的な備えについて検討する場としたい。

令和6年度 常任委員会報告

推薦委員会

委員長：岡野理恵

委 員：興梠靖子、上原千枝、安田みゆき、上田淳子、清水小百合

1. 活動目標

- 1) 専門職としての目的を達成するために、会員の代表として各施設に協力と理解を求め、委員の候補者を公平に推薦する。
- 2) 推薦名簿の作成を円滑に行う。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 3回

(2) 内容

- ・推薦委員会の概要
- ・令和7年度役員・常任委員の選出について
- ・令和8年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について
- ・令和7年度推薦委員会 活動計画・予算請求書（案）作成
- ・推薦委員会における課題と解決について検討
- ・令和7年度活動報告書作成・提出

3. まとめ（次年度の課題）

- ・施設の人員不足等により、候補者選出の調整に苦慮したが、各施設の協力により、役員及び委員を選出し、推薦することができた。
- ・各委員会の目的や活動内容の詳細を把握し、候補者の選出を依頼する施設へ説明することが重要である。
- ・委員会の中で、各施設への連絡など、委員としての活動時間を設けることを検討する。

教育委員会

委員長：柳原由美子

委 員：山田恵美子、三好里美、谷口孝英、岩崎智子、木津里美、坂本香代、後藤香織、佐藤美和、久保江里、田村美千代、緒方美穂（～7/12）、東野千春（7/13～）

1. 活動目標

宮崎県看護協会の教育目標に沿って、社会の多様化するニーズに対応し、研修の企画・運営評価を行うとともに教育委員としての質向上を図る。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 9回

(2) 内容

- ・委員会の役割と内容・教育委員会活動計画について
- ・教育委員会会議・研修運営担当の役割・業務内容について
- ・委員学習会：「看護職の生涯学習ガイドライン策定の背景と基本的考え方」の視聴、看護協会委員会開催マニュアル、大研修室AVシステムの取り扱い、
- ・日本看護学会学術集会参加者の報告
- ・研修運営担当割当と次期開催研修の打合わせ
- ・研修実施報告および研修評価
- ・次年度委員会活動計画・研修企画の検討
- ・当年度研修の運営・総合評価、委員会活動の評価

2) 研修会の開催（P73～75 参照）

- (1) 生活と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育：21 研修 22 回（25 日間）
/参加者 1,334 名

- (2) ラダーと連動した継続教育：10 研修 13 回（13 日間）/参加者 1,046 名
- (3) 看護管理者が地域包括システムを推進するための力量形成に向けた継続教育：4 研修 6 回（6 日間）/参加者 257 名
- (4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育：6 研修 7 回（7 日間）/参加者 361 名
- 3) 会議・学会等への参加
 - (1) 第 55 回日本看護学会学術集会（熊本県）
 - 日 時：9 月 27 日（金）～9 月 29 日（日）
 - 会 場：熊本城ホール 参加者：1 名

3.まとめ（次年度の課題）

今年度は、41回（昨年度38回）開催し、合計2,998名（昨年度3,012名）の受講があった。

新たに企画した国スポ・障スポの救護に関する研修やACPに関する研修は、定員以上の申し込みとなつた。しかし、他の団体や企業等主催の研修もあることから、平成28年度（5,233名）以降、受講者は徐々に減少傾向にある。

今後とも受講者の増加につなげるため、アンケート結果・評価表を踏まえ社会情勢やニーズに合った研修を企画する。

なお、今年度は委員の業務改善として、運営人数の削減、記録等を簡略化し効率化を図り委員の負担軽減につながった。

働き続けられる職場環境づくり推進委員会

委員長：小牟田佐知子

委 員：東原美由紀、亀澤秀一、金澤雅子、中迫伸一、甲斐泰幸、藤村涼子、荒川貴代美

1.活動目標

- 1) 看護職の働き方改革の推進に向け、働く看護職の健康を守り、働き方を支援する。
- 2) 県内看護職の勤務環境について調査結果をまとめ具体的な対策を検討する。
- 3) 医療勤務環境改善支援センター等との連携を図り、宮崎県内の医療機関・福祉施設等がよりよい職場環境改善に取り組めるよう協力する。

2.活動内容

1) 委員会開催状況

- (1) 開催回数 9回
- (2) 内容
 - ・年間活動の企画・運営・評価
 - ・看護職の働き方改革推進について研修の企画・運営・評価
 - ・勤務環境調査の結果のまとめ
 - ・令和7年度の活動計画作成

2) 研修会の開催

(1) 看護職の働き方改革推進研修会

日 時：9 月 10 日（火）9：30～15：00

参加者：61名（32施設）（会場：21名 Web：40名）、運営委員 6名

テーマ「看護職員が働き続けるための多様な働き方とやりがいのある職場作り」

- ①「看護職の勤務環境実態調査」結果報告
働き続けられる職場環境づくり推進委員会 委員長
- ②「職員の多様な働き方を実践」～職員の満足度を高めるために～
社会福祉法人スマーリングパーク 総務・経理部長 坂元敏弘氏
- ③「看護の現場に生かす DX～看護業務の効率化～」
パラマウントベッド株式会社 部長 深澤浩二氏
- ④ナースセンターからの提案：看護職の確保と定着 宮崎県ナースセンター
- ⑤実践報告「看護人材確保・定着の取り組み」
宮崎医療センター病院 看護副部長 乙守篤氏

- 3) 関係機関との具体的な連携は出来なかつた。

3. まとめ（次年度の課題）

令和5年度に実施した宮崎県内の病院看護職の勤務環境について調査結果をまとめた。①プラチナナースについては、再雇用または雇用延長を求める施設が多い反面、待遇面や処遇面で十分とは言えない結果だった。少子高齢化が進み生産人口が減少する中で、プラチナナースの活躍できる場が必要であり、処遇や働き方の工夫、活用のための対応が必要と考えた。②夜勤交代制勤務は2交代が多く、夜勤回数は7割以上が8回以上で夜勤者の確保が厳しい状況が伺えた。③給与等については、新卒看護師の基本給は全国と比較すると1万円以上の差があり、勤続20年目看護職員の給与（基本給）の平均は26～27万円で、施設によってかなりの差が見られた。認定・専門看護師、認定看護管理者、特定行為研修修了者の処遇も評価していない施設が6割以上あり、改善が必要と考えた。この調査の結果は、研修会や施設代表者会議で報告することができた。

研修会は「看護職員が働き続けるための多様な働き方とやりがいのある職場作り」のテーマで開催した。先進的にDXを取り入れ、職員を大切にした多様な働き方を実践する介護分野の事業所の取り組みや看護職員定着に向けて環境要因を整え看護のやりがいを高める取り組みについて情報提供することができた。

少子超高齢化社会で生産年齢人口が減少する中、看護職の確保と定着の課題は、事業所継続や地域医療をまもる観点からも増え重要となり、働き続けられる職場環境を推進していくことが最重要課題となっている。

委員会としては今後も職場環境調査結果を活かし、看護職が健康で働き続けられるための職場環境改善を支援していきたい。

今後は、県内の病院看護職の勤務環境調査結果をもとに具体的な改善の推進に取り組む。また、多様な働き方等の研修会を開催し、それぞれの施設が職場環境改善に取り組めるよう支援する。

広報出版委員会

委員長：米田貴博

委 員：山崎朱美、坂元由美子、上田麻衣子、財部正恵、安田修一郎、長友寛子、熊倉仁美、

本田里美、高見多恵

1. 活動目標

看護協会の事業について、会報「なでしこ」を通して会員及び県民へ発信する。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 12回

(2) 内容

・会報「なでしこ」の企画構成、編集について（第154号～158号）

・編集会議（企画・レイアウト・原稿依頼）

定期内容と編集内容の検討、取材内容・取材先等の検討

・広報出版取材希望調査（各委員会、地区理事へ）

2) 取材の実施

(1) 実施回数 3回

(2) 内容

・みやざきナース Today2024 ラッピングバス出発式 5月17日 2名

・宮崎県看護協会通常総会 6月15日 3名

・宮崎県看護研究学会 3月8日 3名

3. まとめ（次年度の課題）

・会報「なでしこ」第154号～第158号を発行するにあたり、会員の関心が高まるような内容にし、看護協会活動及び看護について情報発信したことで、協会の活動に関心を持つもらうことにつながった。

・会報「なでしこ」により看護協会の情報を県民に伝え、看護に興味を持つきっかけとなるよう、配付先の検討が必要である。

令和6年度 特別委員会報告

看護制度委員会

委員長：門田広美

委 員：久保敦子、濱寄真由美、坂本三智代、日高明美、藤村涼子

1. 活動目標

看護制度及び関連諸事項について継続的に検討を重ね、看護の質向上のための具体的方向性を示す。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 3回

(2) 内容

以下の内容について情報を共有し、宮崎県看護協会活動を検討する上での資料とした。

・日本看護協会の活動に関すること

・宮崎県内の看護職員需給・就業状況

・看護学生への給付支援制度(県奨学金・専門実践教育訓練給付金)の利用状況

・看護基礎教育における臨地実習施設確保に関すること

・宮崎県看護協会における新たな看護管理者支援制度の新たな取組

・看護師が行う特定行為研修の受講状況、修了者の活躍状況

・訪問看護ステーションにおける現状と課題

・訪問看護総合支援センターに関すること

・訪問看護ステーションにおける助産師の活動状況

・日本看護学会報告:看護補助者の就労促進に関すること

・災害対応に関する宮崎県と看護協会の連携ならびに派遣契約の進捗状況

3.まとめ（次年度の課題）

宮崎県における看護職員の需給、特定行為研修・NPの活用、訪問看護の課題、看護補助者の確保、看護現場のDXの推進、災害時の看護支援体制強化、看護管理者育成、スポーツナースの育成といった幅広いテーマが議論された。特に、地域ごとの看護職員不足、特定行為研修修了者の活用の難しさ、訪問看護の経営問題、看護補助者の業務範囲の不明確さなど、現場における課題が明らかになった。

今後は、訪問看護総合支援センターの設置や看護補助者の活用促進、看護現場のDX推進、災害時の支援体制強化など、具体的な施策を検討しながら、地域の医療体制を支えるための体制作りが求められる。

医療安全推進委員会

委員長：山本直美

委 員：甲斐邦宏、阿部裕子、永友聖敏、中尾直子、船ヶ山真由美、末永麻里、藤内千夏、

小川賢二、黒木美紀

1. 活動目標

1) 看護職及び医療職の医療安全の専門的知識・技術向上の推進を図る。

2) 医療安全管理者養成研修の支援を行う。

3) 医療安全に関わる担当者等のネットワーク作りと相互支援を行う。

4) 7地区における医療安全推進活動の支援を行う。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 6回

(2) 内容

・前年度委員会活動報告

・今年度委員会目標と活動計画の確認

- ・医療安全研修会①②の運営
- ・医療安全管理者養成研修集合研修の運営
- ・年間活動のまとめと次年度委員会活動計画作成
- ・医療安全に関する地区活動伝達報告
- ・委員会活動実績まとめと次年度活動計画案の作成
- ・各施設からの事案に関する情報共有と意見交換

2) 研修会の開催

(1) 医療安全研修会①

日 時：8月23日（金）9:30～15:30

参加者：106名（非会員13名）、運営委員10名

テーマ：心理学とヒューマンエラーの関係から安全対策のヒントを得る

講 師：河野龍太郎 氏（株式会社安全推進研究所 所長）

(2) 医療安全研修会②

日 時：12月7日（土）9:30～15:30

参加者：66名（非会員3名）、運営委員10名

テーマ：医療現場の心理的安全性の確保

講 師：山口（中上）悦子 氏（大阪公立大学医学部附属病院 病院教授）

(3) 医療安全管理者養成研修 集合研修

日 時：10月17日（木）9:30～15:30

参加者：46名（非会員7名）、運営委員8名

テーマ：第6章 安全文化の醸成

講 師：甲斐由紀子 氏（宮崎大学医学部附属病院参与）

3) 会議・学会等への参加

(1) 医療の質安全学会 2024

日 時：11月29日（金）～30日（土）

会 場：パシフィコ横浜ノース 参加者：2名

3.まとめ（次年度の課題）

医療安全研修①②は、現場の課題に則した内容であり、受講者のアンケート結果からは「講義が大変分かりやすく理解できた」、「明日から実践したい」などの意見が聞かれ満足のいく内容であった。

委員会では、各々が持ち寄った自施設の課題や疑問に対して相談できる貴重な時間となり、医療安全を担う同じ立場の委員同士の情報交換ができた、情報は、各自の施設に留まらず各地区への情報提供を行った。

今後は、医療安全の質向上のため、各施設の医療安全管理者が情報共有し、相互支援を行える環境整備とネットワークの構築に取組みたい。

認定看護管理者教育運営委員会

委員長：比恵島知子

委 員：松田聖美、東 美代子、武田 愛、井上由紀子、久保田智美、高岩真秀美、向井ふさ子

1.活動目標

認定看護管理者教育の理念・目的が達成されるためにファーストレベル及びセカンドレベル教育課程に関する審議を行い、効果的な運営を行う。

2.活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 6回

(2) 内容

- ・教育課程年間計画について
- ・運営委員会年間計画・演習支援について
- ・ファーストレベル研修について
- ・セカンドレベル研修について

- ・ファーストレベル・セカンドレベルフォローアップ研修について
 - ・看護管理実践報告について
- 2) 研修会の開催
- (1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベルフォローアップ研修
日 時：5月 26 日（日）
参加者：22名（非会員0名）、運営委員7名
 - (2) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修
日 時：5月 16 日（木）～9月 13 日（金）
参加者：62名（非会員0名）
 - (3) 認定看護管理者教育課程セカンドレベルファローアップ研修
日 時：6月 1 日（土）
参加者：17名（非会員0名）、運営委員5名
 - (4) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル看護管理実践報告会
日 時：7月 28 日（日）
参加者：8名（非会員0名）、運営委員7名
 - (5) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修
日 時：10月 4 日（金）～1月 24 日（金）
参加者：20名（非会員0名）

3.まとめ（次年度の課題）

すべての研修は企画どおり実施し、受講者のアンケート結果では研修への満足度は高かった。ファーストレベルの統合演習は委員以外に7名の協力を得てグループワークの支援を行った。今後は、受講者の確保が課題である。

学会委員会

委員長：松本憲子

委 員：濱砂 馨、武田靖子、平田サオリ、松葉里江、川崎伸子

1.活動目標

- 1) 宮崎県看護研究学会の抄録応募施設数の増加を目指す。
- 2) 宮崎県看護研究学会の活発な意見交換により看護の質の向上を目指す。
- 3) 魅力ある特別講演を企画・実施する。

2.活動内容

- 1) 委員会開催状況
 - (1) 開催回数 6回
 - (2) 内容
 - ・前年度委員会活動報告
 - ・令和6年度活動計画について
 - ・学会開催内容と構成
 - ・特別講演のテーマと講師選定
 - ・抄録選考と座長選出
 - ・次年度活動計画書作成
- 2) 宮崎県看護研究学会の開催
日 時：3月 8 日（土）9：00～13：00
参加者：250名（うち非会員0名、学生92名）、運営員 36名
学会テーマ：あなたが地元で輝くために
発表演題 口演：20題、示説：18題
講演テーマ：「地元創成看護」をめざして
講師 長鶴美佐子 氏（宮崎県立看護大学 学長）

3) 会議・学会等への参加

(1) 第44回日本看護科学学会学術集会

日 時：12月7日（土）～12月8日（日）

会 場：熊本城ホール 参加者：1名

(2) 第55回日本看護学会学術集会

日 時：9月27日（金）～9月28日（土）※開催は29日（日）まで

会 場：熊本城ホール、市民会館シアーズホーム夢ホール 参加者：1名

3.まとめ（次年度の課題）

今年度の看護研究学会は、5年ぶりに会場参加のみで開催した。会場では感染対策を徹底し2会場による20題の口演発表、18題の示説発表を行った。参加者数は250名であり、活発な質疑応答があった。また、発表者へのアンケートでは、勤務施設からの十分な支援を受け、全ての回答者が発表を良い経験だったと捉えており、機会があればまた研究に取り組みたいかの質問について、81%が取り組みたい、どちらかというと取り組みたいと回答していた。

今年度の演題応募は11施設72題であった。ここ数年、同じ施設からの応募が多い状況は変わらず、応募施設数及び発表演題を増やすことが課題である。次年度は、施設代表者会議等で、研究学会で実践報告が開始となることや、研究相談を受け付けていることを広く周知するとともに、看護協会で行う研究に関する研修に参加した施設や参加者に演題応募について勧める等、演題募集を周知する機会を増やす。

実習指導者講習会検討委員会

委員長：小川淳子

委 員：壹岐さより、門田広美、上山美紀、川崎伸子

1.活動目標

- 1) 実習指導者講習会の目的に照らし合わせ、実施に伴う企画・運営・評価を適切に行う。
- 2) 講習会受講後のフォローアップ研修を企画・運営し、受講生が実習指導の課題や指導体制のよりよい方向性を見いだす機会とする。

2.活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 6回

(2) 内容

- ・病院主体コース・特定分野コース運営
- ・病院主体コース・特定分野コース開講式・発表会・閉講式出席
- ・病院主体コース・特定分野コース運営評価
- ・実習指導者講習会フォローアップ研修運営評価
- ・令和7年度病院主体コース・特定分野コース計画

2) 研修会の開催

(1) 宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会（病院主体）

日 程：6月12日（水）～8月9日（金） eラーニング 15時間 集合研修 29日間

受講者数：41名（非会員5名）、運営委員5名

修了者数：42名 *令和5年度補講生1名含む

(2) 宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）

日 程：7月30日（火）～8月22日（木） 集合研修 8日間

受講者数：10名（非会員4名）、運営委員5名

修了者数：9名

(3) 実習指導者講習会フォローアップ研修

日 程：2月1日（土）

受講者数：36名（非会員4名）、運営委員4名

3.まとめ（次年度の課題）

- ・講習会運営について、講習会の目的に照らし合わせ企画・運営できた。

- ・演習担当教員の確保が難しく、一部の養成所に負担が偏らないよう輪番制を次年度から導入する。
- ・指導案作成の時に使用する各学校のシラバスは、演習担当教員が受講者に提示し指導するようにした。
- ・実習指導案をまとめた集録集は、次年度よりコスト削減のために廃止する。

まちの保健室地区代表者委員会

委員長：田中澄子

委 員：蛯原夕起子、田中優子、釣崎 信、黒木正樹、加藤千鶴、藤原勝美、丸岡智子、小牟田佐知子、齊藤皆子、四元瑞恵、山元ヒサ子、永野秀子

1. 活動目標

- 1) 県民を対象に、こころや身体について、いつでも、どこでも、だれもが身近なところで気軽に相談できる場所として「まちの保健室」を県内全域で開設し、地域における他職種との連携を図ることに努めながら、県民の健康保持・増進を支援する。
- 2) 「まちの保健室」の活動が、県民の生活に寄り添った「健康」と「安心」を支える地域づくり活動となることを目指し、積極的な啓発に努める。
- 3) 研修会を適時開催し、相談に携わる相談員の確保・育成と相談員としての質向上を図る。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

- (1) 開催回数 5回
- (2) 内容
 - ・令和6年度委員会活動計画について
 - ・まちの保健室設置、運営について
 - ・相談対応マニュアル、感染対策マニュアルの評価、修正
 - ・研修会企画・立案・実施・評価
 - ・令和6年度活動の振り返りと実績のまとめ
 - ・次年度の活動計画の検討

2) 研修会の開催

(1) まちの保健室協力員等研修会（共通）

日 時：6月1日（土）13:30～16:30

参加者：55名（非会員1名）、運営委員7名

テーマ：①本県における健康課題と対策について

講師：蛯原夕起子 氏（宮崎県福祉保健部健康増進課課長補佐）

②新型コロナウイルス感染症の今とこれから

講師：佐藤圭創 氏（延岡市医師会病院医師）

(2) まちの保健室協力員等研修会（日南・串間地区）※地区活動報告参照

(3) まちの保健室協力員等研修会（延岡・西臼杵、日向・東臼杵地区）※地区活動報告参照

(4) まちの保健室協力員等4地区合同研修会（西都・児湯、宮崎・東諸県、都城・北諸県、小林・えびの・西諸県地区）※地区活動報告参照

3) 地区活動

各地区活動報告 表1、表2参照

表1 地区別実績（定期型）

地区 内訳 △	延岡 西臼杵	日向 東臼杵	西都 児湯	宮崎 東諸県	都城 北諸県	小林 えびの 西諸県	日南 串間	合計
開催日数	50	22	33	49	18	21	24	217
従事者総数	100	36	42	52	36	44	48	358
利用者総数	389	226	244	639	99	117	337	2,051
延相談件数	618	585	399	1,470	207	246	780	4,305

表2 地区別実績（イベント型）

地区 内訳	延岡 西臼杵	日向 東臼杵	西都 児湯	宮崎 東諸県	都城 北諸県	小林 えびの 西諸県	日南 串間	合計
開催日数	0	1	1	4	3	1	2	12
従事者総数	0	3	3	8	6	3	7	30
利用者総数	0	3	10	40	51	45	159	308
延相談件数	0	7	12	126	101	51	381	678

3.まとめ（次年度の課題）

まちの保健室事業は、県内7地区で定期型・イベント型を開設しており、現在132名の協力員が活動している。地区別実績は、表1、2参照。

協力員研修は、共通・各地区ともに計画通り実施することができ、良い学びができた。

今年度は新型コロナ感染症の影響はなかったが、年末にインフルエンザ感染症の拡大があり一部地区において開設を中止したところがあった。また、開設場所の工事や点検、他業者と重なる等の問題が発生した施設もあり実績として伸びが少なかった。今後の課題として、開設場所についての検討と協力員の増員が必要である。協力員については、高齢を理由に辞退する人もあり人員確保が急務と考える。看護協会員でもまちの保健室活動についてよくわからないと言う声があり、「協力員募集」のチラシを作成した。今後の成果に期待したい。

まちの保健室を利用した相談者からは、「話をゆっくり聴いてもらって気持ちが落ち着いた」などの声がある。今後も目標の達成に向けて更に努力していく。

災害看護委員会

委員長：壹岐由加利

委員：富山健司、成合貴代、橘田志帆、福田幸子、野間智夏、松田菜緒子、永迫 望

1.活動目標

- 1) 災害支援ナース（災害・新興感染症対応）の養成を推進する。
- 2) 災害支援ナース（災害・新興感染症対応）の質の向上を図る。
- 3) 国や県等の動向に応じた災害支援活動のための体制整備を図る。

2.活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 6回

(2) 内容

- ・令和6年度の委員会活動計画について
- ・災害看護研修の運営・評価
- ・新たな災害支援ナースの仕組み及び県内の災害支援ナースに係る体制整備の進捗の共有
- ・令和7年度委員会活動計画の検討

2) 研修会の開催

(1) 災害看護研修（看護管理者編）～「いざ」に備える～

日 時：8月3日（土）9：20～16：00

参加者：33名（非会員1名）、運営委員5名

テーマ：災害発生時における看護管理者の役割、地域における災害の特徴や課題

講 師：高岡誠子 氏（日本公衆衛生協会 健康危機管理支援部 企画調整課長）

(2) 災害支援ナース登録者対象研修（災害看護編）

日 時：10月4日（金）9：20～16：00

参加者：30名（非会員1名）、運営兼演習支援4名

テーマ：避難所における災害支援ナース派遣活動のシミュレーション

講 師：門田広美 氏（延岡看護専門学校 副校長）

(3) 災害支援ナース登録者対象研修（感染症看護編）

日 時：10月11日（金）9：20～16：10

参加者：30名（非会員0名）、運営委員5名

テーマ：呼吸器感染症の拡大防止（ゾーニング）、安楽な呼吸管理と肺理学療法

講 師：串間真由美 氏（けいめい記念病院 感染管理特定認定看護師）

河野裕行 氏（国立病院機構宮崎東病院 呼吸器疾患看護特定認定看護師）

(4) 災害支援ナース養成研修（演習）※日本看護協会委託事業

日 時：(1日目) 11月29日（土）9:20～16:25

(2日目) 11月30日（日）9:20～15:25

参加者：64名（非会員5名）※修了者64名

講 師：（講義）藤村涼子 氏（宮崎県福祉保健部 医療政策課）

永野秀子（宮崎県看護協会常務理事）

（演習）鵜野和代 氏（桜十字グループ近畿病院 看護部長 救急看護認定看護師）

永迫 望 氏（潤和会記念病院 感染管理認定看護師）

川野友香里 氏（小林市立病院 クリティカルケア認定看護師）

森久保 裕 氏（宮崎県立延岡病院 救急看護認定看護師）

災害看護委員（1日目 演習指導6名、2日目 運営委員5名）

3) 防災訓練への参加

(1) 宮崎市防災訓練（青島地域総合センター）

日 時：11月4日（月）8:30～12:00 参加者：2名

(2) 都城市総合防災訓練（沖水地区体育館）

日 時：11月24日（日）8:30～12:00 参加者：3名

4) 会議・学会等への参加

(1) 災害支援ナース養成研修企画・指導者研修の受講

日 時：オンデマンド研修【共通編】（3時間）7月1日～10月21日

オンライン研修【演習災害編】10月29日（火）13:00～16:30

オンライン研修【演習感染症編】10月24日（木）13:00～16:30

受講者：委員1名（災害編）、次年度演習講師1名（感染症編）※修了者2名

(2) 日本災害看護学会第26回年次大会

期 間：オンライン視聴9月24日～10月24日 参加者：3名

3.まとめ（次年度の課題）

令和6年度は、4研修を開催した。看護管理者対象研修は、「いざに備える」というテーマで、講義に引き続き、参加者各自の自施設での災害発生を想定した看護管理者の役割を考える演習を行った。平時の対策の大切さを再認識し、マニュアルやアクションカードの見直しが必要なことを確認した。また、近隣地域の参加者でグループ編成したこと、ネットワークづくりの契機となった。

災害支援ナースの能力の維持・向上を図るために、令和5年度災害支援ナース養成研修修了者を対象に「災害看護編」「感染症看護編」の2研修を開催した。避難所における支援活動のイメージトレーニングと、感染症発生の高齢者施設のゾーニングおよび呼吸管理の内容で企画し、修了者の5割が受講した。

災害支援ナース養成研修は、オンライン講義の受講修了者を対象に2日間の演習（集合研修）を行い、64名が修了した。本研修の昨年度からの修了者は、178名となった。

8月に日向灘を震源とした震度6弱の地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表され、緊張した生活を送りながら、日常からの大規模地震への備えを再考することができた。今後必ず起こる南海トラフ地震等に備えて、次年度は引き続き災害支援ナースの養成および能力維持・向上を図るとともに、支援ナースの活動指針となるハンドブックの作成を計画する。

専門・認定看護師委員会

委員長：三輪真砂子

委 員：楠原裕美子、酒井美香、中内健太、高須順子、田原真美代

1. 活動目標

- 1) 専門・認定看護師が宮崎県の看護の質向上に寄与できるよう、研修会を企画・運営・評価する。
- 2) 専門・認定看護師が互いのネットワークづくりを推進できるよう取り組む。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

- (1) 開催回数 4 回
- (2) 内容

- ・令和 6 年度の計画に沿って研修会の運営・評価
- ・専門・認定看護師間ネットワークづくり等の方策の進捗について
- ・専門・認定看護師支援のための相談事業について
- ・令年 7 年度の活動計画の検討、作成

2) 研修会の開催

(1) 看護職対象研修会

日 時：11月 23 日（土）9：30～15：30

参加者：85 名（非会員 5 名）、運営委員 6 名

テーマ：せん妄・認知症・高次脳機能障害の違いとケア～スペシャリストから学ぶ生活を支える看護～

講 師：梶原奈緒子 認知症看護認定看護師 （宮崎県立延岡病院）

川野友香里 クリティカルケア認定看護師 （小林市立病院）

小柳優美子 がん看護専門看護師 （潤和会記念病院）

清 博美 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 （宮崎県立宮崎病院）

(2) 専門看護師・認定看護師研修

日 時：1月 25 日（土）9：00～16：30

参加者：55 名（非会員 0 名）、運営委員 6 名

テーマ：アンガーマネジメント～怒りの感情と上手く付き合おう～

講 師：田之頭智子（ピュアキャリアアドヴァンス）

3) 情報発信

- ・「会報なでしこ」に『もう一度押さえておきたい看護のコツ～専門看護師・認定看護師から皆様へ』を 4 回掲載

- ・宮崎県看護協会ホームページ「県民の皆さんへ」に『専門・認定看護師から』を 4 回掲載

4) 相談事業

「会報なでしこ」や研修を機会に広報したが、相談はなかった。

3.まとめ（次年度の課題）

看護職対象研修の定員に対する参加率は 140% を超えた。分野の異なる専門・認定看護師の講義であり、ニーズに合った企画となった。

専門看護師・認定看護師研修『アンガーマネジメント』では、自分の怒りの感情を知り、行動を見直すきっかけとなった。

今後の専門・認定看護師のネットワークの構築推進に関しては、メーリングリスト作成に取り組み登録数は 104 名となった（県内登録数の約 58%）。今後は研修計画や情報周知に活用する。

令和 7 年度より、当委員会が主催して企画・運営する研修が 6 研修増えたこともあり、専門・認定看護師が、主体的に関わり質向上に貢献できる研修プログラムを目指す。

令和6年度 地区活動報告

延岡・西臼杵地区

地区理事 鴨田 充世（延岡市医師会病院）

委員：細元みどり・児島英和・山本いづみ・黒木帝光（延岡共立病院）、加藤千鶴（延岡リハビリテーション病院）、高橋秀臣（介護老人保健施設エクセルライフ）、黒木正樹（介護老人保健施設螢邑苑）、甲斐邦宏（国見ヶ丘病院）、黒木健次・松田徳子（訪問看護事業所あたご）、松田智子（平田東九州病院）、甲斐絹代・富山健司・甲斐章子・門田広美（延岡看護専門学校）、柳田志乃（黒木病院）、甲斐美幸（高千穂町国民健康保険病院）、木村祥子（井上病院）、田中智子（早田病院）、日野亮司（訪看ステーション陽のひかり）、甲斐和子（岡村病院）、外山祥子・森久保裕・中村照美・日高亜紀（宮崎県立延岡病院）、松尾祐子（延岡保健所）、佐藤奈美（おがわクリニック）、新名圭子（米田脳神経外科）、甲斐文子（谷村病院）、矢野裕子・黒木千里・米田真由美（個人会員）、日高隆一（延岡市役所）

1.活動目標

- 1) 研修企画・運営を実施し、看護師の質向上に努めるとともに、看護職が魅力的な職業であるという認識を高め、職能団体である看護協会への入会増員を目指す。
- 2) 保健・医療・介護福祉サービスに従事する看護職と多職種の連携・協働を推進し、相互理解と親睦を図り地域住民に貢献できる。
- 3) 少子超高齢化社会に対応するために、在宅支援を推進し地域住民の健康増進と福祉活動の向上に努める。

2.活動内容

- 1) 委員会活動（施設代表者会議、地区運営委員会、各委員会の開催）
- 2) 研修会活動（3研修の開催）
- 3) 看護の日イベント
- 4) 行政等の要請に応じて会議に参加

3.活動実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	看護の質の向上のための委員会	質の向上のための委員会研修計画について	4月26日	7名	平田東九州病院
2	第1回地区運営委員会	理事会報告・委員会組織の確認／各委員からの活動報告など	7月2日	10名	延岡看護専門学校
3	第1回医療安全推進委員会	医療安全推進委員会報告／地区研修についてなど	8月27日	8名	延岡看護専門学校
4	第1回まちの保健室協力員会議	活動報告／令和7年度活動計画など	9月20日	11名	ヘルストピア延岡
5	第2回地区運営委員会	理事会報告／令和7年度の活動目標と計画の立案など	10月24日	8名	延岡看護専門学校
6	第2回医療安全推進委員会	医療安全推進研修会の運営方法の確認及び当日の役割分担など	11月7日	8名	延岡看護専門学校
7	在宅福祉で働く看護職のための委員会・地域の要請委員会（合同会議）	令和7年度活動計画／意見情報交換など	12月12日	4名	米田脳神経外科
8	施設代表者会議（第3回地区運営委員会を兼ねる）	話題提供講演「宮崎県ナースセンター事業と人材確保の取り組み」／令和7年度地区活動と組織図案／参加者との情報共有など	12月19日	26名	延岡看護専門学校
9	第2回まちの保健室協力員会議	活動報告／令和7年度研修についてなど	2月21日	11名	延岡看護専門学校

2) 研修会活動

※参加者数（うち非会員数）

研修名	内容	開催日	参加数*	会場
看護の質向上のための研修	なんか変だな？から始める急変対応 講師：森久保裕 氏（宮崎県立延岡病院）	7月13日	44名 (22名)	宮崎県立延岡病院
災害看護支援研修 「災害看護シンポジウム in 延岡」	県北地域における災害医療～南海トラフ巨大地震への備え 座長：門田広美 氏（延岡看護専門学校） シンポジスト：3名（行政・医師・DMAT隊員）	7月27日	146名 (39名)	延岡総合文化センター

医療安全推進研修	睡眠と医療安全 講師：東郷順一 氏（東洋羽毛販売株式会社 鹿児島営業所）	11月16日	23名 (11名)	宮崎県立延岡病院
----------	---	--------	--------------	----------

3) 行政等会議の参加

会議名	開催日	会場
延岡保健所運営会議	7月29日	延岡保健所

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
看護の日イベント	5月25日	20名	イオン延岡

4. 実施評価と課題

活動の大きな目標のひとつに「看護の質向上」をあげ今年度も研修を中心に活動を進めた。その中でも、災害看護支援研修会においては、災害看護シンポジウム in 延岡「県北地域における災害医療～南海トラフ巨大地震への備え」をテーマに、医療関係者だけでなく、行政関係者も対象として開催した。2024年1月1日に能登半島地震が発生したこともあり、146名の参加となった。会場の参加者からは質問や意見も活発に聞かれ、県北地域における災害医療への関心も高まったと考える。また、施設代表者会議では、宮崎県ナースセンター事業と人材確保の取り組みについての情報を共有した。看護職を取り巻く医療環境や社会情勢は、更に変化していくと予測される中、看護協会等の役割や取り組みについて理解することができ、自施設での入会活動についての意識づけに繋がった。今年度は在宅・福祉で働く看護職のための研修の開催はなかったが、保健・医療・介護福祉サービスに従事する看護職で、多職種の現状や課題を共有する目的で会議を行っている。看護や介護を必要とする地域の住民がより良いサービスを受けられる体制づくりが必要と話し、次年度に向けた取り組みの検討を行う。

1年間活動する中で看護協会や地区運営委員の協力もあり、計画していた委員会と研修は概ね実施できた。看護職不足と看護職の働き方に関する事項は、どの施設にも共通する喫緊の課題である。延岡・西臼杵地区の組織力強化のためにも、地区運営委員だけでなく会員・非会員の施設代表者との繋がりを強化するためのシステム作りが必要と考える。

日向・東臼杵地区

地区理事 富山 由美（和田病院）

委員：上原千枝（日向保健所）、成合貴代（済生会日向病院）、三浦久美子（和田病院）、佐藤幸代（訪問看護ステーションなでしこ日向）、阿部裕子・藤原勝美（千代田病院）

1. 活動目標

- 1) 地区活動が地区運営委員会を主として組織的に活動できる
- 2) 研修会の企画・運営を通じ看護の質向上及び看護職の交流を図り、会員拡大に努める
- 3) まちの保健室活動を計画的に実施し、地域住民の健康管理に努める
- 4) 多職種と連携を図り、地域包括ケアシステム構築に積極的にかかわる
- 5) 地域の看護職のスキルアップに貢献する

2. 活動内容

- 1) 地区運営委員会（5回）を開催
- 2) 地区研修会（災害看護支援研修会、在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修、医療安全推進研修、自殺対策）の企画・運営・評価
- 3) まちの保健室協力員会議の開催とイベント参加
- 4) 行政等の要請に応じた会議への参加
- 5) 日向市・東臼杵郡看護管理部会と連携（情報共有、活動調整）

3. 活動実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	第1回地区運営委員会	令和6年度活動計画について	6月26日	7名	和田病院研修室
2	施設代表者会議	令和5年度活動報告と評価／令和6年度活動計画／意見交換	7月5日	22名	千代田病院研修室
3	第2回地区運営委員会	上半期の活動評価／下半期の活動確認／令和7年度活動計画	9月20日	6名	和田病院研修室

4	まちの保健室運営会議	令和6年度活動報告／令和7年度活動計画	10月24日	20名	千代田病院研修室
5	第3回地区運営委員会	令和6年度活動評価／令和7年度活動計画	11月1日	7名	和田病院研修室
6	第4回地区運営委員会	令和7年度活動計画見直し	1月11日	6名	和田病院看護部長室
7	第5回地区運営会議	令和7年度活動計画／施設代表者会の日程調整	2月19日	7名	和田病院看護部長室

2) 研修会活動

※参加数(うち非会員数)

研修名	内容	開催日	参加数*	会場
医療安全推進研修	医療版失敗学のすすめ 講師：三好彰範 氏（さとやま遊人舎 代表理事）	8月3日	30名 (8名)	千代田病院
まちの保健室協力員等研修（延岡・西臼杵地区との合同開催）	食について～ベジ活・適塩で健康になります～ 講師：黒木直子 氏（宮崎県栄養士会ケアステーション在宅栄養士）	9月1日	27名 (1名)	千代田病院
災害看護支援研修	能登半島の災害の現状と活動報告 講師：上原千枝 氏（日向保健所 健康づくり課長）、柏田祐貴 氏（和田病院 看護師 DMAT 隊員）	9月13日	34名 (1名)	済生会日向病院
看護職と他職種との交流会	在宅療養が困難な方でも、多職種で力を合わせて在宅生活を支えよう！ 講師：高石真那斗 氏（日向たかいしクリニック 院長）、榎本雄介 氏（大貫診療所 院長）、岩谷健志 氏（縁・在宅クリニック 院長）	11月10日	41名 (22名)	大王谷コミュニティーセンター
自殺対策研修 (日向保健所との共催開催)	自殺予防と心の健康 報告者：倉永笑民 氏（日向保健所 健康づくり課） 講 師：二宮嘉正 氏（協和病院 院長）	12月10日	40名	日向保健所

3) 行政等会議の参加

会議名	開催日	会場
第1回日向入郷医療圏地域医療構想調整会議	9月10日	書面会議
令和6年度日向保健所運営協議会	11月22日	日向保健所

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
五十猛大祭（イベント型まちの保健室）	11月3日	協力員3名	マルイチ財光寺店

4. 実施評価と課題

今年度は5回の研修会を開催することができた。参加者からはどの研修会も好評であり、次年度も開催してほしいなどの意見も多かった。1月に予定していた「看護の質向上のための研修会」は感染症の蔓延により、勤務スタッフ確保が困難な状況があり中止を決定した。この時期の研修会は、同様の事象が発生することも十分考えられるため、開催時期の判断に役立てたい。参加者の確保に苦慮する部分もあったが、これを機に地区の様々なネットワークを活用し広報することができたことは今後の連携にも好影響だったと考える。

まちの保健室協力員も7名の新規登録者を迎えることができた。また、各地区運営委員会に数名の委員を置くことができた。地域の情報を広く集め、地域住民や看護職に必要な活動を展開していきたい。

西都・児湯地区

地区理事 関原 昭吾（鶴田病院）

委員：井手香（高鍋保健所）、岩村優子（訪問看護ステーション湯癪亭）、大野美穂（国立病院機構宮崎病院）、清水恵子・野邨つぐみ・木村博人（西都児湯医療センター）、海野澄子・丸岡智子・橋田志帆（都農町国民健康保険病院）、釣崎信・吉野鈴子（西都病院）、河野ひろみ・脇本静（海老原総合病院）、小森順子（介護老人保健施設並木の里）、関谷明美・土持瞳（三財病院）、梶原さき子（内田医院）、財満ひろみ（訪問看護ステーション花はたる）、中尾真季（大塚病院）、黒木富美（訪問看護ステーションLife）、猪上政徳（訪問看護ステーションひなた）、藤澤豊子（宮崎医療福祉専門学校）、鍋倉扶美（児湯准看護学校）、安藤優子（都農町健康管理センター）、永友聖敏（鶴田病院）、中村嘉代子（ひまわり訪問看護ステーション）

1. 活動目標

- 1) 地区活動を通して看護職ネットワークの強化及び多職種との連携推進を図る

- 2) 研修会の企画・運営を実施し、看護職の質向上を図るとともに組織強化に努める
- 3) まちの保健室活動を、地域住民に周知し、健康保持・増進を支援する

2.活動内容

- 1) 地区施設代表者会議の開催
- 2) 地区研修会の企画・実施
- 3) まちの保健室協力員会議の開催・まちの保健室活動・イベント実施
- 4) 行政等の会議への参加

3.活動実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	第1回西都児湯地区施設代表者会議	理事会報告／令和6年度組織体制について／6年度地区活動について／意見交換等	6月28日	14名	鶴田病院
2	第2回西都児湯地区施設代表者会議	理事会報告／委員会より報告／令和6年度研修会実施報告、評価／令和7年度活動計画、予算について／意見交換等	11月1日	14名	鶴田病院
3	まちの保健室協力員会議	令和6年度定例委員会報告並びに実施状況報告／令和7年度まちの保健室事業計画について／意見交換、検討	3月14日	9名	鶴田病院

2) 研修会活動

※参加数(うち非会員数)

研修名	内容	開催日	参加数*	会場
医療安全推進研修	安全文化の醸成 講師：甲斐由紀子 氏（宮崎大学医学部附属病院参与、ジェネラルリスクマネジャー）	7月20日	47名 (6名)	西都原考古博物館
「まちの保健室」協力員等4地区合同研修 (西都・児湯、宮崎・東諸県、都城・北諸県、小林・えびの・西諸県地区合同開催)	まちの保健室の活動報告／発達障がいの基本的理解と接し方 講師：土田玲子 氏（NPO法人なごみの杜 代表理事）	9月21日	53名 (3名)	宮崎県看護等研修センター
自殺対策研修 (高鍋保健所との共催開催)	西都・児湯地区的自殺の現状 報告者：清弥佳 氏（高鍋保健所 健康づくり課 疾病対策担当） 飲酒問題がある人へのアプローチ～アルコール依存症とうつ、自殺～ 講師：細見潤 氏（ウエルフェアみやざき総合研究所 所長）	10月11日	46名 (10名)	高鍋保健所
看護の質向上のための研修	神経難病の診断・治療とその受け入れ方 講師：望月仁志 氏（海老原総合病院 副院長 神経内科医師）	10月18日	67名 (5名)	高鍋美術館
在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修	健康を守るフットケア 講師：木下縁 氏（フットケアサロンSALKEL 代表）	11月22日	48名 (15名)	サンA川南文化ホール

3) 行政等会議の参加

会議名	開催日	会場
令和6年度西都児湯地域・職域連携推進協議部会	7月3日	高鍋保健所
令和6年度第1回西都児湯二次医療圏地域医療構想調整会議	10月4日	高鍋保健所
高鍋保健所運営協議会	12月11日	高鍋保健所
西都児湯地域自殺対策推進協議会	12月12日	高鍋保健所
令和6年度西都児湯地域・職域連携推進協議会	2月6日	高鍋保健所
令和6年度第1回西都児湯二次医療圏地域医療構想調整会議	3月17日	高鍋保健所

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
看護の日のイベント	5月12日	協力員3名	西都PAO
西都原オータムフェスタ（イベント型「まちの保健室」）	11月10日	協力員3名	西都原イベント広場

4.実施評価と課題

地区の施設代表者会議では各施設の代表者及び委員会の代表者を集め、顔の見える関係づくりを行う中で、問題の共有・情報の共有・ネットワークの強化等に繋げることができた。

企画していた研修会は、災害看護を除くすべての委員会主催の研修を実施することができた。前年度の研修会アンケートで得られた内容を含めて企画を行ったが、どの研修会も参加申込が少なく、申込期間終了後も声かけを行わないと参加者が集まらないことに大変苦慮した。しかし、研修受講後の満足度

はどの研修会も高く、地域のニーズにあったものであったと評価する。

行政等会議については、参加依頼のあった分に対し全て出席できた。今後は看護職の立場としてできるだけ意見を出せるようにし、地域の職場環境改善に繋げていきたい。

まちの保健室活動では、新規の協力員が1名を増えたが、協力員の調整が難しい施設やOBの協力員の継続が難しくなっており、現在の協力員の負担が増えてきている。できる範囲での活動を維持し、地域住民の健康保持・増進を支援していきたい。また、研修会参加を促し、少しでも理解して協力してくれる相談員を獲得していきたい。イベントでは、まちの保健室の活動を知っていただく機会でもあるので、工夫をしていきたい。

次年度はこれまでのやり方にこだわらず、協会の示す地区活動のあり方をもとに、地域のニーズにあった活動の企画を行い、継続して看護の質向上に努め、施設間の交流の中で連携を密に図っていきたい。

宮崎・東諸県地区

地区理事 山下 千夏（南部病院）

委員：日高明美（宮崎県立宮崎病院）、福満美和（宮崎大学医学部附属病院）、和泉貴子（古賀総合病院）、岩部仁（宮崎善仁会病院）、新名麻理子（宮崎市郡医師会病院）、西橋富美江（潤和会記念病院）、小村哲郎（宮崎若久病院）、後藤美紀（けいめい記念病院）、小牟田佐知子（宮崎生協病院）、日高友子（宮崎市保健所）、中山秀昭（宮崎医療センター病院）、竹本美希（訪問看護ステーションなんぶ）

1. 活動目標

- 1) 地区活動を推進し、研修会の企画・運営を通じ、地域の看護職の質向上を目指す
- 2) 地域包括ケアシステムの構築のために看護職同士や他職種との交流を深め連携を図る
- 3) 地域住民の健康と福祉の向上に寄与する

2. 活動内容

- 1) 地区施設代表者会議の開催（年2回）・地区運営委員会（年6回）の開催
- 2) 地区研修・交流会の企画・運営（看護の質向上のための研修、医療安全推進研修、在宅・福祉施設などで働く看護職のための研修・看護職と多職種交流研修）
- 3) まちの保健室協力員会議（年2回）研修（年1回）
- 4) 看護の日のイベントの支援・協力
- 5) 行政等の要請に応じた会議への参加

3. 活動の実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	第1回地区施設代表者会議	令和6年度地区活動目標と活動計画について／講演「介護・医療現場における転倒・転落の責任 法律の観点から」／グループワーク	4月25日	35名	宮崎県看護等研修センター
	第1回地区運営委員会	令和6年度地区活動目標と活動計画の確認等		13名	
2	第2回地区運営委員会	報告（理事会・日本看護協会通常総会・区理事意見交換会、地区代表者会議・常任委員会・特別委員会）／地区研修等の役割の確認	6月26日	11名	宮崎医療センター病院
3	第3回地区運営委員会	報告（特別委員会、地区研修等）／研修・会議企画と準備について／情報交換	9月30日	6名	宮崎医療センター病院
4	第1回まちの保健室協力員会議	研修報告・まちの保健室活動および体制について	9月14日	6名	県立図書館
5	第4回地区運営委員会	地区施設代表者会議について／次年度地区活動計画について	10月30日	6名	書面会議
6	第2回地区施設代表者会議	報告（理事会・地区活動）／グループワーク	12月12日	26名	宮崎県看護等研修センター
	第5回地区運営委員会	次年度地区活動の検討、運営委員の確認		8名	
7	第2回まちの保健室協力員会議	令和6年度活動報告／令和7年度活動計画について	2月22日	9名	県立図書館
8	第6回地区運営委員会	理事会等報告／次年度地区活動計画の修正、運営委員数について	2月28日	13名	宮崎医療センター病院

2) 研修会活動

※参加者数(うち非会員数)

研修名	内 容	開催日	参加数*	会 場
看護の質向上のための研修	みんなで考えよう救急看護～観察とアセスメント～ 講師：岩崎利恵 氏(宮崎県立日南病院 救急看護認定看護師)	9月 1日	29名 (4名)	宮崎県看護等研修センター
医療安全推進研修	現場のチームでつくり、みんなで実践する転倒転落防止対策 講師：杉山良子 氏・奥俊介 氏(パラマウント株式会社)	10月 6日	7名 (2名)	宮崎県看護等研修センター
看護師と他職種との交流会	ごちゃまぜで学ぶ病棟在宅医療連携 講師：吉村学 氏(宮崎大学医学部地域包括ケア・総合診療医学講座 教授)	10月 23日	22名 (10名)	宮崎市保健所
在宅・福祉施設などで働く看護職のための研修会	在宅での脆弱な高齢者の皮膚のケアについて 講師：酒井美香 氏(宮崎市郡医師会病院 皮膚・排泄ケア認定看護師)	11月 10日	15名 (5名)	宮崎市郡医師会講堂

3) 行政等会議の参加

会議名・内容	開催日	会 場
第1回宮崎東諸県地域医療構想調整会議	6月 17日	書面会議
令和6年度宮崎県中央保健所運営協議会	6月 19日	宮崎県総合保健センター
第2回宮崎東諸県地域医療構想会議	7月 3日	宮崎県総合保健センター
令和6年度宮崎市防災訓練第1回調整会議	8月 22日	宮崎市防災対策本部
第81回国民スポーツ大会宮崎市準備委員会	8月 30日	書面会議
令和6年度宮崎市防災訓練第2回調整会議	10月 2日	青島地域総合センター
第81回国民スポーツ大会宮崎市準備委員会	1月 9日	宮崎市民プラザ
第3回宮崎東諸県地区地域医療構想調整会議	3月 12日	宮崎県総合保健センター

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
ワンストップ相談会	9月 8日	2名	イオンモール宮崎
宮崎市防災訓練 一般市民向け防災学習「避難所における健康管理」 講師：鵜野和代氏(近畿病院 災害支援ナース)	11月 4日	2名	青島地域総合センター
いいお産の日 in 宮崎	11月 23日	2名	県立図書館
ワンストップ相談会	1月 26日	2名	(オンライン)
ワンストップ相談会	3月 1日	2名	県立図書館

4. 実施評価と課題

今年度、予定していた会議・研修を全て実施することができた。いずれも参加者の満足度の高い研修となっているが、日程の問題もあり参加数は伸び悩んだ。次年度は、研修数・内容の見直しを行い、効率的な運営を行っていきたい。

地区の施設代表者会議では、話題になっている問題の情報提供や、グループワークを企画することで、自施設での対応や取り組みを検討するきっかけになっていた。本地區は県内7地区では、会員がいる施設数は一番多いが、施設代表者会議の参加者数は、30名前後と少なくなっている。有事の際に近隣施設同士で協力しあえるネットワーク作りの必要性を感じてもらえるように、案内や企画の検討が今後の課題である。

都城・北諸県地区**地区理事 荒武 昌代 (藤元総合病院)**

委員：田中久美・鳥丸章子・千代森夕子・藤内千夏・福田幸子(国立病院機構都城医療センター)、上森妃美・首高広美・森山ゆかり(都城市郡医師会病院)、中堂蘭明人・久保田里香(宮永病院)、中山秋子・溝添なぎさ(藤元病院)、中迫伸一・大出水廣香・早田康治(大悟病院)、平松真由美・東小夜里、中浜優美(藤元総合病院)、上田淳子・栄福涼子(藤元上町病院)、山下理恵(小牧病院)、益留真由美(都城保健所)、溝口光子(藤元総合訪問看護ステーション)、梅垣亜由美(訪問看護ステーション優癒)、栗山誓子(訪問看護ステーションなごみ)、丸山智美(介護老人保健施設はまゆう)、今村三千代・斎藤皆子(個人会員)

1. 活動目標

- 1) 地区研修会を企画・運営し、地域の看護の質向上を図る
- 2) 地域包括ケアシステムの構築のために看護職と他職種との連携を図る

- 3) まちの保健室活動を通して、地域住民の健康保持・増進に寄与する
- 4) 地区活動を推進し、看護管理者、看護職の交流を深める

2.活動内容

- 1) 地区運営委員会・各委員会合同会議開催
- 2) 地区研修会の企画と実施
- 3) まちの保健室活動
- 4) 行政等の会議への参加

3.活動実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	第1回地区運営委員会・各委員会合同会議	理事会報告／今年度の地区活動計画／委員会で研修企画	7月 3日	24名	藤元総合病院
2	第2回地区運営委員会・各委員会合同会議・施設代表者委員会	理事会報告／今年度の地区活動計画	10月 31日	19名	藤元総合病院
3	まちの保健室協力員会議	報告事項／次年度の活動計画等	10月 31日	7名	藤元総合病院
4	第3回地区運営委員会各委員会合同会議	理事会報告／令和6年度地区活動反省・評価／令和7年度地区活動内容	2月 25日	21名	藤元総合病院

2) 研修会活動

※参加者数（うち非会員数）

研修名	内容	開催日	参加数*	会場
看護の質向上のための研修会	摂食・嚥下～明日からできる食事の攝取とケアのポイント～ 講師：宮原未央 氏（株式会社ハラケアシステム）	9月 27日	34名 (0)	都城市郡医師会病院
医療安全推進研修	安全で良質な睡眠とは 講師：平野羊嗣 氏（宮崎大学医学部臨床神経科学講座神経医学分野）	1月 17日	53名 (16名)	都城市郡医師会病院
在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修	神経難病における意思決定支援について 講師：大窪隆一 氏（藤元総合病院）	11月 30日	36名 (5名)	都城医療センター
災害看護支援研修	災害時の保健医療福祉活動について 講師：名越秀樹 氏（都城市郡医師会病院）	12月 6日	49名 (2名)	都城市郡医師会病院

3) 行政等会議の参加

会議名	開催日	会場
都城市三股町在宅医療介護連携推進協議会	7月 12日、3月 14日	グランドパティオ都城、都城市北諸県郡医師会館
第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 都城市準備委員会	8月 29日	台風のため書面会議
日本のひなた宮崎国スポ・障スポ都城市実行委員会、第1回宿泊衛生専門員会	11月 12日	都城市役所
都城北諸県地域・職域連携推進協議会	10月 2日	都城保健所
都城防災会議	10月 18日	都城市中央公民館
都城北諸県地域医療構想調整会議	3月 13日	都城保健所
都城保健所運営協議会	7月 24日	都城保健所
都城市介護保険運営協議会	6月 28日、9月 20日 11月 28日、2月 13日	中央公民館、都城市役所

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
都城ぼんちフェスティバル	9月 22日	1名	都城まちなか広場
みまたボランティアまつり（イベント型まちの保健室）	10月 19日	2名	三股町総合福祉会館
くすりと健康講演会（イベント型まちの保健室）	10月 27日	2名	都城市総合福祉会館
みまたん霧島パノラマまらそん（イベント型まちの保健室）	1月 26日	2名	三股町立文化会館

4.実施評価と課題

地区運営委員会、各委員会合同会議は、看護協会理事会報告ならびに、研修の企画運営に関する内容を主に開催した。施設代表者会議を今年度開催しておらず、次年度に行っていきたいと考える。地区研修会は、各委員の主体的な活動により、計画どおり4回開催することができた。参加人数を集めることに各委員が苦難したと反省がある。研修内容としては、都城・北諸県地域のニーズに合ったものと評価する。次年度は、研修内容等をさらに検討を行い、無理のない研修計画をしていきたい。

まちの保健室は、協力員の協力のもと定期開催、イベントへの参加等活動することができた。次年度は、地域のイベントに積極的に参加を行い、看護師のやりがい等を伝えていきたいと考える。

行政等の会議に参加については、医療従事者以外との交流があり、地域における医療・介護の問題点が少し見えてきた。

次年度も地域、施設、行政との連携をとり、都城・北諸県郡の看護の質向上に向け、取り組んでいきたい。

小林・えびの・西諸県地区

地区理事 弓削尚美（個人会員）

委員：野間智夏・野辺卓真・炭床はるな・林一美（園田病院）、北原優子（訪問看護ステーションケアふる）、小川賢二・橋本慎子（内村病院）、武田愛・山口陽子・四元瑞恵・橋爪由美・栗原律子（小林市立病院）、亀澤秀一・有村直子・内村佳代（池井病院）、赤垣美由紀・吉元美千代（押領司病院）、上村勝子・西種子田かよ（前原病院）、山之口和樹・今島淳子・吉松高志（えびの市立病院）、酒匂みどり（楨内視鏡内科）、水増美幸（野尻中央病院）、古川裕恵・梅木千恵・中別府千重（国民健康保険高原病院）、中村みどり（高原町役場）、谷川ひとみ（訪問看護ステーション夢の杜）、海藏章代（小林市立病院訪問看護ステーション）、高野久美子（訪問看護ステーションなでしこ1号館）、岩元ゆかり（介護老人保健施設みずほ）、福迫千香（訪問看護ステーションひかり）

1. 活動目標

- 1) 地区活動を推進し、研修の企画・運営を通じ地域の看護の質向上を目指す。
- 2) 地区活動を通じ、保険・医療・福祉サービスの看護職との連携を図る。
- 3) まちの保健室活動を実施し、地域住民の健康管理に貢献する。

2. 活動内容

- 1) 地区施設代表者会議・運営委員合同会議
- 2) 看護の質の向上のための研修、医療安全推進委員会研修、看護の質向上のための委員会研修の開催
- 3) まちの保健室人員確保や活動について
- 4) 行政主催の会議の参加

3. 活動実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	地区施設代表者会議・運営委員合同会議	理事会・総会報告／令和6年度地区活動について／その他・意見交換	6月18日	24名	小林市立病院
2	小林・えびの・西諸地区在宅・福祉施設で働く看護職のための委員会	地区研修計画／その他意見交換	7月11日	7名	小林市立病院
3	医療安全推進委員会	本年度委員、名簿確認／次年度委員長等確認／医療安全推進委員会活動報告／地区研修会検討	7月24日	10名	内村病院
4	第1回まちの保管室協力員会議	地区代表委員会の報告／まちの保健室活動状況及び今後の活動について／相談員について／その他	7月25日	5名	TENAMUビル
5	看護の質向上のための委員会	研修開催について／その他	7月29日	10名	小林市立病院
6	第2回まちの保管室協力員会議	まちの保健室相談者の現況／まちの保健室活動状況及び今後の活動について	11月28日	6名	TENAMUビル
7	災害時看護支援検討委員会	報告事項／災害支援ナースについて／地区研修内容について	1月24日	7名	園田病院

2) 研修会活動

※参加者数（うち非会員数）

研修名	内容	開催日	参加数*	会場
看護の質向上のための研修	認知症・せん妄患者の看護について 講師：野崎 当氏（古賀総合病院 認知症看護認定看護師）	10月19日	33名 (8名)	小林市立病院
医療安全推進研修	睡眠と医療安全 講師：東郷順一 氏（東洋羽毛販売株式会社 鹿児島営業所）	11月 2日	29名 (16名)	小林看護医療専門学校

在宅・福祉施設で働く看護職のための研修	感染対策について 講義:戸高雅悠 氏(小林市立病院 感染管理認定看護師)	11月 30 日	33名 (15名)	小林市立病院
---------------------	---	----------	--------------	--------

3) 行政等会議の参加

会議名	開催日	会場
西諸地域職域連携推進協議会作業部会	10月 16 日	小林保健所
第81回国民スポーツ大会えびの市準備委員会 第2回総会	10月 11 日	えびの市文化センター
日本のひなた宮崎国スポーツえびの市実行委員会 第1回総会設立総会		
第1回西諸地域医療構想調整会議	11月 6 日	小林保健所
第2回西諸地域医療構想調整会議	2月 10 日	小林保健所

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
京町二日市 健康相談(イベント型まちの保健室)	2月 2 日	3名	JR 京町駅前

4. 実施評価と課題

各施設の代表者や運営委員の協力もあり委員会の研修等も開催できた。

地区施設代表者会議・運営委員合同会議は、1度だけの開催であったが、各委員会委員長との連携は密に取れていたと感じる。感染症もまだ続いている各施設との情報共有は必要である。また、災害支援についても研修や情報共有の在り方について検討が必要ではないかと考える。

2027年開催予定の国スポ・障スポ大会については、実行委員会の発足は現在、えびの市のみだが、今後、小林市・高原町でも発足予定であるため、協力体制が必要になると考えられる。

日南・串間地区

地区理事 山中 ゆかり(愛泉会日南病院)

委員：池永博恵(おび中央病院)、井上香代子(日南学園高等学校)、井上洋子(宮崎県立日南病院)、大塚民子(県南病院)、小川淳子(日南看護専門学校)、倉元幸恵(日南市立中部病院)、後藤由佳(日南保健所)、作本愛(はまぼう訪問看護ステーション)、清水小百合・松田菜緒子(串間市民病院)、瀬戸口麻美(訪問看護ステーション凜)、田中茂子(春光会記念病院)、田中澄子(個人会員)、富松咲枝(谷口病院)、藤崎春美(介護老人保健施設おびの里)

1. 活動目標

- 1) 地区活動を推進し、県南地域の看護の質向上を目指す
- 2) 地区内の看護職の交流を推進する

地区理事・地区内の看護管理者、もしくは代表者で地区運営委員会を構成する運営委員会は以下の委員会が協働し、年間の事業計画を企画し実践していく

- ①医療安全推進委員会
- ②災害看護支援委員会
- ③まちの保健室企画運営委員会

2. 活動内容

- 1) 地区代表者会議・地区運営委員会の開催(年3回)
- 2) 地区研修会の企画・実施
- 3) まちの保健室協力員会議(年2回)研修(1回)
- 4) 行政等の会議への参加

3. 活動実績

1) 委員会活動

委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1 第1回地区代表者・地区運営会議	新委員紹介／第8回理事会報告／まちの保健室活動報告／行政会議参加報告／災害委員会研修案内	5月 16 日	14名	まなびピア
2 第1回まちの保健室協力員会議	代表者委員会報告／まちの保健室解説状況／令和6年度地区研修会／まちの保健室相談日程	6月 5 日	12名	まなびピア
3 医療安全推進委員会	宮崎県看護協会医療安全推進委員会報告／研修日程調整	6月 11 日	10名	まなびピア
4 災害看護支援委員会	令和6年度地区研修会について／次年度地区研修会について	9月 27 日	6名	まなびピア

5	第2回地区代表者・地区運営会議	理事会報告／行政会議参加報告／医療安全推進委員会報告／災害看護支援委員会報告	10月17日	12名	まなびピア
6	第2回まちの保健室協力員会議	地区代表者委員会報告／まちの保健室活動状況／令和7年度地区研修について／まちの保健室相談日程	12月4日	14名	まなびピア
7	第3回地区代表者・地区運営会議	理事会報告／まちの保健室活動報告／災害看護研修報告／次年度の各委員会メンバーの検討・地区理事候補の検討	2月20日	12名	まなびピア

2) 研修会活動

※参加者数（うち非会員数）

研修名	内容	開催日	参加数*	会場
まちの保健室協力員等研修	日南市・串間市の健康課題と対策について 講師：石井満喜子 氏（日南市役所）、田中澄子 氏（まちの保健室協力員）、芋高ゆきな 氏（串間市役所）	7月6日	16名	まなびピア
災害看護支援研修	災害医療の原則と災害時の感染対策 講師：小早川義貴 氏（国立病院機構本部 DMAT 事務局 福島復興支援室）	12月6日	33名（5名）	日南市ふれあい健やかセンター

3) 行政等会議の参加

会議名	開催日	会場
第11回串間市在宅医療介護連携推進協議会	6月11日	串間市総合保健福祉センター
第1回日南串間地域・職域連携推進協議会	6月19日	南郷ハートフルセンター
第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 日南市準備委員会 第2回宿泊衛生専門委員会	7月11日	日南市役所本庁別館
第1回日南市地域包括支援センター運営会議	7月31日	日南市役所 付属棟
第1回日南市地域ケア推進会議	7月31日	日南市役所 付属棟
第1回日南串間地域医療構想調整会議	8月1日	日南保健所 多目的室
第1回健康にちなん21推進会議	8月26日	日南市役所 本館2階
第2回日南串間地域医療構想調整会議	書面協議（9月）	
第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 日南市準備委員会 第2回総会	9月19日	ホテルシーズン日南
日本のひなた宮崎国スポ・障スポ 日南市実行委員会 第1回総会	9月19日	ホテルシーズン日南
日南串間地域・職域連携推進協議会	1月22日	南郷ハートフルセンター
第11回日南市在宅医療・介護連携推進協議会	2月17日	日南市役所本館
第2回 健康にちなん21推進会議	2月20日	日南市役所本館
国スポ・障スポ 第1回宿泊衛生専門委員会	2月27日	日南市役所本庁別館
日南串間地域医療構想調整会議	書面会議（2月）	
第2回日南市地域包括支援センター運営協議会	3月7日	日南市役所 付属棟
第2回日南市地域密着型サービス運営委員会	3月7日	日南市役所 付属棟
日南串間地域・職域連携推進協議会	書面会議（3月）	

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
串間秋まつり（イベント型まちの保健室）	11月3日	4名	道の駅くしま
福祉のまちづくり応援フェスティバル（イベント型まちの保健室）	11月10日	3名	油津商店街

4. 実施評価と課題

今年度は、施設代表者会議に新しい委員を迎えることができ、意見交換する中で地域での顔の見える関係構築に繋がった。しかし、まだ地区内の病院で代表者会議に参加できていない施設があるので、声掛けし更に地域での意見交換に繋げていきたい。

今年度の地区的研修は、災害研修のみとなった。医療安全推進委員会の研修は講師との日程調整ができず次年度持ち越しでの開催を予定している。令和2年からのコロナ禍で集合研修の参加者が減少しており、現在でも受講者の人数確保が難しい状況となっている。参加したいと思える研修を企画していきたい。

令和6年度 日本看護協会理事会及び地区別法人会員会報告

日本看護協会理事会

1. 理事会開催状況

回	日時・会場・出席者等	主な協議事項等
1	開催日時 ・令和6年5月10日（金） ・10：00～16：00 会場 ・JNAホール 出席役員 ・理事 58名 ・監事 4名	I 事業推進に関する事項 1) 「看護みらいラボ（仮称）」基本構想に基づく設置（案）について協議、承認。 2) 2024年度職能委員会委員の選任（案）について協議、承認。 3) 2024年度第1回全国職能委員長会開催（案）について協議、承認。 4) 認定看護師および専門看護師の個人審査の変更（案）について協議、議題を取下げとし、次回以降の理事会で再度協議することを承認。 5) 認定看護管理者の個人審査の見直し（案）について協議、議題を取下げることを承認。 6) 2025年国際看護師協会（ICN）理事選挙への対応（案）について協議、承認。 7) 日本看護協会が行ったウクライナ危機への寄附金に関するICNからの要請への対応（案）について協議、議題を取下げることを承認。 II 管理的事項 1) 令和5年度決算報告書（案）及び監査報告書について協議、承認。 2) 令和5年度資金調達及び設備投資の実績を記載した書類（案）について協議、承認。 3) 令和5年度公益認定財務三基準の計算書及び公益目的取得財産残額（案）について協議、承認。 4) 令和6年度資金収支予算書及び収支予算書の第1次補正（案）について協議、承認。 III 人事関係 1) 人事案件（2件協議、承認）
2	開催日時 ・令和6年6月6日（木） ・18：00～20：00 会場 ・東京ベイ有明ワシントンホテル「アイリス」（東京都） 出席役員 ・理事 60名 ・監事 4名	選挙後の新役員による理事会開催のため、まずは理事会招集の同意について確認し、全員の同意が得られたので、以下の4件について協議、すべて承認。 1) 役職の選定（案）について協議、承認。 2) 会長及び副会長の常勤又は非常勤（案）について協議、承認。 3) 会長代行及び専務理事代行の優先順位（案）について協議、承認。 4) 業務執行理事の業務分担（案）について協議、承認。ただし一部を次回以降の理事会に再提案することも併せて承認。
3	開催日時 ①令和6年7月25日（木） 13：30～18：00 ②令和6年7月26日（金） 10：00～11：20 会場 ・JNAホール 出席役員 ・理事 58名 ・監事 4名	I 基本方針・政策 1) 新たな「看護の将来ビジョン」骨子（案）等について協議、承認。 II 事業推進に関する事項 1) 2024年度地区別職能委員長会開催（案）について協議、承認。 2) 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の個人審査変更（案）について協議、承認。 3) 日本看護協会が行ったウクライナ危機への寄附金に関するICNからの要請への対応（案）について協議、承認。 III 管理的事項 1) 令和6年度資金運用方針（案）について協議、承認。 2) 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の改正（案）について協議、承認。 IV 人事関係 1) 人事案件（1件協議、承認）
4	開催日時 ・令和6年9月20日（金） 9：30～14：45 会場 ・JNAホール 出席役員 ・理事 59名 ・監事 4名	I 基本方針・政策 1) 令和7(2025)年度重点政策（案）について協議、承認。 II 事業推進に関する事項 1) 2025年度「看護の日・看護週間」事業（案）について協議、承認。 2) 日本看護協会における教育研修部門のあり方（案）について協議、承認。 III 管理的事項 1) 日本看護協会の事業継続計画（BCP）の策定（案）について協議、承認。

5	<p>開催日時 ①令和6年11月28日(木) 13:30~18:00 ②令和6年11月29日(金) 9:00~12:45</p> <p>会場 • JNAホール</p> <p>出席役員 • 理事 60名 • 監事 4名</p>	<p>I 基本方針・政策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和7(2025)年度重点政策・重点事業(案)について協議、承認。 2) 新たな「看護の将来ビジョン」原稿(案)②について協議、承認。 <p>II 事業推進に関する事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2024年度第2回全国職能委員長会の開催(案)について協議、承認。 2) 看護みらいラボ(仮称)基本計画(案)について協議、次回の理事会で再協議することを承認。 3) 資格認定3制度の規程改正(案)について協議、承認。 4) 認定看護師の戦略的な養成にむけた教育の見直しの方向性(案)について協議、承認。 5) 看護管理者育成のための教育および研修の体系化(案)について協議、承認。 6) 資格認定3制度 認定業務システムの新システム構築に関する事業変更(案)について協議、承認。 <p>III 管理的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) コンプライアンス規程の改正並びに内部通報規程の廃止及び内部公益通報規程の制定(案)について協議、承認。 2) 2025年度の見込み会員数(案)について協議、承認。 3) 「本会事業継続計画(BCP)案」の策定及び「防災マニュアル」の改訂(案)について協議、承認。 4) 職員再雇用制度の見直し(案)について協議、承認。 5) 令和7年度通常総会の開催概要(案)について協議、承認。 <p>IV 人事関係</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人事案件 (1件協議、承認)
6	<p>開催日時 ①令和7年2月27日(木) 13:00~19:15 ②令和7年2月28日(金) 9:30~12:20</p> <p>会場 • JNAホール</p> <p>出席役員 ①理事 57名 監事 4名 ②理事 58名 監事 4名</p>	<p>I 基本方針・政策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 新たな「看護の将来ビジョン」(案)について協議、承認。 2) 令和7年度重点政策・重点事業(案)について協議、承認。 3) 令和7年度通常総会報告事項(案)の以下の4件について協議、すべて承認。 <ol style="list-style-type: none"> ①令和6年度重点政策・重点事業報告(案) ②令和6年度事業報告(案) ③令和7年度重点政策・重点事業計画(案) ④令和7年度事業計画(案) 4) 令和7年度資金収支予算書(案)及び収支予算書(案)について協議、承認。 5) 令和7年度資金調達及び設備投資の見込み(案)について協議、承認。 <p>II 事業推進に関する事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2025年度全国職能別交流集会開催(案)について協議、承認。 2) 看護みらいラボ事業の実施(案)について協議、承認。 3) 2025年度認定看護師教育機関審査会・認定看護師審査会・専門看護師審査会の構成員(案)について協議、承認。 4) 看護管理研修及び新たな認定看護管理者教育課程(案)について協議、承認。 <p>III 管理的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2025年度名誉会員候補者(案)について協議、承認。 2) 2025年度日本看護協会長表彰候補者(案)について協議、承認。 3) 2025年度委員会の設置(案)について協議、承認。 4) 会計監査人の再任及び報酬額(案)について協議、承認。 5) 「育児・介護休業等に関する規則」の改正(案)について協議、承認。 6) 看護研修学校建替え計画の変更(案)について協議、承認。 <p>IV 人事関係</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人事案件 (4件協議、承認)

地区別法人会員会並びに法人会員連絡会（九州地区）

日 時 令和6年10月31日（木）9：30～18：00、11月1日（金）9：00～12：30

場 所 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

参加者 久保敦子（会長）、永野秀子（常務理事）

主な協議内容等

【地区別法人会員会】

1. 次期「看護の将来ビジョン」について
2. ナースセンターの事業展開について
3. その他

【法人会員連絡会】

《意見交換事項》

1. 災害支援ナースに関すること
 - 1) 災害支援ナースの派遣・登録体制について
 - 2) 新たな災害支援ナース派遣調整等に係る県行政との委託契約の進捗について
 - 3) 災害支援ナースに対する件からの委託状況について
2. ナースセンターに関すること
 - 1) ナースセンターにおける看護補助者の無料職業紹介に係る手続き及び次年度の予算確保、人員体制について
 - 2) ナースセンターの機能強化について
 - 3) ナースセンター運営における人員配置の体制について
3. 看護職の生涯学習の協会間連携に関すること
 - 1) 他県とのオンデマンド研修共催に向けて
 - 2) 看護職の生涯学習に関する看護協会同士の協働について
4. アプリ活用等による会員施設との情報共有ツールに関すること
 - 1) アプリ活用等による研修案内の工夫について
 - 2) 医療機関等とのネットワーク構築について
5. 「まちの保健室」に関すること
 - 1) まちの保健室の役割とボランティアのモチベーションについて
 - 2) 「まちの保健室」の運営等の状況について
6. 協会立訪問看護ステーションに関すること
 - 1) 協会立訪問看護ステーションの今後の在り方について
 - 2) 訪問看護ステーションの人材育成について
7. その他
 - 1) 看護師等養成機関との連携について
 - 2) 学習機会の整備に関する地域の関係者との連携・協働について
 - 3) 看護学生の確保、若年者への看護職のアピール方法について
 - 4) 看護補助者確保について
 - ① 看護補助者の確保のためのアピールはどのようにされているか
 - ② 看護補助者とのタスク・シフト/シェアの状況
 - 5) 重点目標の評価について
 - 6) ナースセンターからのハローワークへのコーディネーターの活動状況について
 - 7) 理事や委員への会議等での会務手当および旅費について
 - 8) 教育委員の研修運営への関わり方
 - 9) 実習指導者講習会 eラーニングのコースレビューの活用方法について
 - 10) 保健師助産師看護師実習指導者講習会の演習の指導者確保について
 - 11) 各県看護協会会館の建替等について
 - 12) 情報公開規程等について
 - 13) 認定看護師教育課程（B課程）の指定研修機関の認定審査に関すること

(報告事項3) 令和7年度重点事業並びに事業計画

2025年を目途に進められてきた地域包括ケアシステムでは、2040年を見据え、地域の医療提供体制全体の構想として、治療や療養の場の更なる地域へのシフトが進められています。

また、平時はもちろん、気候変動による次なる感染症の危機や気象災害などの健康危機時においても看護提供を維持する体制整備が急がれています。

看護職には、あらゆる世代に、あらゆる場で、人々にとって最も身近な医療専門職として、その力を発揮していくことが求められています。その期待に応えられるよう、本会では看護職一人ひとりのキャリアと研鑽を支えると共に、その力を十分に発揮できる働きやすい環境の確保を推進してまいります。

加えて、少子化による労働力の減少に対応するため、「看護職」が職業として選択されるよう若年層へ看護の魅力を発信すると共に、有限の人材（マンパワー）の中で、看護が今後一層の業務の質向上するためにも、DX導入をはじめとする業務の効率化を推進してまいります。

令和7年度は、看護職の「質と量」の課題解決のため、地区のネットワーク強化と看護管理者の能力向上に重きを置き、変化する社会に対応しながら「人々の健康と暮らしを守る」という本協会の使命を遂行できるよう活動してまいります。

重点事業

1. 全世代の健康を支える看護機能の強化
2. 看護専門職としての生涯学習（キャリア継続）の支援
3. 就業継続が可能な看護職の働き方改革の推進
4. 地域における健康危機管理の推進
5. 組織力の維持

策定意図

1. 全世代の健康を支える看護機能の強化

地域で暮らすあらゆる年代の、あらゆる健康状態にある、看護を必要としている人々の暮らしや健康を支えるため、入院・外来医療から在宅医療まで、切れ目のない看護提供体制強化に引き続き取り組みます。地域包括ケアシステムが推奨される中、療養の場の地域への拡大、在宅を含む暮らしの場で療養する人々の看護ニーズの一層の高まりは明らかであり、そのニーズに応え得る医療と生活の両面からの支援が出来るように看護職の育成に取り組みます。

実施内容

- 1) 地域包括ケアを支える看護提供体制の強化
- 2) 看護が必要とされるあらゆる場での人々の健康と暮らしの支援
- 3) 在宅療養を担う看護職の育成
- 4) 訪問看護ステーションの事業継続支援

2. 看護専門職としての生涯学習（キャリア継続）の支援

生涯学習とは、人々の健康に寄与することを目的に、看護職個人が主体となって、看護職としての行動や知識・技術等の能力の開発・維持・向上を図るために行う多様な学習活動です。キャリアは、自身が目指す看護職としての必要な生涯学習を積み重ねていくことで実現されます。そのキャリアを形成し継続していくために、個人の主体性を尊重することを前提として学習意欲を喚起し内発的動機付けが高まるよう多様な学びを提供します。

実施内容

- 1) 生涯学習支援としての教育研修体制の強化
- 2) キャリア継続支援のためのNuPS関連システムの周知・普及

3. 継続就業が可能な看護職の働き方改革の推進

現役世代（担い手）が急減する中で、看護職の確保に向けた「新規養成・復職支援・定着促進」を3本柱にした取組の推進が重要です。看護職が働く場において、既成概念にとらわれることのない持続可能な働き方に向けた勤務環境改善、限られた人材で質の高い看護サービスを提供するための看護業務の効率化、看護職一人ひとりが健康で安全に自分らしく働きながら自己実現していくことが求められています。

そこで、ライフステージに応じた多様な働き方が可能となる体制作りとDX等による看護業務の効率化により、看護職の人材確保・定着・復職支援を推進します。また、キャリア管理支援ツールとして、2025年度からスタートするNuPS（ナップス：自身のキャリア情報を一元的に閲覧・管理できるポータルサイト）の活用を推進するため周知に努めます。

実施内容

- 1) 看護職の確保と活躍推進
- 2) 健康で安全に働く職場環境の実現に向けた取組
- 3) 看護職の人材活用システム(NuPS含む)の活用
- 4) DX等による看護の質向上と効率化の推進
- 5) 未来の看護の担い手の確保、看護学生への県内就業促進の取組

4. 地域における健康危機管理の推進

近年、自然災害による甚大な被害が全国各地で発生しており、本県においても令和6年8月初めに日向灘沖を震源とする震度6弱などの地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が初めて発表されました。台風や豪雨災害による人的被害もあり、自然災害への備えを確実に行うことが重要なっています。加えて、新興感染症等のまん延時にも同様の体制整備を速やかに行う必要があります。

引き続き、日本看護協会や県と連携を図りながら看護管理者ネットワーク、災害支援ナースの派遣を見据えた体制の強化、健康危機管理を推進してまいります。

実施内容

- 1) 有事における機能維持のための相互支援・協力体制の構築
- 2) 災害支援体制の充実・強化
- 3) 災害支援ナースの養成・育成
- 4) 災害等発生時における対応と支援

5. 組織力の維持

日本看護協会の処遇改善に向けた継続的な働きかけにより、国家公務員の俸給規定見直し（2023年4月）や診療報酬における「ベースアップ評価料」（2024年6月）の新設等が実現しました。看護協会は看護職が安心して活躍するために、一人では解決できない課題に取り組んでいます。そのためには、協会活動の基盤となる組織力を維持することが必要です。施設代表者や地区ごとの意見を聴きながら看護協会の担う役割や設立の意義、取り組みの周知に努め、会員の確保や定着に向けて、引き続き入会促進活動に取り組みます。

実施内容

- 1) 看護学生に向けたキャリア支援の充実
- 2) 会員継続の強化
- 3) 未加入施設・未加入者に向けた入会促進
- 4) 入会の特典PR

事業計画

本会は、看護に関する専門教育と研鑽による看護の質の向上を図るとともに、医療の担い手である看護職が安心して働き続けられる環境づくりを推進する。あわせて地域のニーズに応える看護職による訪問看護等の地域医療の充実を図るとともに、疾病予防及び健康増進に関する事業等を通して宮崎県民の健康な生活の実現に寄与することを目的とした公益目的事業を、公益社団法人日本看護協会（以下「日本看護協会」という）と連携し、以下のとおり行う。

●事業計画は、定款第4条の7個の事業に沿って掲載

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する看護の質向上に関する事業
2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
3. 看護に関する調査及び研究並びに看護業務及び看護制度等の改善への提言に関する事業
4. 県民に対する疾病的予防及び健康の保持増進に関する事業
5. 医療安全対策及び災害等危機管理に関する事業
6. 在宅ケアサービス等の実施及び訪問看護の推進支援に関する事業
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

・事業内容の太字ゴシックは新規計画

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する看護の質向上に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
1-1)生涯学習の推進	<p>(1)教育委員会（委員12名 年8回）</p> <p>①教育の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none">・専門職としての活動の基盤となる研修【重1-1】【重2-1】・看護・医療政策に関する研修・人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修【重2-1】・看護管理者を対象とした研修【重2-1】・資格認定教育・看護の質向上のための研修 <p>②研修運営記録・評価表の作成</p> <p>(2)研修一覧作成と広報</p> <p>(3)会員専用ページ「キャリナース」への研修受講履歴の提供によるキャリア構築の支援</p> <p>(4)管理支援ツールとしてのNuPSの周知と活用に向けての支援【重2-2】</p> <p>(5)日本看護学会学術集会への参加 9月12日～14日</p> <p>(6)生涯学習環境の整備・管理</p> <ul style="list-style-type: none">①購入雑誌・図書の検討及び見直し②教材機器の整備・管理③研修管理システム「マナブル」の運営
1-2)新人看護職員育成の推進	<p>(1)新人看護職員研修推進事業（宮崎県委託事業）</p> <p>①新人看護職員研修の計画・実施</p> <ul style="list-style-type: none">・新人看護職員合同研修・新人看護職員研修責任者研修・新人看護職員教育担当者研修・新人看護職員実地指導者研修・新人看護職員の理解に向けて～看護基礎教育の現場と看護現場の連携～・研修の広報・実施・評価 <p>②新人看護職員教育体制づくり支援（アドバイザー派遣）事業</p> <ul style="list-style-type: none">・打合せ会議・フォローアップ研修 <p>③新人看護職員研修推進協議会の開催</p> <p>④新人看護職員研修に関連する学会、研修会への参加</p>

事業項目	事業内容
1-3)認定看護管理者教育の推進	(1)認定看護管理者教育運営委員会（委員8名 年6回） (2)ファーストレベル教育課程 ①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 5月13日～9月12日(108時間) ②認定看護管理者教育課程ファーストレベルフォローアップ研修 6月1日 (3)セカンドレベル教育課程 ①認定看護管理者教育課程セカンドレベル 10月3日～1月23日(183時間) ②認定看護管理者教育課程セカンドレベルフォローアップ研修 7月6日 ③認定看護管理者教育課程セカンドレベル看護管理実践報告会 8月2日 (4)日本看護管理学会学術集会への参加 8月22日、23日 (5)看護管理者研修 9月13日 【重2-1】
1-4)専門・認定看護師活動の支援	(1)専門・認定看護師委員会(委員6名 年4回) (2)専門看護師・認定看護師研修会令和8年1月24日 (3)専門看護師・認定看護師の分野を越えたネットワーク構築 【重2-1】 ・専門・認定看護師が協働して企画する看護職対象研修8回 6月18日、7月2日、8月27日、9月6・7日、10月17日、 11月1日、11月15日、11月26日 (4)県内看護職・県民への情報発信
1-5)看護学会等学術振興の支援	(1)看護研究学会委員会（委員6名 年6回） (2)宮崎県看護研究学会 令和8年3月7日 ①看護研究抄録選考委員会 ②看護研究学会要綱変更内容の周知 【重2-1】 (3)日本看護学会学術集会 9月12日、日本看護科学学会 12月6日、7日への参加
1-6)実習指導者講習会の支援	(1)実習指導者講習会検討委員会 (委員5名 年7回) (2)実習指導者講習会 (宮崎県委託事業) 【重2-1】 ①宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会 ・病院主体コース 5月28日～8月6日 (29日間) ・特定分野コース 5月28日～7月25日 (9日間) ②実習指導者講習会修了者フォローアップ研修 令和8年1月31日 (土)

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益目的事業)

事業項目	事業内容
2-1)働きやすい職場環境づくりの推進 【重3-4】	(1)働き続けられる職場環境づくり推進委員会 (委員8名 年7回) (2)職場環境づくり推進事業 (宮崎県委託事業) ①看護職の働き方改革推進研修会 8月22日 【重3-2】 ②地区施設代表者会議において勤務環境調査結果の報告及び意見交換 ③働き続けられる労働環境づくりを推進する施設の支援 【重3-2】 ④労働安全衛生ガイドラインの活用 【重3-2】 ⑤看護職離職防止支援 (定着支援) ⑥関係団体との連携 宮崎県医師会、宮崎労働局、宮崎県医療勤務環境改善支援センター、宮崎県働き方改革推進支援センター、宮崎県社会保険労務士会、宮崎県福祉保健部等 ⑦働きやすい職場づくりに関する情報発信 (地区開催) ⑧勤務環境等に関する相談の実施

事業項目	事業内容
	<p>(3)看護管理者等支援事業（宮崎県委託事業）【重3-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①看護管理者等支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・対象機関への相談支援の実施 ②看護管理者のネットワーク強化促進（7地区） ③中小規模病院の看護管理者のための能力向上研修 ④看護人材獲得支援事業連絡会議の開催（随時）
2-2)就業支援	<p>(1)ナースバンク事業（宮崎県委託事業）【重3-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①NCCSを活用した職業紹介の円滑化、就業に効果的な情報の提供 ②ナースセンター広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ナースセンターだよりを広報誌「なでしこ」内に掲載（年4回） ・SNS（LINE）による情報発信の強化 ・ナースセンターPRグッズ作成 ・県内看護学校卒業生等へのPRグッズの配布 ③ハローワークにおける就業相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・就業支援相談員会議（年2回） ・ハローワーク宮崎、延岡、高鍋、都城、小林での就業相談 ④求人施設への労働条件の改善に関する情報提供、助言【重3-2】 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な就労受入れ体制・支援の強化 ・求人施設訪問の強化 ⑤求職者への労働環境・労働条件の改善に関する情報提供、助言 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な就労支援の強化 ・施設見学の促進 ⑥県内外看護師等への県内就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師養成学校との連携 <ul style="list-style-type: none"> （学生を対象とした就活支援セミナーの実施）【重5-1】 ・移住相談者への支援 ・県内施設の新年度採用試験情報の提供 ⑦宮崎県ナースセンター事業運営委員会の開催（年1回） ⑧ハローワーク、福祉人材センターとの連携 ⑨ナースセンター・ハローワーク連携事業 ⑩中央ナースセンターとの連携 <p>(2)看護職の届け出制度の窓口（宮崎県委託事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①看護師等の届出制度のPRと就業支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・看護職へのPR活動 ・届出登録者への就業に関する意向の確認と就業支援 <p>(3)看護職の人材活用システム（NuPSを含む）の周知及び活用の推進【重3-3】</p> <p>(4)看護補助者の確保・定着推進事業（日本看護協会委託事業）</p>
2-3)復職支援	<p>(1)復職支援事業（宮崎県委託事業）【重3-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①復職支援研修 <ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習コース6月、9月 分野別看護研修 採血・点滴技術演習 地区別復職支援研修 地区研修の実施（延岡）（都城） 採血技術演習・復職支援研修（ハローワーク） ・就職準備コース <ul style="list-style-type: none"> 就職準備セミナー 7月、1月 ②セカンドキャリア支援 <ul style="list-style-type: none"> ・55歳以上の看護職への現況調査 ③令和7年度受講者に対する就業状況調査・就業支援

事業項目	事業内容
2-4) 「看護の心」普及事業	(1)看護の心普及事業 ①看護の日のイベントの開催 ・「みやざきナース Today2025」 5月10日 (2)看護の魅力発信事業（宮崎県委託事業） ①看護進路相談会 6月29日 ②看護の出前授業 ③ふれあい看護体験 ④看護系進学状況調査 ⑤職業選択に関するイベントへの協力 ⑥進路指導担当教諭への情報提供

3. 看護に関する調査及び研究並びに看護業務及び看護制度等の改善への提言に関する事業 (公益目的事業)

事業項目	事業内容	
3-1) 看護制度に関する事業	(1)看護制度に関する普及啓発事業 ①看護制度委員会（委員6名 年3回） ②特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報提供及び啓発 ③看護基礎教育制度改革に係る情報発信 ④その他看護制度に係る情報発信 (2)准看護師への進学支援及び学習支援事業 ①准看護師研修・交流会 ②看護師養成2年課程（通信制）に関する情報提供 ③日本看護協会との連携	
3-2) 看護業務の改善に関する事項	(1)保健師職能委員会活動 ①保健師職能委員会（委員6名 年9回） ②保健師職能研修会 11月8日 ③保健師の魅力発信イベント 8月2日 ④宮崎県保健師現任教育推進会議（2回）（県、県立看護大学との協働）への参加 ⑤日本公衆衛生看護学会学術集会への参加（石川県） 12月13日、14日 ⑥保健師職能だよりの発行	【重1-1】 【重3-5】 【重5-2】 【重5-3】
	(2)助産師職能委員会活動 ①助産師職能委員会（委員6名 年9回） ②「いいお産の日」イベント 11月8日予定 ③助産師職能研修会 令和8年1月17日 ④日本母性衛生学会への参加（東京都） 10月10、11日 (3)看護師職能委員会I活動（病院領域） ①看護師職能委員会I（委員10名 年9回） ②研修会 ・准看護師研修・交流会 10月25日 ③日本看護学会学術集会への参加（愛知県） 9月12日～14日 (4)看護師職能委員会II活動（介護・福祉関係施設・在宅等領域） ①看護師職能委員会II（委員8名 年9回） ②看護師職能II研修会 9月20日 (5)県や関係団体の各種審議会等での発言・提言 ①関係機関・団体等への働きかけ ②審議会等で本会意見の反映	【重1-2】 【重3-4】 【重1-3】

4. 県民に対する疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
4-1) 地域包括ケアシステムの推進 【重1-1】 【重1-2】	(1)看護職と多職種との交流 (2)地域医療構想調整会議等への参画

事業項目	事業内容
4-2)救急医療に関わる看護職の質向上の推進 【重1-1】【重1-2】	(1)救急看護研修 (2)災害救急看護研修 (3)精神科救急看護研修
4-3)県民の健康づくり推進に関する事業 【重1-2】	(1)まちの保健室事業の普及啓発 ①まちの保健室地区代表者委員会（委員9名 年5回） ②定期型「まちの保健室」（地区開催） 【重1-2】 ③地域支援型・イベント型「まちの保健室」 市町村まつり・イベント等地域活動支援等 ④まちの保健室協力員の養成研修と登録の推進 ⑤地区別協力員会議 (2)生涯を通じた女性の健康支援 ①「いいお産の日」イベントにおける相談啓発 【重1-2】 (3)がん対策支援 ①ピンクリボン活動の普及啓発 ②関係団体との連携 ③研修会の開催 (4)生活習慣病並びに疾病予防対策 ①世界糖尿病デー、肝疾患・腎疾患・リウマチ等関連会議・ イベント等の参加による予防対策の啓発 (5)自殺対策に係る人材育成研修事業（宮崎県委託事業） 【重1-3】 ①看護師等専門研修会（自殺対策研修）7月19日 ②地区別等研修会 ③自殺予防に関する普及啓発 (6)高齢者対策への取組 ①研修会の開催 ②看護職員認知症対応力向上研修（宮崎県委託事業） 【重1-3】
4-4)子育て支援	(1)子育て支援事業 ①児童虐待予防対策への取組 ・宮崎県社会福祉審議会児童福祉専門分科会への参加 ②宮崎県「未来みやざき子育て県民運動推進事業」への協力

5. 医療安全対策及び災害等危機管理に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
5-1)医療安全推進事業	(1)医療安全推進委員会（委員7名 年5回） (2)研修会及び交流会 ①医療安全管理者養成研修（e ラーニング 35 時間、集合研修 5 時間 10月30日） ②医療安全研修会 第1回 9月28日、第2回 12月13日 (3)医療安全対策推進 ①医療安全推進週間の啓発 ②医療安全情報提供 ③医療安全推進の研修（地区開催） ④医療の質安全学会への参加 ⑤看護職賠償責任保険制度加入の促進 (4) 医療安全推進会議等への参加
5-2)災害看護活動の推進	(1)災害看護委員会（委員8名 年6回） (2)災害看護研修 ①災害支援ナース養成・育成事業 【重4-2】【重4-3】 ・災害支援ナース養成研修（災害・感染症対応）：オンラインマ ンド20時間、演習10時間（11月28日、29日） ・災害支援ナース能力維持・向上研修（災害編）9月26日、 (感染症編) 10月10日 ②災害看護研修（地区開催） 【重4-1】【重4-2】 (3)災害発生時に備えての体制・環境整備 ①災害支援ナース派遣調整訓練 【重4-1】【重4-4】

事業項目	事業内容
	<p>・県および協定締結医療機関等との派遣調整訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会等との派遣調整訓練 ②日本看護協会との「災害支援ナース派遣に関する協定」に基づく災害支援ナースの派遣調整 【重4-4】 ③宮崎県との災害・感染症支援ナースの派遣に関する連携による災害支援ナースの派遣支援、宮崎県保健医療福祉調整本部設置の際の支援団体リエゾン派遣 【重4-4】 ④宮崎県、市町村の防災会議・防災訓練等への参加を通じた実動訓練 【重4-1】【重4-4】 ⑤看護管理者ネットワークの構築 【重4-1】【重4-4】 ⑥災害支援ナースリスト管理 【重4-1】【重4-2】【重4-4】 ⑦災害看護関連学会への参加 ・日本災害看護学会 9月6日～7日（東京）
5-3) 感染対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> (1)感染症に関する研修の実施 (2)新興感染症対策に向けた体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ①事業継続計画（BCP）の推進 ②宮崎県感染症対策審議会への参加

6. 在宅ケアサービス等の実施及び訪問看護の推進支援に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
6-1) 在宅・福祉関係施設への支援 【重1-1】【重1-3】【重1-4】	<p>(1)訪問看護推進事業（宮崎県委託事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①訪問看護推進協議会運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県訪問看護推進協議会の開催（委員14名 年1回） ・訪問看護推進検討会（年3回） ・訪問看護実態調査の実施 ・訪問看護啓発活動 ・関係機関との連携 ②訪問看護人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護研修 STEP1 7月～10月（講義3日間、実習3日間） ・訪問看護研修 STEP2 5月～9月（講義5日間、実習1日間） ・訪問看護管理者研修（ベーシックコース） 6月～9月（講義4日間、実習0.5日間） ・訪問看護管理者研修受講者フォローアップ研修 ・訪問看護師養成コアカリキュラム研修 8月（講義・演習2日間・実習1日間） ・在宅ケアに関心のある看護職のための公開講座6回 ・新卒訪問看護師育成研修 ③看護人材連携支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による研修会・相談会 ・医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修 ・訪問看護管理者交流研修 ④訪問看護相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションへの情報提供及び相談窓口の運営 ・訪問看護ステーション運営支援研修 ・県民等への情報提供及び相談窓口の運営 訪問看護パンフレット作成 ・訪問看護ステーションに関する情報発信 <p>(2)在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修（地区開催）</p>
6-2) 看護協会訪問看護ステーション事業所の運営事業	<p>(1)宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ1～3号館の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護事業 ・居宅介護支援事業

事業項目	事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学生・看護職の実習教育 ・関連機関との連携・協力 <p>(2)看護協会訪問看護ステーション運営協議会の開催 (委員 9名 年 4回)</p>

7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業項目	事業内容
7-1)組織に関する事項	<p>(1)本会組織の充実と強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①看護政策推進のための組織強化事業 ②会員の加入増加拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・会員目標数 8,600名 ・未加入施設への入会の勧め 【重 5-3】 ・未加入研修受講者へ入会の勧め 【重 5-3】 ・入会の特典 P R 【重 5-4】 ③看護学生に向けたキャリア支援 【重 5-1】 ④地区活動の推進【重 1-1】【重 1-2】【重 1-3】【重 5-2】 ⑤日本看護協会との連携 ⑥諸会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度通常総会 6月 21 日 ・理事会・常任理事会 年 6 回以上 ・職能・常任・特別委員会 ・選挙管理委員会 ・日本看護協会代議員及び予備代議員研修会 5月 22 日 ・地区理事意見交換会 6月 28 日 ・施設代表者会議（地区ごとに開催） ⑦監査及び審査に関すること ⑧広報活動に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・広報出版委員会（委員 10 名 年 13 回） ・広報誌「なでしこ」の発行（年 4 回） ・ホームページの管理 ・マスメディアを活用した広報 ⑨会員の福利厚生 【重 5-2】 <ul style="list-style-type: none"> ・弔電、死亡見舞金、災害見舞金、傷病見舞金の支給 ・会員特典サービスの提供（レジャー施設優待、レンタカーチケット割引、葬祭場利用料割引等） ⑩各種表彰制度への会員の推薦 ⑪宮崎県看護協会史作成 <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県看護協会史編さん委員会（委員 9 名 年 4 回）
7-2)日本看護協会との相互協力	<p>(1)日本看護協会との連携</p> <p>(2)日本看護協会が開催する会議等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日本看護協会通常総会及び全国職能別交流集会（東京都開催）6月 11 日～12 日 ②理事会 年 6 回程度 ③法人会員会 年 6 回程度 ④全国職能委員長会 ⑤地区別法人会員会（大分県開催）10月 23 日 ⑥地区別職能委員長会（大分県開催）10月 24 日
7-3)渉外に関する事項	<p>(1)重点事業等に関する渉外活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県行政等への要望活動 ②関係機関等との連携強化 【重 1-1】
7-4)施設管理に関する事項	<p>(1)宮崎県看護等研修センターの管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ①整備資金納入活動と管理 ②施設・機器の管理 ③図書室の管理・運営

(報告事項4) 令和7年度収支予算

(別冊)

活動報告資料

令和6年度研修分類別研修実績	73
令和6年度キャリア支援講話報告	76
令和6年度看護職員無料職業紹介事業報告	77
令和6年度復職支援研修受講者就業状況調査報告	78
令和6年度看護系進学状況調査結果	79
令和6年度看護の出前授業実施報告	79
令和6年度看護管理者等支援事業報告	80
令和6年度宮崎県看護職員需給調査結果【概要】	81
令和6年度訪問看護推進事業報告	82
令和6年度宮崎県看護協会訪問看護ステーション報告	84

令和6年度研修分類別研修実績

研修分類1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

研修数：22

1) 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
新人の応援～看護職のスタートライン～	5/30 ・ 5/31	会場	看護協会事業や役割について理解し、看護専門職としての自覚を深めるとともに、精神面のリフレッシュを図り、新人看護職員として個々が抱える問題解決の糸口を見出す	300	276	276	271
学ぼう！スキン-テア（皮膚裂傷）予防	6/19	会場	スキンテアに関する正しい知識と予防ケアを習得し、発生予防や再発予防を図る	280	154	152	136
会議に活かすファシリテーション（基礎編）（応用編）	12/5 ～ 12/6	会場	会議やカンファレンスの参加者の参画意識を向上させ、話し合いを促進させるファシリテーションを学び、看護実践に活かす	50	35	35	30
いまさら聞けない、ポジショニング・トランスファーの基本	10/18	会場	ポジショニングやトランスファーの基本を習得し、ケアの受け手の障害や生活環境に合わせた生活援助技術力を高める	50	55	54	49
スポーツイベントにおける初期救護活動～2027年国スポ・障スポ宮崎大会に向けたメディカルスタッフの育成～	8/25	会場	スポーツ現場における安全対策と救護の基本を学び、地域のスポーツ大会等において実践に活かすことができ、2027年に宮崎県で開催される国スポ・障スポ大会に向けたメディカルスタッフの育成につなげる	50	122	53	47
看護を語ろう「ナラティヴ」～私たちが生き生きと活躍するために～	8/8	会場	自分の看護体験を語ることで看護実践の意味を見出し、看護職として継続していくための意欲や、困難や葛藤を乗り越えるための行動変容につなげる	30	20	20	18
アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を正しく理解しよう	9/11	会場	ACPを正しく理解し、看取りのプロセス及び支援方法を学び、在宅・医療機関での看取りの看護が展開できる能力を養う	50	108	64	57
卒後2～3年目に求められるメンバーシップ	9/18	会場	組織の一員であることを自覚し、それぞれに求められる役割と責任を理解することでメンバーシップの発揮につなげる	100	68	68	58
フレッシャリーダー研修～明日から実践したいリーダーシップ～	9/19	会場	リーダーを担う看護職がリーダーの役割を理解し、看護におけるリーダーシップが発揮できる能力を育成する	100	64	64	58
精神疾患を持つ患者への基本的な看護	11/13	会場 配信	精神疾患の成り立ちや精神症状を学び、精神疾患を持つ患者への理解につなげる	140	96	96	86
ストレスフルな看護職～自分への思いやりを持とう～	10/19	会場	看護職のメンタルヘルスの不調について学び、自分自身を守るためにセルフケアに取り組む	140	45	42	38
医療現場におけるハラスメントへの対策と個人情報の適切な取り扱い	10/26	会場 配信	法的観点から、医療機関におけるハラスメントへの対策や個人情報の取り扱いについて学習し、看護実践の場で活用する	140	59	59	55
看護実践を支える社会人基礎力～前に踏み出す力・考え方・チームで働く力～	11/13	会場	医療機関の看護職や看護学校の教員等が社会人基礎力の意味を知り、自分自身や看護学生の成長のために必要なスキルを習得する	140	59	58	49
せん妄の発症予防と早期改善へのケア	7/8	会場	せん妄ケアについて知識を深め、せん妄の発症予防について学ぶ	40	126	126	112
入退院支援看護師養成研修	8/27 ～ 2/6	会場	退院支援における看護師の役割と支援のあり方を理解し、退院調整能力を養う	30	34	29	25
自殺対策における看護職・支援者の役割とは～目の前の人間に死にたいと打ち明けられたら～	8/10	会場	自殺の現状や対策を理解し、支援者としての役割を考えるとともに自殺対策を実践できる能力を養う	120	101	101	73

2) 診療報酬に関連した研修

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (JNA収録DVD研修) ※認知症ケア加算に対応	10/8 ～10/9 ・ 10/23 ～10/24	会場	国の施策や医療の現状を理解とともに、入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を学ぶ	200	126	126	124
糖尿病重症化予防(フットケア)研修	7/27 ～ 7/28	会場	糖尿病患者のフットケアの意義を理解し、評価方法と技術を身につけ、フットケアを実践する能力を高める	20	14	14	12
看護職員認知症対応力向上研修 ※認知症ケア加算に対応	11/6 ～ 11/8	会場	個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を図る	40	29	29	29

3) 研究に取り組む能力を支援する研修

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
看護研究シリーズ(基礎編) ～看護研究をはじめよう～	5/11 ～ 5/12	会場	研究者及び研究支援者が、看護研究の基礎知識を学習し、研究への意欲と研究に取り組む能力を高める	140	77	77	75
看護研究シリーズ(支援者編) ～支援者の方のための看護研究支援のコツ～	6/30	会場	研究を支援する看護職が研究プロセスにおける支援のポイントを学び、支援者としての役割発揮を図る	30	26	26	24
看護研究シリーズ(個別指導編)	6/8 ・ 8/31	会場	研究の個別指導を受けることで、研究を進めるにあたり生じた課題を解決することができる	36	32	32	31

研修分類2 ラダーと連動した継続教育：「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」(JNAラダー) 研修数：11

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
[JNAラダーレベルI到達のための研修] 新人のための看護倫理～倫理的ジレンマを「個人の悩み」にしないために～	9/3 ・ 9/26	会場	倫理に関する基本概念を理解し、看護専門職として倫理的問題を認識できる	300	210	209	204
[JNAラダーレベルI到達のための研修] 新人のためのフィジカルアセスメント	10/2 ・ 10/16	会場	患者の身体的情報を得るために観察方法とアセスメントの視点を学び、異常の早期発見につなげる	200	170	170	164
[JNAラダーレベルI到達のための研修] 新人のための認知症看護の基礎知識	11/15 ・ 11/22	会場 配信	認知症患者の状態に応じた観察やアセスメントの視点を学び、ケアの受け手の病態について理解を深める	300	218	218	211
[JNAラダーレベルI到達のための研修] リスク感性を高めよう！医療安全の基礎	6/26	会場	安全な看護を実践するために、危険予知トレーニング・事故事例を通してリスク感性を高める	140	118	118	115
[JNAラダーレベルI到達のための研修] 感染管理I 知りたい!!感染対策に必要な基礎知識	6/4	会場	感染対策に必要な基礎知識や実技を習得し、適切な感染予防策の遵守につなげる	140	69	69	63
[JNAラダーレベルII到達のための研修] 感染管理II～感染リスクをアセスメントしよう～	9/6	会場	感染アセスメント能力の向上を図り、医療・介護現場で脅威となる感染症への対策の実践力を高める	50	55	55	52
[JNAラダーレベルII到達のための研修] 怖さを克服！不整脈の理解～見逃してはいけない危険な不整脈～	5/15	会場	危険とされる不整脈を、速く正確に判断するための知識を学び、現場の看護実践に活用する	100	77	75	74
[JNAラダーレベルIII到達のための研修] リーダーナースが学ぶ急変時対応	7/4	会場	急変時の心構えや救急事態への対処方法を学び、リーダーナースとしての看護実践能力を高める	70	75	75	72
[JNAラダーレベルIII到達のための研修] がん看護I がん性疼痛ケア～こころとからだの理解者となるために～	6/21	会場	がん患者が抱える全人的苦痛の理解と痛みの評価・ケアについて学び、看護実践に活かすことができる	70	57	57	49
[JNAラダーレベルIII到達のための研修] がん看護II がん患者におけるアドバンス・ケア・プランニングを考える	10/5	会場	がん患者・家族への支援のあり方についてACPを通して学びを深め、看護実践力の向上を図る	70	45	45	42

新生児のフィジカルアセスメント	1/18	会場	新生児の適応、フィジカルアセスメントに必要な観察ポイントを観察できる	30	16	16	16
-----------------	------	----	------------------------------------	----	----	----	----

研修分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 研修数：4

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
外来看護管理～新しい外来を創造する～	8/3	会場	外来管理に求められるマネジメント力の向上を図り、創造的に改革する能力を養う	50	34	34	25
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2024 年度改訂版	7/18 ・ 9/25 ・ 11/27	会場	看護管理者が看護補助者の活用推進のために必要な知識や考え方を理解し、安全で効率的な業務実施体制整備に活用することができる	120	123	123	112
主任・副師長が学ぶキャリアデザイン～自己のキャリアデザイン形成が人材育成につながる～	10/25	会場	自己のキャリアデザインを明確にし、人材育成の考え方やスタッフを支援するための能力向上を図る	60	32	32	30
正しく理解しよう！『看護関連施設基準等』2024	2/4	会場 配信	看護関連施設基準等について適切な解釈ができ、自施設（自部署）の看護関連施設基準等の見直しにつなげる	140	96	96	90

研修分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

研修数：6

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
新人看護職員「研修責任者」「教育担当者」「実地指導者」研修（1日目）	4/27	会場 配信	新人看護職員「研修責任者」「教育担当者」「実地指導者」が各々の役割を遂行するために必要な知識・能力を習得する	140	155	155	154
新人看護職員「研修責任者」研修（2日目）	6/29	会場	リアリティシックを乗り越えるために、社会人基礎力を意識的に育成していくコツを学び、現場教育につなげる	30	27	27	25
新人看護職員「教育担当者」研修（2日目）	9/7	会場	OJT と Off-JT の教育を連動させるために、自施設の課題解決の糸口を見つける	40	33	33	32
新人看護職員「実地指導者」研修～集まれ！悩めるプリセプター～（2日目）	5/23 ・ 6/6	会場	新人看護職員の職場への適応状況を把握し、新人看護職員への基本的な看護技術の指導及び精神的支援を行うための能力について学ぶ	100	99	99	97
令和7年度新人看護職員の理解に向けて～看護基礎教育の現場と看護現場の連携～	2/22	会場	看護基礎教育の現場と看護現場が連携し、令和6年度入職の新人看護職員を理解し支援できることで、職場適応の促進を図る	70	43	43	37
シミュレーション教育の基礎～シナリオを作成してみよう～	7/11	会場	施設内教育に携わる看護職が、体系化されたシナリオの作成方法を学び、シミュレーション教育の充実を図る	40	17	17	16

研修分類5 資格認定教育

研修数：4

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	5/16 ～ 9/13	会場	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得し、看護管理者の役割と活動を理解し看護管理者の在り方を考察できる	80	67	67	62
認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	10/4 ～ 1/24	会場	看護管理者として基本的責務を遂行するためには必要な知識・技術・態度を習得し、看護管理過程の展開や質管理ができる	30	20	20	20
宮崎県保健師助産師看護師 実習指導者講習会 病院主体コース	6/12 ～ 8/9	会場	実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導を行うために必要な知識、技術を修得し、看護教育の内容の充実向上を図る	40	48	42	41
宮崎県保健師助産師看護師 実習指導者講習会 特定分野コース	7/30 ～ 8/22	会場	実習指導者としての役割を理解し、特定分野の実習における効果的な実習指導を行うために必要な知識、技術を修得し、看護教育の内容の充実向上を図る	20	10	10	10

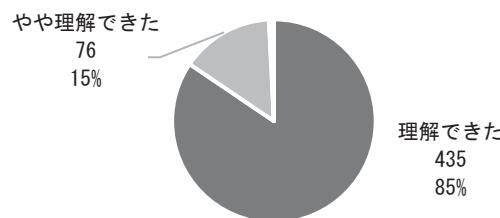
令和6年度キャリア支援講話報告

実施 17 校 (18 回)、参加者 641 名

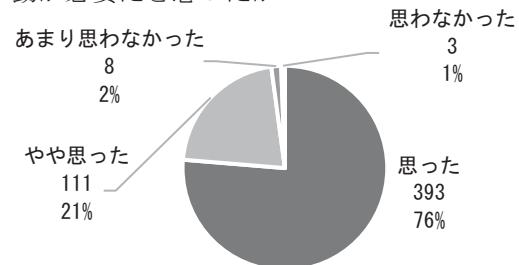
回	実施日	学校名	参加者数 (学年)
1	7月 17日	宮崎大学医学部看護学科	60名 (1年生)
2	11月 7日	宮崎県立看護大学	94名 (4年生)
3	11月 20日	宮崎大学医学部看護学科	14名 (4年生)
4	11月 25日	日南看護専門学校	40名 (3年生)
5	12月 16日	都城看護専門学校医療専門課程	26名 (3年生)
6	1月 7日	延岡看護専門学校医療専門課程	32名 (3年生)
7	1月 21日	九州医療科学大学専門学校	52名 (3年生)
8	2月 12日	都城東高等学校看護科・看護専攻科	17名 (5年生)
9	2月 18日	日南学園高等学校看護科・看護専攻科	19名 (5年生)
10	2月 19日	日南学園高等学校宮崎頸学館田野看護専攻科	43名 (5年生)
11	2月 20日	国立病院機構都城医療センター附属看護学校	32名 (3年生)
12	2月 20日	鵬翔高等学校看護科・看護専攻科	40名 (5年生)
13	2月 21日	聖心ウルスラ学園高等学校看護科・看護専攻科	25名 (5年生)
14	2月 21日	宮崎看護専門学校医療専門課程	32名 (3年生)
15	2月 25日	小林看護医療専門学校	31名 (3年生)
16	2月 26日	宮崎医療福祉専門学校看護学科	37名 (3年生)
17	2月 27日	藤元メディカルシステム付属医療専門学校	27名 (3年生)
18	3月 6日	フィオーレ KOGA 看護専門学校	20名 (3年生)

アンケート結果 回答 515 (対象: 最終学年参加者 581 名 回収率 89%)

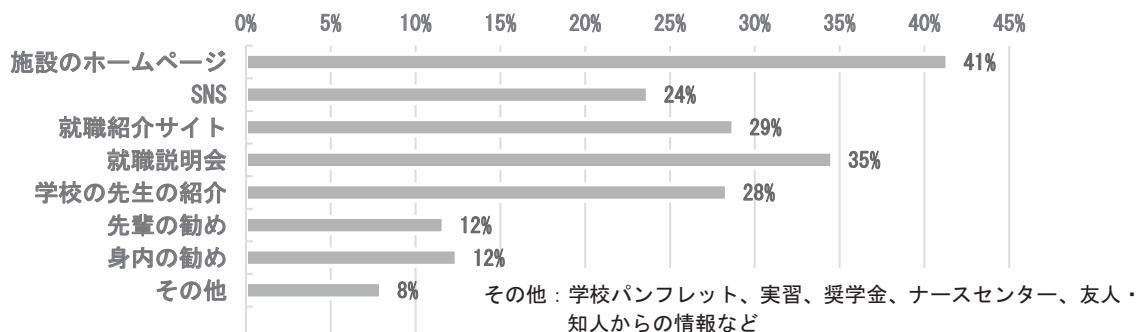
1) 看護協会が看護職の生涯学習を支援していることが理解できたか



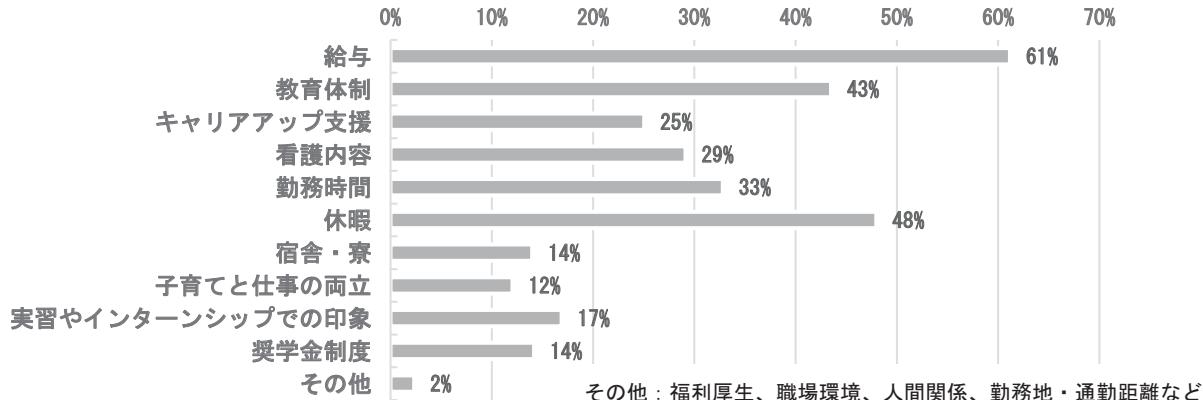
2) 看護職として働くうえで看護協会の活動が必要だと思ったか



3) 就職先についての情報収集の方法 (複数回答) ※% = 回答数／回収数



4) 就職先を選ぶときに重視する項目 (複数回答) ※% = 回答数／回収数



令和6年度看護職員無料職業紹介事業報告

1. ナースバンク事業

1) 求人・求職・就職（ナースセンター就職とハローワーク就職、自己就職も含む）実績 単位：人

資格別	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
求人数	35	31	1,832	185	2,083
求職数	46	8	697	91	842
就職数	13	1	250	26	294

2) 看護職の届出状況 単位：人

届出数（年度数／平成27年10月からの延べ数）

	R6年度
届出数/届出総数	124/2,179

届出者のeナースセンター登録・応募・就職状況（年度数／平成27年10月からの延べ数）単位：人

	R6年度
eナースセンター登録希望者	91/1,706
内、求人施設への応募者	31/565
内、就職者数	28/477

3) 就業相談件数 単位：件

相談者区分		看護職 (求職相談)	施設 (求人相談)	その他 (看護職・ 施設以外)	進路相談 (再掲)	合 計
総数(件)		2,652	1,394	187	3	4,231
件 数 内 訳	来 所	96	31	13	2	140
	電 話	1,866	1,285	159	0	3,309
	メ リ ー	685	69	140	1	768
	郵送・FAX	5	9	0	0	14

2. 看護のシゴト出前就業相談事業

1) 実施場所と地区別相談件数 単位：件

		ハローワーク 宮崎	ハローワーク 延岡	ハローワーク 日向	ハローワーク 高鍋	ハローワーク 都城	ハローワーク 小林	ハローワーク 日南	計
相談回数		2回/ 月	1回/ 月	1回/隔月	1回/隔月	1回/月	1回/ 月	1回/隔月	
相談件数		80	33	7	13	18	10	3	164
対象別	看護職	78	33	7	12	18	8	3	159
	施設	1	0	0	1	0	2	0	4
	その他	1	0	0	0	0	0	0	1

2) 相談と就職状況 単位：人

相談延べ人数	164人 ※内訳：看護職（159）人、施設（4）人、その他（1）
相談者実人数（看護職）	133人
「eナースセンター」登録者	142人
就職者数	61人

令和6年度復職支援研修受講者就業状況調査報告

1. 調査概要：講義演習、地区別復職支援研修、採血・点滴演習等の受講者 69 人のうち未就業・転職希望であった受講者 62 人に対し、メール、電話インタビューを実施した。

2. 調査対象者の背景

表 1 年齢分布 単位：人
【平均年齢 46 歳】(n=62)

年代別	人数 (割合)
20 歳代	4 (7%)
30 歳代	14 (23%)
40 歳代	20 (32%)
50 歳代	20 (32%)
60 歳代	4 (6%)

表 2 未就業者のブランク期間 単位：人
【平均ブランク期間 6.8 年】(n=62)

ブランク期間	人数 (割合)
1 年未満	19 (31%)
1 年以上～5 年満	18 (29%)
5 年以上～10 年未満	7 (11%)
10 年以上～20 年未満	10 (16%)
20 年以上	8 (13%)

表 3 経験年数 単位：人
【平均経験年数 12 年】(n=62)

経験年数	人数 (割合)
1 年未満	4 (6%)
1 年以上～5 年満	11 (18%)
5 年以上～10 年未満	16 (26%)
10 年以上～20 年未満	17 (27%)
20 年以上	14 (23%)

3. 調査結果

表 4 就業状況 令和 7 年 3 月現在の就業状況 (n=62) 単位：人

就業状況	就業 (4 月採用を含む)	未就業		未回答
		就職活動中	未就業	
回答数	34 人 (55%)	25 人 (40%)	12 人	3 人 (5%)

*就職活動していない者は 13 人でその理由は県外に転居 1 人、自分自身の体調不良や家族の事情 12 人だった。

表 5 再就業者の状況 再就業者の就業場所と雇用形態 (n=34)

	病院	診療所	訪問看護 ステーション	施設	その他※3	計
就業者数	12	11	3	6	2	34
常勤※1	3	8	2	3	0	16
非常勤※2	9	3	1	3	2	18

※1 常勤：雇用期間の定めのない職員（非正規雇用や短時間勤務者含む）

※2 非常勤：1ヶ月以上の雇用期間の定めのある職員（嘱託など）

※3 他の就業施設の内訳：包括支援センター、健診企業

令和6年度看護系進学状況調査結果

調査方法 県内の52高等学校に調査票を郵送し回収した。

調査結果 注) 5年一貫看護師養成課程については調査対象から除く

①集計結果 (回収率100%) *□内 県内校進学者数(人) / 県内進学率(%) (人)

卒業生総数 9,119人			総計
ふれあい看護体験者数	335人	体験せずに看護系に進学した生徒数	
看護大学	128	72	200
	県内(県内進学率) 64人(50%)	29人(40.3%)	93人(46.5%)
看護短期大学	1	0	1
看護師学校養成所	保健師看護師統合カリキュラム校 3年課程	0 128	0 204
	県内(県内進学率) 116人(90.6%)	61人(80.3%)	177人(86.8%)
	准看護師学校養成所	1 1人(100%)	8 8人(100%)
計		258 181人(70.2%)	156 98人(62.8%)
県内(県内進学率)		181人(70.2%)	279人(67.4%)

卒業生総数9,119人中、看護系に進学した生徒数は414人で全体の4.5%であった。

ふれあい看護体験者335人中、258人(77%)が看護系に進学しており、そのうち県内校進学者は181人であった。

令和6年度看護の出前授業実施報告

実施回数8回 参加者:生徒932名 教諭他(62名) 合計994名

回	日程	開催場所	学年	生徒数	教諭数他	合計
1	5月17日	宮崎市立加納中学校	2学年	118	5	123
2	5月20日	日向学院中学校	全学年	330	25	355
3	7月3日	宮崎大学教育学部附属中学校	3学年	164	9	173
4	7月19日	日南市立南郷中学校	3学年	70	6	76
5	9月25日	宮崎県立富島高等学校	3学年	10	2	12
6	10月19日	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	1、2学年	55	1	56
7	12月12日	都農町立都農中学校	1学年	82	7	89
8	12月16日	高鍋町立高鍋東中学校	2学年	103	7	110
合計				932	62	994

令和6年度看護管理者等支援事業報告

1. 事業概要

1) 目的

県内の医療機関の看護管理者に対し、看護管理業務及び教育体制作りに関する相談支援等を実施することで、対象施設の看護職員の確保、勤務環境の改善、離職防止等に繋げることができる。

2) 目標

- ①看護管理者等に対する相談体制を強化する。
- ②医療機関訪問により収集した好事例を研修会で紹介する、好事例集として公表することにより情報共有、活用を促進する。
- ③看護管理者間のネットワークを強化することにより看護管理者の支援に繋げる。

2. 事業内容と結果

事業内容		結果
医療機関等に対する支援	医療機関訪問	<p>訪問医療機関数：43 施設</p> <p>①令和4年度訪問医療機関、令和5年度看護人材確保研修会参加医療機関：37 施設</p> <p>②継続支援医療機関：1 施設（3回訪問）</p> <p>③令和6年度新規訪問医療機関（医療政策課選定）：5 施設</p>
	過去に訪問した施設及び研修会参加施設のフォローアップによる訪問後、研修参加後の行動変化調査	<p>①令和4年度訪問医療機関、令和5年度看護人材確保研修会参加医療機関 37 施設の取組状況の確認と分析</p> <p>結果：訪問した 37 施設の課題は、人材確保に関することが一番多く 29 施設、環境・体制が 12 施設、管理・運営が 18 施設であり、アドバイス後に約 5 割の施設が何らかの取り組みを行っていた。</p>
	看護管理業務用の自己点検チェック表作成・活用による相談支援等の実施及びチェック表の普及啓発	<p>①管理を行う上で参考になる資料「看護管理に係る資料・文献一覧」の作成と配付（43 施設）</p> <p>②「中小規模病院の看護管理評価シート（A 票）」、「中小規模病院の看護管理行動評価票（B 票）」（注 1）の説明と配付（43 施設）</p>
	好事例集の作成・活用及び周知	<p>①好事例一覧表と一部詳細な「事例紹介フォーマット」を作成し宮崎県看護協会、医療政策課のホームページに掲載</p> <p>掲載好事例：26 項目（掲載医療機関：22 施設）</p> <p>詳細好事例医療機関：6 施設</p>
	地域ごとのネットワーク強化	<p>①事業部より地区活動について情報収集</p> <p>②7 医療圏の地区理事より現状や課題等について情報収集</p>
	看護管理者研修会の開催	<p>①看護人材確保研修会を 2 地区で開催</p> <p>内容：医療政策課、ナースセンターからの情報提供 医療機関訪問結果報告/交流会</p> <p>結果：延岡地区：令和6年11月8日 16 施設 24 名 宮崎地区：令和6年11月28日 23 施設 36 名</p>
その他		<p>①訪問看護管理者交流会で訪問看護ステーション訪問結果報告（宮崎、都城、日向の 3 会場）</p> <p>②ナースセンター便りに事業の記事掲載</p>
関係機関との連携		事業の説明（訪問結果報告、課題）と意見交換
看護人材獲得支援事業連絡会議		①宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会②宮崎市訪問看護関係課

注1) 中小規模病院看護管理者支援ガイドライン（平成28年度厚生労働行政推進調査事業費補助金「アウトリーチ（訪問）型看護管理能力支援モデルの検証）により作成された評価シート

3. 評価

今年度の目標である①相談体制の強化については、看護管理者が抱える課題に対して支援員がアドバイスを行った。この関わりは看護管理者との顔の見える関係作りにつながり、看護管理者から相談の電話も増えてきた。訪問した 37 施設の課題は、人材確保でありそこには職場環境や体制、管理・運営など複合的な課題もある。支援員のアドバイスによって約 5 割の施設で取り組みを確認できた。②情報共有と活用については、研修会を開催し好事例の共有ができ、情報交換や意見交換を行うことができた。また、好事例集として公開することができた。③看護管理者のネットワークについては、看護協会や地区活動に積極的に参加し、顔の見える関係作りができる看護管理者がいる反面、他の病院の看護管理者との交流がほとんどなく相談できる人がいないと話されている管理者がいた。また、看護管理者は看護管理を学ぶ必要性は感じながらも人員不足で研修参加できない実態も見られた。

次年度は、7 地区理事のネットワークに関する意見等を基に、地域におけるネットワークの構築と看護管理者の管理能力向上の推進に取り組んでいきたい。

令和6年度宮崎県看護職員需給調査結果【概要】

I 調査概要

1. 調査の目的：医療機関等における看護職員の需給状況を把握し、宮崎県内の看護職員の人員確保・定着に必要な施策への反映、事業推進に活用するための基礎資料を得ることを目的とする。
2. 調査方法
 - (1) 対象：宮崎県内【病院・有床診療所・無床診療所・訪問看護ステーション・介護老人保健施設・介護医療院】1,116施設の看護代表者または、施設代表者
 - (2) 方法：インターネットおよび郵送による自記式調査
 - (3) 調査期間：令和6年9月2日～10月4日

II 調査結果※一部を抜粋

表1 施設別回答状況※回答施設数 (n=445) 単位：施設数

施設	対象施設数	回答施設数	回答率 (%)
病院	130	94	72.3%
許可病床数			
500床以上(再掲)	2	2	100.0%
200床～499床(再掲)	26	20	76.9%
100床～199床(再掲)	26	24	92.3%
99床以下(再掲)	76	48	63.2%
有床診療所	122	38	31.1%
無床診療所	616	172	27.9%
訪問看護ステーション	185	113	61.1%
介護老人保健施設	43	21	48.8%
介護医療院	20	7	35.0%
全体	1,116	445	39.9%

調査内容
 ①施設概要
 ②看護職員の状況
 ③看護職員採用のための活動
 ④看護職員の離職状況
 ⑤看護職員確保のための取り組み
 ⑥看護職員の就業定着のための取り組み
 ⑦看護補助者の状況

本調査の詳細は宮崎県看護協会のホームページで公開中



・看護職員採用のための活動

令和5年度の看護職員募集人数1,872人に対して、R5年度応募人数は1,467人で、募集人数を405人下回り、応募率は78.4%であった。R5年度採用人数は1,398人で、募集人数を474人下回り、充足率は74.7%であった（表2）。

全施設における看護職員募集の理由は、「年度途中退職者の補充」が72.0%で最も高く、次が「看護職の業務負担軽減のため（夜勤回数を減らすため・時間外労働縮減のため、など）」で55.5%であった（図1）。

表2 採用に係る応募率と充足率 単位：人

募集人	4月定期採用の募集	採用時期別	全体	
			新卒	新卒以外
募集人	4月定期採用の募集		1,059	
	新卒		535	
	新卒以外		524	
募集人	年度途中の募集		813	
	合計(A)		1,872	
応募人	4月定期採用の応募		781	
	新卒		426	
	新卒以外		355	
応募人	年度途中の応募		686	
	合計(B)		1,467	
採用人	4月定期採用		670	
	新卒		396	
	新卒以外		274	
採用人	年度途中の採用		728	
	合計(C)		1,398	
応募率(B)/(A)			78.4%	
充足率(C)/(A)			74.7%	
			(定期: 63.3%、途中: 89.5%)	

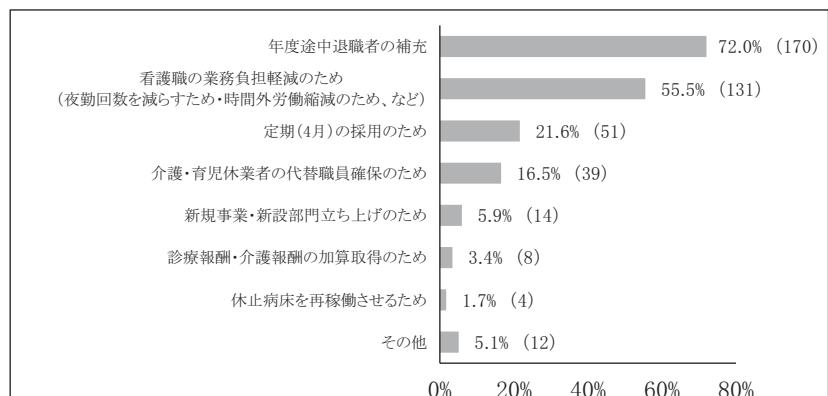


図1 看護職員募集の理由 (複数回答) ※「募集あり」施設 (n=236)

・看護職員の離職状況

看護職員全体の離職率は、10.8%であった（表3）。新卒採用者の離職率は、令和5年度新卒採用者は396人に対して、1年未満の退職者は35人で、離職率8.8%であった。新卒以外の採用者離職率は、令和5年度新卒以外の採用者1,002人に対して、1年未満の退職者は243人で、離職率は、24.3%であった。（表4）。

表3 施設別看護職員離職率

施設	離職率
病院	10.2%
有床診療所	15.2%
無床診療所	9.8%
訪問看護ステーション	17.1%
介護老人保健施設	8.8%
介護医療院	11.4%
全体	10.8%

表4 医療圏別令和5年度採用者の退職と離職率

	新卒採用者の離職率		新卒以外の採用者の離職率			
	新卒採用者数	新卒採用1年未満の退職者	新卒以外の採用者数	新卒以外の採用1年未満の退職者		
延岡西臼杵	45	3	6.7%	104	21	20.2%
日向入郷	19	2	10.5%	44	6	13.6%
宮崎東諸県	204	24	11.8%	492	142	28.9%
西都児湯	24	1	4.2%	76	23	30.3%
日南串間	18	1	5.6%	57	7	12.3%
都城北諸県	71	4	5.6%	144	20	13.9%
西諸	15	0	-	85	24	28.2%
全体	396	35	8.8%	1,002	243	24.3%

令和6年度訪問看護推進事業報告

1. 訪問看護人材育成事業

1) 潜在看護師のための訪問看護講演会 表 1-1

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
「訪問看護師養成コアカリキュラム～訪問看護を体験してみよう～」	8/1 8/27	2日間 会場 1日 実習	訪問看護に対する関心や自己効力感が高まり、就業意欲が喚起される。また、訪問看にに関する不安や課題を解決でき、更なる目標に向けた取り組みにつなげることができる。	20	10	10	10

2) 在宅ケアに関心のある看護職のための訪問看護研修公開講座 表 1-2

研修数：6

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
(1) 訪問看護研修 STEP2	5/16	会場 配信	訪問看護師養成研修のコース受講が困難な訪問看護師等が、公開講座の研修を通じて訪問看護の知識を深めることができ、訪問看護に関する課題解決に向けての取り組みにつなげができる。	30	8	8	8
(2) 訪問看護研修 STEP2	5/25	会場		30	4	4	4
(3) 訪問看護研修 STEP2	6/22	会場 配信		30	22	22	22
(4) 訪問看護管理者研修	9/14	会場 配信		30	7	7	7
(5) 訪問看護管理者研修	9/21	会場 配信		30	4	4	4
(6) 訪問看護研修 STEP 1	11/21	会場 配信		30	15	15	12

3) 新卒訪問看護師育成研修 表 1-3

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
新卒訪問看護師育成研修	4/20～ R7. 2/1	会場	訪問看護師としての基本姿勢、必要な知識・技術を身につけ訪問看護ステーションのメンバーとして活動できる。	/	3	3	3

4) 訪問看護師養成基礎研修 表 1-4

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
訪問看護研修 STEP 1 ～訪問看護基礎研修～	7/9 7/24 11/21	3日間 会場 3日間 実習	訪問看護ステーションに従事している看護師等が、「訪問看護 e ラーニング」で習得した基礎知識に加え、さらに実践に必要な知識・技術・態度を修得する。	30	21	21	20

5) 実践力・高度医療対応力のある訪問看護師の育成 表 1-5

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
訪問看護研修 STEP2 ～専門分野の知識・技術習得のためのステップアップ研修～	5/16 5/25 6/ 1 6/22 8/23	5日間 会場 2日間 実習	専門分野の知識・技術を習得し、高度医療の看護実践に活かす。	16	10	10	10

6) 訪問看護スキルアップ研修 表 1-6

研修数：2

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講決定数	参加数
訪問看護管理者研修 (ベーシックコース)	8/28 9/14 9/21 9/26 10/17	会場	看護管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度と訪問看護ステーションの運営・経営、人材育成を担う能力を修得し、質の高い訪問看護管理ができるとともに、訪問看護事業を発展できる。	20	14	14	14
訪問看護管理者研修受講者 フォローアップ研修	7/27	会場	訪問看護管理者の実践能力を高める	14	9	9	9

2. 訪問看護人材連携事業

1) 訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による派遣・支援研修 表 2-1

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	受講決定数	参加数
訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による研修会・相談会	7/20	会場 配信	訪問看護ステーション看護師が、在宅療法者に必要な看護の知識・技術の習得ができ、在宅療養者に対し、質の高い看護技術を提供できる。	27	27

2) 訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による派遣・支援 表 2-2

事業名	期間	支援対象	支援を受けた事業所数	内容
訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による派遣・支援	令和6年4月～令和7年2月	県内の訪問看護ステーション等	7か所	研修、カンファレンス参加、訪問に同行

3) 医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修会 表 2-3

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	受講決定数	参加数
医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修会	11/2	会場 配信	医療機関に就業する看護師と訪問看護師が互いの役割や地域における在宅療養支援体制を理解し、連携体制の構築ができる。	19	16

4) 訪問看護管理者交流会 表 2-4

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	受講決定数	参加数
訪問看護管理者交流会（日向会場）	6/29	会場	交流会を通して、地域包括ケアシステムの中で多職種と協働して担う役割を認識できる。	26	23
訪問看護管理者交流会（宮崎会場）	8/17	会場 配信	相談会を通して訪問看護ステーションの課題解決の支援ができる。	27	20
訪問看護管理者交流会（都城会場）	9/28	会場		11	9

3. 訪問看護相談支援事業

1) 相談窓口・業務支援 表 3-1

月	相談件数	相談時間(分)	相談区分				相談内容					
			訪問看護ST	医療機関	家族	他	看護業務関係	診療報酬関係	研修関係	新規開設等	訪問看護利用	他
合計	148	2,077	104	10	8	27	5	72	22	18	14	15

2) 訪問看護ステーション運営支援研修 表 3-2

研修名	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	受講決定数	参加数
訪問看護ステーション運営支援研修	7/27	会場	研修で得た知識・技術を訪問看護における暴力・ハラスメント対策の具体的な行動へ繋げることができる。	31	20

4. 訪問看護実態調査 表 4

事業名	調査期間	調査対象	調査内容	回答数
訪問看護実態調査	令和6年6月～7月	県内の訪問看護ステーション189箇所（令和6年6月1日現在数）の管理者	訪問看護ステーションの概要、利用者状況、運営状況、従事者状況、人材確保と定着の取り組み、人材育成状況、ハラスメント対策 等	113箇所 回答率 59.8%

令和6年度宮崎県看護協会訪問看護ステーション報告

1. 活動内容

1) 訪問看護事業

表 1-1 令和6年度のなでしこ館の訪問看護利用者数

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	117	116	122	118	113	116	106	104	109	111	110	106
医療保険	86	79	91	85	90	87	89	94	90	86	93	98
合計	203	195	213	203	203	203	195	198	199	197	203	204

表 1-2 令和6年度のなでしこ館の訪問延べ件数

訪問延件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	603	646	576	623	620	612	615	568	535	533	578	571
医療保険	617	551	658	645	569	507	694	609	633	588	593	662
合計	1,220	1,197	1,234	1,268	1,189	1,119	1,309	1,177	1,168	1,121	1,171	1,233

2) 居宅介護支援事業

表 1-3 令和6年度なでしこ2・3号館の居宅介護支援利用者数

単位/人

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	104	106	112	116	116	108	112	122	121	123	123	124
予防	8	10	12	11	11	13	13	11	9	11	10	12
合計	112	116	124	127	127	121	125	133	130	134	133	136

2. 実習・研修等の受け入れ 表 2-1

人

区分	学校名等	対象	延人数
大学院	宮崎大学医学部看護学研究科修士課程	大学院生	3
大学	宮崎県立看護大学	2年生・3年生	111
	宮崎大学医学部看護学科	看護学生3年	10
	宮崎大学医学部医学科	医学生4年生・5年生	50
専門学校	小林看護医療専門学校	3年生	28
	日南看護専門学校	3年生	48
	宮崎医療福祉専門学校	3年生	72
	穴吹医療大学校看護学科	2年生	8
	フィオーレ KOGA 看護専門学校	看護学生3年生	67
看護職研修	訪問看護研修 STEP1	看護師	12
	訪問看護研修 STEP2	看護師	4
	訪問看護師養成コアカリキュラム	看護師	2
ナースセンター	ふれあい看護体験	高校生	4

3. 地域活動

1) なでしこ 1号館 表 3-1

主催	名称	備考
宮崎県看護協会	小林・えびの・西諸県地区施設代表者・運営委員会	
	訪問看護管理者交流会	講師
西諸地区	西諸地域医療的ケア児支援連絡会議（保健・医師部会）	

2) なでしこ 2号館 表 3-2

主催	名称	役割
宮崎市佐土原町	多職種連絡会	
宮崎県看護協会	訪問看護管理者交流研修企画・運営担当者会	
	訪問看護管理者交流会	講師
宮崎県介護支援専門員協会	介護支援専門員研修（実務・課程Ⅰ・Ⅱ等）	講師
〃	宮崎県介護支援専門員スキルアップ事業作業部会	

3) なでしこ 3号館 表 3-3

主催	名称	役割
宮崎県看護協会	訪問看護ステーションの専門・認定看護師派遣支援事業	講師
	訪問看護管理者交流会	
	みやざきナース Today 2024	
	医療機関と訪問看護ステーションの人材交流支援検討委員会	
	宮崎県訪問看護推進検討会	
	訪問看護研修 STEP2	講師
	訪問看護師養成コアカリキュラム実習報告会・座談会	
	看護の出前授業（宮崎市立加納中学校）	講師
宮崎県教育庁	特別支援学校医療的ケア運営協議会	
日南看護専門学校	在宅看護論 ターミナルケア	講師
宮崎看護専門学校	在宅看護論 在宅がん看護	講師
フィオーレ KOGA	在宅看護論	講師
宮崎県がん診療連携協議会	緩和医療専門部会小委員会	
一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会	令和5年度自立支援型ケアマネジメント推進事業 「在宅医療・介護多職種連携協働に関する研修会」	講師
宮崎大学大学院	がん看護専門看護師養成コース（大学院修士課程） 緩和ケアⅡ	講師
宮崎県医師会	在宅シミュレータ研修（看取り）	講師
田野地区地域包括支援センター	第1回事例検討会 IN 田野	
宮崎キュアケアネットワーク	2025年在宅を支える多職種交流会（腹膜透析）	企画
宮崎県介護支援専門員協会	介護支援専門員研修	講師・ファシリテーター
地域包括推進センター	宮崎東諸県医療介護連携推進協議会ワーキング部会	

資 料

定款	89
定款細則	95
会館整備資金取扱規程	99
組織図	100
令和 6 年度役員・委員名簿	101
令和 7 年度日本看護協会代議員及び予備代議員名簿	103
令和 6 年度・7 年度 表彰者名簿	104
令和 6 年度 各種事業に伴う委員会	105
令和 6 年度 関係機関等への委員等の参画	106
令和 6 年度関係団体の後援	108
令和 7 年度入会施設一覧・名誉会員・個人会員	109
年次別入会者数	118
県内就業者数と入会状況	119
全国看護協会会員数と入会率	120
日本看護協会歌	121

公益社団法人宮崎県看護協会定款

目次

- 第1章 総則(第1条～第2条)
- 第2章 目的及び事業(第3条～第4条)
- 第3章 会員(第5条～第11条)
- 第4章 総会(第12条～第21条)
- 第5章 役員等(第22条～第32条)
- 第6章 理事会(第33条～第41条)
- 第7章 委員会(第42条～第43条)
- 第8章 事務局(第44条)
- 第9章 地区(第45条)
- 第10章 事業所(第46条)
- 第11章 資産及び会計(第47条～第53条)
- 第12章 定款の変更、合併及び解散等(第54条～第58条)
- 第13章 公告(第59条)
- 第14章 補則(第60条)
- 附則

- (4) 県民に対する疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業
- (5) 医療安全対策及び災害等危機管理に関する事業
- (6) 在宅ケアサービス等の実施及び訪問看護の推進支援に関する事業
- (7) その他本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 会員

(種別)

第5条 本会の会員は、次の2種とする。

- (1) 正会員 宮崎県内に勤務し、又は在住する看護職であって、本会の目的に賛同して入会したもの。
 - (2) 名誉会員 看護事業に顕著な功績のあった看護職で、理事会が推薦し、本人の承諾を得て日本看護協会総会において承認されたもの。
- 2 前項の正会員をもって、一般社団法人及び一般財團法人に関する法律(以下「法人法」という。)に規定する社員とする。

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人(以下「本会」という。)は、公益社団法人宮崎県看護協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を宮崎県宮崎市に置く。
2 本会は、理事会の決議によって従たる事務所を必要な地に置くことができる。これを変更又は廃止する場合も同様とする。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本会は、公益社団法人日本看護協会(以下「日本看護協会」という。)との連携のもと、保健師、助産師、看護師及び准看護師(以下「看護職」という。)が、看護に関する専門教育と研鑽による看護の質の向上を図るとともに、医療の担い手である看護職が安心して働き続けられる環境づくりを推進し、あわせて地域のニーズに応える看護職による訪問看護等の地域医療の充実を図ることにより、宮崎県民の健康な生活の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、宮崎県内において次の事業を行う。

- (1) 看護教育及び学会等学術振興に関する看護の質向上に関する事業
- (2) 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- (3) 看護に関する調査及び研究並びに看護業務及び看護制度等の改善への提言に関する事業

(入会)

第6条 正会員として入会しようとする者は、定款細則の入会手続きにより申し込むものとする。

2 本会の正会員は、本会を通じて日本看護協会に正会員としての加入の手続きをとるものとする。

(会費)

第7条 正会員は、本会の事業活動に必要な経費に充てるため、定款細則に定める会費を納入しなければならない。

(退会)

第8条 正会員は、定款細則に定める退会の届け出により、任意に退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次の各号の一に該当する場合は、総会においてすべての正会員の3分の2以上の決議により、当該会員を除名することができる。

- (1) 本会の定款又は細則に違反したとき。
 - (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
 - (3) その他正当な事由があるとき。
- 2 除名の決議を行う場合、その会員に対し、総会の1週間前までに理由を付してその旨を通知し、総会において決議の前に弁明の機会を与えるなければならない。
- 3 除名が決議されたときは、会長はその会員に対して除名した理由を明らかにし、ただちにその旨を通知しなければならない。

(会員の資格喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 看護職の資格を喪失したとき。
- (2) 死亡し、若しくは失踪宣告を受けたとき。

- (3) 正当な理由無く 3か月以上会費を滞納したとき。
- (4) すべての正会員の同意があったとき。
- (5) その他会員資格に該当しなくなったとき。

(会員資格喪失に伴う権利及び義務)

- 第11条 会員が第9条から前条までの規定によりその資格を喪失したときは、本会に対する権利を失い、義務を免れる。
- 2 本会は、会員がその資格を喪失しても、既納の会費及びその他の拠出金品は、返還しない。

第4章 総会

(構成及び議決権)

- 第12条 総会は、すべての正会員をもって構成する。
- 2 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。
- 3 総会をもって、法人法上の社員総会とする。

(権限)

- 第13条 総会は、次に掲げる事項を決議する。
- (1) 定款の変更に関する事項
 - (2) 理事及び監事の選任又は解任
 - (3) 会費の額
 - (4) 理事及び監事の報酬等の額
 - (5) 会員の除名
 - (6) 本会の解散、残余財産の処分及び公益目的取得財産残額の贈与
 - (7) 理事会において総会に付議した事項
 - (8) 合併、事業の全部若しくは一部の譲渡
 - (9) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
 - (10) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(種類及び開催)

- 第14条 本会の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。
- 2 通常総会は、毎年1回、毎事業年度終了後3か月以内に開催する。
- 3 臨時総会は、理事会の決議を経て、会長が招集する。ただし、すべての正会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員から、会議の目的たる事項及び招集の理由を記載した書面により、招集の請求があったときは、会長は、当該請求があった日から6週間以内の日を開催日として臨時総会を招集しなければならない。

(招集)

- 第15条 総会は、理事会の決議を経て、会長が招集する。
- 2 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を開催30日前までに本会の機関誌によって公表し会員に通知する方法、又は書面（電磁的方法を含む。）によつて会員に通知しなければならない。この機関誌、又は書面（電磁的方法を含む。）は登録された住所又は勤務場所に送付することにより、すべての会員に送付しなければならない。

ただし、総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法により、議決権を行使することができることとするときは、法令に定める参考書類及び議決権行使書面を添えて2週間前までに通知を発しなければならない。

(議長)

- 第16条 総会に議長団を置く。
- 2 議長団は3名とし、総会において、その都度出席した正会員の中から選任する。
- 3 議長は、議長団がこれを定める。

(定足数)

- 第17条 総会は、すべての正会員の過半数の出席をもって成立する。

(決議)

- 第18条 総会の決議は、この定款に別段の定めがある場合を除き、すべての正会員の過半数が出席し、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 2 前項前段の場合において、議長は正会員として決議に加わることはできない。ただし、出席者数からは除かない。
- 3 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる事項は、すべての正会員の3分の2以上の決議により行わなければならない。
- (1) 定款の変更
 - (2) 監事の解任
 - (3) 会員の除名
 - (4) 本会の解散
 - (5) その他法令で定められた事項

(書面による表決等)

- 第19条 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。この場合において書面で表決した者又は表決を委任した者は総会に出席したものとみなす。

(議事録)

- 第20条 総会の議事については、法令で定めるところにより、書面又は電磁的記録をもって作成し、総会の日から10年間主たる事務所に備え置かねばならない。
- 2 前項の議事録には議長及びその総会において選任された議事録署名人2名以上が、署名又は記名押印しなければならない。

(総会運営規則)

- 第21条 総会の運営に関し、必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、総会の決議により別に定める総会運営規則による。

第5章 役員等

(役員の設置)

第22条 本会に、次の役員を置く。

(1) 理事 16名以上21名以内

(2) 監事 3名

2 理事のうち、1名を会長、2名を副会長、3名以内を常務理事とし、職能理事（保健師職能理事、助産師職能理事、看護師職能理事）を4名、地区理事を10名以内、准看護師理事を1名置く。

3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、常務理事をもって法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事（以下「業務執行理事」という。）とする。

(役員の選任)

第23条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。ただし、前条第1項第2号に掲げる監事3名のうち1名については、会員以外の者とする。

2 理事会は、会長、副会長及び常務理事を選定及び解職する。

3 前項において、理事会は、総会の決議により選出された会長候補者及び副会長候補者から会長及び副会長を選定することができる。

4 理事会は、会長が推薦する常務理事候補者の中から常務理事を選定することができる。

(役員の欠格事由)

第24条 次に掲げる者は、本会の役員となることができない。

(1) 法人法第65条第1項各号に掲げられた者

(2) 法人法第65条第1項第3号に該当する罪刑又は第4号に該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者

(3) 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）第6条第1号に該当する者

(4) 認定法第6条第1号ロに該当する罪刑又はハに該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者

(役員の資格喪失)

第25条 前条に該当するに至った者は、該当時点で本会の役員の資格を喪失する。

(役員の親族等割合の制限)

第26条 本会の理事のうちには、理事のいずれか1名及びその親族その他特殊の関係にある者の合計数が、理事の総数（現在数）の3分の1を超えて含まれてはならない。

2 他の同一の団体（認定法第5条第11号の委任を受けて公益法人に準ずるものとして政令で定められるものを除く。）の理事又は職員である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある者として認定法施行令第5条で定められる者である理事の合計数が、理事の総数（現在数）の3分の1を超えて含まれてはならない。監事についても同様とする。

3 本会の監事には、本会の理事（親族その他特殊の関係があ

る者を含む。）及び本会の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があつてはならない。

(理事の職務及び権限)

第27条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、その職務を執行する。

2 会長は、本会を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐する。

4 常務理事は、理事会において別に定めるところにより、本会の業務を分担執行する。

5 会長及び業務執行理事は、3か月に1回以上自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第28条 監事は、次に掲げる職務を行う。

(1) 理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成すること

(2) 本会の業務及び財産の状況を監査すること。

(3) 総会及び理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べること。

(4) 理事が、不正の行為をし、若しくは不正の行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実関係若しくは不当な事実関係があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告すること。

(5) 前号の報告をするため必要があるときは、会長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求があった日から5日以内に、理事会を開催する旨の招集通知（その請求があつた日から2週間以内の日を開催日とするものに限る。）が発せられない場合は、直接理事会を招集すること。

(6) 理事が、総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事実があると認めるときは、その調査の結果を総会に報告すること。

(7) 理事が、本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はその行為をするおそれがある場合において、その行為によって本会に著しい損害が生じるおそれがあるときは、その理事に対し、その行為をやめることを請求すること。

(8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること。

(役員の任期)

第29条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、理事は、会長、副会長、常務理事及びその他の理事として同一の役職に引き続き就任するときは、選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えて就任することができない。

3 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

4 前項の規定にかかわらず、監事は、同一職に引き続き就任す

るときは、選任後8年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えて就任することができない。

5 棟欠として選任された理事又は監事の任期は、前任の任期の満了する時までとする。

6 増員により選任された理事の任期は、他の現任者の任期の満了する時までとする。

7 第22条第1項で定めた役員の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した役員は、新たに選任された役員が就任するまで、なお役員としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第30条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総会においてすべての正会員の3分の2以上の決議により、行わなければならない。

(役員の報酬等)

第31条 役員に対して、その職務執行の対価として、総会において定める総額の範囲内で、報酬を支給することができる。

2 役員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

3 前2項に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員等の報酬及び費用に関する規則による。ただし、監事の報酬については監事の協議による。

(役員の責任及び免除)

第32条 理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負い、法人法第112条の規定により、この責任は、すべての正会員の同意がなければ免除することができない。

2 前項の規定にかかわらず、当該理事又は監事が善意で重大な過失がない場合には、本会は、同法第114条第1項の規定により、任務を怠った事による理事又は監事（理事又は監事であった者を含む。）の損害賠償責任を法令の限度において理事会の決議によって免除することができる。

第6章 理事会

(設置)

第33条 本会に理事会を設置する。

2 理事会は、すべての理事をもって組織する。

(権限)

第34条 理事会は、法令及びこの定款に定めるもののほか、次に掲げる職務を行う。

（1）本会の業務執行の決定

（2）理事の職務執行の監督

（3）会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

2 理事会は、次に掲げる事項その他重要な業務執行の決定を理事に委任することができない。

（1）重要な財産の処分及び譲り受け

（2）多額の借財

（3）重要な職員の選任及び解任

（4）従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止

（5）本会の業務の適正を確保するために必要なものとして法令で定める体制の整備

（6）第32条第2項に規定する責任の免除

(種類及び開催)

第35条 理事会は、定例理事会及び臨時理事会の2種とする。

2 定例理事会は、年6回以上開催する。

3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

（1）会長が必要と認めたとき。

（2）会長以外の理事から会議の目的を記載した書面をもって、会長に招集の請求があったとき。

（3）前号の請求があった日から5日以内に、その請求があつた日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合に、その理事が招集したとき。

（4）第28条第5号の規定により、監事から会長に招集の請求があつたとき、又は監事が招集したとき。

(招集)

第36条 理事会は、この定款に別段の定めがある場合を除き、会長が招集し、議長となる。ただし、会長に事故あるときは、あらかじめ理事会において定めた順序による理事が招集し、議長となる。

2 理事会を招集する者は、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面又は電磁的方法をもって、理事会の開催日の1週間前までに各理事及び各監事に対してその通知を発しなければならない。

3 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく理事会を開催することができる。

(定足数)

第37条 理事会は、議決に加わることができる理事の過半数の出席をもって成立する。

(決議)

第38条 理事会の決議は、この定款に別段の定めがある場合を除き、議事に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。

2 理事会の議事について、特別の利害関係を有する理事は、その議決に加わることができない。

3 第1項前段の場合において、議長は、理事として決議に加わることができない。ただし、出席数からは除かない。

(決議の省略)

第39条 理事が理事会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案について、議事に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をし

たときは、その提案を可決する旨の決議があつたものとみなす。
ただし、監事が異議を述べたときは、この限りではない。

(議事録)

第40条 理事会の議事については、法令で定めるところにより
議事録を作成し、出席した会長及び監事が署名又は記名押印し
なければならない。
2 前項の議事録は、理事会の日から10年間、主たる事務所に
備え置かなければならない。

(理事会運営規則)

第41条 理事会運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款
に定めるもののほか、理事会の決議により別に定める理事会
運営規則による。

第7章 委員会

(職能委員会)

第42条 本会に次の職能委員会を置く。
(1) 保健師職能委員会
(2) 助産師職能委員会
(3) 看護師職能委員会
2 各職能委員会は、それぞれ、職能上の問題を審議し、会長に
助言する。
3 各職能委員会の委員長は、保健師、助産師、看護師職能の理
事をもって充てる。
4 各職能委員会の委員は、理事会において選任する。
5 各職能委員会の構成及び運営に必要な事項は、理事会の決議
により別に定める。

(職能委員会以外の委員会)

第43条 前条に定める委員会のほか、本会の事業を推進するた
め必要があるときは、理事会はその決議により、委員会を設置
することができる。
2 委員会は、総会、理事会その他の法定機関の権限を冒さない
ものとする。
3 委員会の委員は、理事会において選任する。
4 委員会の任務、構成及び運営に必要な事項は、理事会の
決議により別に定める。

第8章 事務局

(事務局)

第44条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。
2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
3 事務局長及び重要な職員は、理事会の決議を経て、会長が任
免する。
4 事務局の組織及び運営に必要な事項は、理事会の決議を
経て、会長が別に定める。

第9章 地区

(地区)

第45条 この法人の業務運営を円滑に図るため地区を定める。
2 所管範囲は定款細則に定める。
3 地区の運営に關し、必要な事項は理事会の決議により別に
定める。

第10章 事業所

(事業所)

第46条 第4条第6号に規定する事業を実施するため、理事会
の決議を経て、訪問看護事業及び訪問介護事業を行う事業所
(以下「訪問看護ステーション」という。) 並びに居宅介護支
援事業を行う事業所(以下「居宅介護支援事業所」という。)
を設置することができる。
2 前項の訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所の組
織その他必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第11章 資産及び会計

(事業年度)

第47条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月
31日に終わる。

(会計の原則)

第48条 本会の会計は、一般に公正妥当と認められる公益法人
の会計の基準及びその他の会計の慣行に従うものとする。

(資産の管理)

第49条 本会の資産は会長が管理し、その方法は理事会の決議
により別に定める。

(事業計画及び収支予算)

第50条 本会の事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の
見込みを記載した書類(以下「予算書等」という。)については、
毎事業年度の開始の前日までに、会長が作成し、理事会の決議
により決定するものとする。これを変更する場合も同様とする。
2 予算書等については、通常総会に報告するものとする。
3 予算書等については、主たる事務所に当該事業年度が終了す
るまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
4 予算書等については、毎事業年度の開始の日の前日までに宮
崎県知事に提出しなければならない。

(事業報告及び決算)

第51条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了
後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けたうえで、理
事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

- (4) 正味財産増減計算書
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
- (6) 財産目録
- (7) 資金調達及び設備投資の実績を記載した書類
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については通常総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類は、主たる事務所に5年間備え置き、一般的閲覧に供するとともに、定款、正会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般的閲覧に供するものとする。
 - (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 理事及び監事の報酬等の基準を示した書類
 - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類
- 4 第1項各号（第7号を除く。）及び前項各号の書類並びに正会員名簿は、当該事業年度経過後、3か月以内に宮崎県知事に提出しなければならない。
- 5 貸借対照表は、通常総会終結後遅滞なく公告するものとする。

（公益目的取得財産残額の算定）

第52条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人等の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号に定める書類に記載する。

（会計の規則等）

第53条 会計に関して必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第12章 定款の変更、合併及び解散等

（定款の変更）

第54条 この定款は、総会においてすべての正会員の3分の2以上の決議により、変更することができる。

2 認定法第11条第1項各号に掲げる事項に係る定款の変更（軽微なものを除く。）をしようとするときは、その事項の変更につき、宮崎県知事の認定を受けなければならない。

3 前項以外の変更を行った場合は、遅滞なく宮崎県知事に届け出なければならない。

（合併等）

第55条 本会は、総会においてすべての正会員の3分の2以上の決議により、他の法人法上の法人との合併又は事業の全部譲渡を行うことができる。

（解散）

第56条 本会は、総会においてすべての正会員の3分の2以上の決議、その他法令で定められた事由により、解散する。

（公益目的取得財産残額の贈与）

第57条 本会が公益認定の取消しの処を受けた場合又は合併により消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）において、認定法第30条第2項に規定する公益目的取得財産残額があるときは、これに相当する額の財産を当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1か月以内に、総会の決議により、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

（残余財産の帰属）

第58条 本会が解散等により清算するときに有する残余財産は、総会の決議により、国若しくは地方公共団体又は認定法第5条第17号に掲げる法人であって租税特別措置法第40条第1項に規定する公益法人等に該当する法人に贈与するものとする。

第13章 公告

（公告方法）

第59条 本会の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行うものとする。

第14章 補 則

（委任）

第60条 この定款に定めるもののほか、本会の運営に必要な定款細則は、理事会の決議により別に定める。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（以下「整備法」という。）第106条第1項に定める公益法人の設立の登記を行った日から施行する。
- 2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益社団法人の設立の登記を行ったときは、第47条の定めにかかるわらず、解散登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。なお、この場合において、第50条第1項の定めにかかるわらず、後段の事業年度の予算等については、認定法第21条第1項かつて書きの定めを適用する。
- 3 この法人の設立登記の日に就任する理事及び監事は、別紙役員名簿記載のとおりとする。
- 4 この法人の最初の会長は、境孝子とする。
- 5 この法人の最初の副会長は、瀬口チホ、田上文恵とする。
- 6 この法人の最初の常務理事は、林チエ子、松浦康代とする。

公益社団法人宮崎県看護協会定款細則

目次

- 第1章 総 則 (第1条)
- 第2章 会 員 (第2条～第5条)
- 第3章 役 員 (第6条～第8条)
- 第4章 選 举 (第9条～第16条)
- 第5章 日本看護協会代議員及び予備代議員 (第17条～第18条)
- 第6章 総 会 (第19条～第20条)
- 第7章 理事会 (第21条)
- 第8章 常任理事会 (第22条～第24条)
- 第9章 職能委員会 (第25条～第29条)
- 第10章 委員会 (第30条～40条)
- 第11章 推薦委員会 (第41条)
- 第12章 事務局 (第42条～43条)
- 第13章 補 則 (第44条)

第1章 総 則

(定款細則の目的)

第1条 この定款細則は、公益社団法人宮崎県看護協会（以下「本会」という。）定款第60条の規定に基づき、本会の運営に必要な事項を定める。

第2章 会 員

(入会の手続き)

第2条 正会員になろうとする者は、本会の指定する手続きにより、入会の申し込みをしなければならない。
2 前項の場合において、本会は入会の申込み及び会費の納入を受けたときは、正会員名簿に登録し日本看護協会と連携して会員証を交付しなければならない。この手続きは、入会の申込み及び会費の納入を受けた日の翌日から起算して30日以内に行わなければならない。

(会費)

第3条 正会員の会費は、日本看護協会の会費を含む1か年
13,500円とし、そのうち8,500円を本会の会費とする。ただし、名誉会員及び他都道府県の看護協会から異動した会員の当該年度の会費は免除する。
2 会費は、本会の指定する日までに翌年度分を前納しなければならない。ただし、新入会員については会費納入期日はこの限りでない。
3 定款第10条第3号の規定により、会員資格を喪失した場合は、会費を徴収しないものとする。
4 いったん納入した会費は、原則として返還しない。

(退会の手続き)

第4条 会員が退会しようとするときは、会員証を添えて、退会届を本会会長に提出しなければならない。
2 本会は、定款第8条から第10条までの規定により会員資格を喪失した会員について、正会員名簿の登録を抹消しなければ

ならない。

(届出内容の変更)

第5条 会員が氏名、住所又は勤務地等を変更したときは、本会会長に届け出なければならない。

第3章 役 員

(理事の種別)

第6条 理事の種類は、会長、副会長、常務理事のほか、次のとおりである。

- (1) 職能理事（保健師、助産師、看護師） 4名
- (2) 地区理事 10名以内
- (3) 准看護師理事 1名
- (4) 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第15号に規定する外部理事（以下「外部理事」という。） 1名

2 前項の規定にかかわらず、定款第22条第1項第1号に定める範囲内において理事を置くことができる。

3 職能理事は職能委員長となる。

(役員の職務)

第7条 会長は、この法人を代表し業務を統括し、渉外に関して会を代表してその任にあたると共に、日本看護協会法人会員の代表者としての職務を行う。また、理事会の議を経てすべての委員を任命する。（ただし、推薦委員を除く。）

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはあらかじめ定められた順位により、その職務を代行する。

3 常務理事は、会長の旨を受けて担当業務を執行し、副会長に事故あるときはあらかじめ定められた順位によりその職務を代行する。

担当の委員会に出席し任務遂行上の助言を行い、常任理事会および理事会に委員会の活動状況を報告する。

4 職能理事は、担当職能委員会を掌握し、委員会活動の円滑な運営をはかる。理事会に出席し専門的な立場から会全般の発展に寄与すると共に、職能委員会の活動を報告する。また、日本看護協会の各職能委員長会に出席するものとする。

5 地区理事は担当地区の委員を掌握し、地区並びに本会事業の推進をはかり、本会との連携を密にする。会員の質の向上をはかり、地域住民の保健衛生の普及及び福祉に寄与する。

6 准看護師理事は、看護師職能委員会に属し、その立場から会全般の発展に寄与する。また、日本看護協会の全国准看護師代表者会議に出席するものとする。

7 外部理事は、独立した視点からの助言や提案により理事会運営の活性化に寄与し、法人の長期的な成長を支援する。

(役員の推薦等)

第8条 推薦委員会の推薦については、次の各号により推薦するものとする。

- (1) 会長、副会長、常務理事及び監事

- (2) 職能理事（保健師、助産師から各 1 名、看護師から 2 名）
- (3) 地区理事（地区毎に各 1 名）
- (4) 准看護師理事 1 名
- (5) 外部理事 1 名
- (6) 日本看護協会の代議員及び予備代議員 日本看護協会の指定した数

2 前項にいう地区とは、定款第 45 条第 2 項に定める別表の 7 地区をいう。（別表 1 参照）

第 4 章 選 挙

（役員及び推薦委員の選出）

- 第 9 条 本会の役員及び定款第 43 条により設置された委員会のうち推薦委員会委員の候補者は、推薦委員会が正会員（会員以外から選任する監事及び外部理事の場合は、会員以外の者）の中から推薦し、理事会の議を経て、総会において出席した正会員が選出する。
- 2 推薦委員が前項の候補者を正会員の中から推薦する場合は、本会正会員の勤務施設職能等を基礎として、客観的に公正厳正、効率的に配慮しなければならない。
- 3 推荐委員会は、同一役職について改選数以上の候補者を推薦しなければならない。
- 4 推荐委員会は、推薦名簿を選挙管理委員会に通常総会の 1か月前までに送付しなければならない。

（選挙管理委員会）

- 第 10 条 総会議長は、総会において、正会員の中から次年度における選挙管理委員を定める。
- 2 選挙に関する規則は、理事会において別に定める

（役員の候補者）

- 第 11 条 役員に立候補しようとする者は、正会員 5 名以上の推薦を受けて選挙管理委員長に通常総会 2 か月前までに届け出なければならない。
- 2 選挙管理委員長は、役員の立候補者名と被推薦者名を、通常総会 1 か月前までに正会員に公表しなければならない。

（職能委員会選任の時期）

- 第 12 条 職能委員は、理事会において、半数を奇数年次（西暦）に、半数を偶数年次（西暦）に選任する。

（投票形式）

- 第 13 条 投票は記号を用い連記無記名でこれを行う。

（選挙の成立）

- 第 14 条 投票総数のうち半数以上が有効投票でなければ選挙は成立しない。

（当選）

- 第 15 条 役員の選任については、総会に出席した正会員の過半数の賛成を得た者の中から役職ごとに得票数の多い者を当選者と

する。なお、得票数が同じであるときは議長がくじでこれを定める。

（選挙の規則）

- 第 16 条 総会に係る選挙に関する規則は、理事会において別に定める。

第 5 章 日本看護協会代議員及び予備代議員

（代議員の選出）

- 第 17 条 毎年の総会において日本看護協会代議員を正会員の中から選出する。
- 2 代議員になろうとする者は、通常総会期日の 2 か月前までに選挙管理委員長に届け出なければならない。
- 3 前項の立候補を行う者のほか、推薦委員会が代議員を副会長及び職能理事を含め正会員の中から推薦し、通常総会で決定する。
- 4 代議員の数は日本看護協会の指定した数とするが、看護師 2 名、保健師、助産師、准看護師より各 1 名選出し、これを超える代議員については職種を問わないものとする。
- 5 予備代議員は、代議員が欠けたとき又は事故がある場合に備えて、同程度選出して順序を付しておくものとする。
- 6 代議員及び予備代議員の任期は、1 か年とする。但し再選は妨げない。
- 7 会長は、代議員の名簿を作成し、遅くとも前年度の 2 月末までに日本看護協会会長に報告するものとする。

（代議員の任務）

- 第 18 条 本会を代表して加入団体である日本看護協会総会に出席して選挙権及び議決権行使する。
- 2 代議員は、本会正会員及び本会の意を体して日本看護協会総会に出席し、議決事項等の権限行使した結果について本会に報告しなければならない。

第 6 章 総 会

（開催期日）

- 第 19 条 通常総会は、毎年 6 月に開催する。ただし、やむを得ない事情のある場合は、理事会の決議により、4 月又は 5 月に変更することができる。

（総会運営規則）

- 第 20 条 総会の運営に関し必要な事項は、理事会で審議し、総会の決議により別に定める

第 7 章 理 事 会

（審議事項）

- 第 21 条 理事会の審議事項は次のとおりとする。

- (1) 会務の処理に関する事項
- (2) 定款及び定款細則の変更に関する事項
- (3) 事業計画、収支予算案、事業報告に関する事項

- (4) 総会の開催日時及び総会提出議案に関する事項
- (5) 会長の委嘱する委員に関する事項
- (6) 必要ある場合の特別委員会の設置に関する事項
- (7) 資産を預ける金融機関の選定に関する事項
- (8) 年1回以上の公認会計士による会計帳簿に関する事項
- (9) その他理事会が必要と認めた事項

第8章 常任理事会

(構成)

第22条 常任理事会は、会長、副会長、常務理事で構成する。

(審議事項)

- 第23条 常任理事会は、会長が議長となる。
- 2 常任理事会は次の事項を処理する。
 - (1) 会務の執行状況に関する事項
 - (2) 委員会への諮問事項
 - (3) 事業計画に関する事項
 - (4) 理事会運営に関する事項
 - (5) その他常任理事会が必要と認める事項

(招集)

第24条 会長が、必要と認めるときに招集することができる。

第9章 職能委員会

(構成)

第25条 定款第42条に規定する職能委員会は、委員各6名（委員長を含む）をもって構成する。ただし、看護師職能委員会は18名とし、うち准看護師は2名以内とする。

(職能委員の指名等)

- 第26条 職能委員は、委員長となる者を除き、各職能毎に理事会において選任し、会長が任命する。
- 2 前項の選任数及び選任方法は別途定める。
 - 3 前項の看護師職のうち、准看護師数は2名以内とする。

(招集及び職能別集会)

- 第27条 職能委員会は定期的に会議を行なう。
- 2 職能委員会は、年1回会長の承認を経て、職能別集会を開催することが出来る。
 - 3 委員長は、職能別集会の長となり委員はこの会の運営に当たる。

(小委員会)

第28条 職能委員会は、必要に応じて小委員会を設けることができる。

(職能委員の任期)

第29条 職能委員会の委員の任期は、2年とする。但し、補欠の職能委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 職能委員のうち、半数は、奇数年次（西暦）に、のこり半数は偶数年次（西暦）に選任し、再任は妨げない。ただし、職能委員は、選任後6年を超えて就任することはできない。

(職能委員会の記録)

第30条 職能委員会の議事については、その経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成するものとする。

第10章 委員会

(職能委員会以外の委員会)

第31条 定款第43条の規定に基づき、本会に次の常任委員会を置く。

- (1) 推薦委員会
- (2) 教育委員会
- (3) 働き続けられる職場環境づくり推進委員会
- (4) 広報出版委員会

2 前項の各号に掲げる委員会のほかに、本会の事業を推進するため必要があるときは、理事会の決議を経て、特別委員会をおくことができる。

(委員会の任務)

第32条 常任委員会は、第30条第1項の委員会を各委員長が召集し、会務執行につとめる。

2 特別委員会は、専門事項に関する調査及び企画等、会長から諮問を受けた事項を審議する。

(委員長の理事会出席)

第33条 常任委員会の委員長は、必要に応じて理事会に出席することができる。但し、表決権は有しない。

(活動内容等)

第34条 各常任委員の活動目標及び活動内容は別に定める。

(常任委員の選任)

第35条 常任委員会の委員は（推薦委員を除く）、第30条の規定に従い、正会員の中から理事会で選任し、会長が委嘱する。

(常任委員の任期)

第36条 常任委員の任期は、2年とする。但し、補欠の常任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 常任委員のうち、半数は、奇数年次（西暦）に、残り半数は偶数年次（西暦）に選任し、再任は妨げない。ただし、常任委員は、選任後6年を超えて就任することはできない。
- 3 前2項の規定にかかわらず、推薦委員の任期は、選任後1年内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

(常任委員会の構成)

第37条 常任委員会は、次の委員数をもって構成し、そのうち1名を委員長とする。

(1) 推薦委員会	6名
(2) 教育委員会	12名
(3) 働き続けられる職場環境づくり推進委員会	8名
(4) 広報出版委員会	10名
2 委員長は、委員の互選による。	

(常任委員会の開催及び招集)

- 第38条 常任委員会は、定例的に開催する。
2 常任委員会は委員長が招集し、その議長となる。

(常任委員会の記録)

- 第39条 常任委員会の議事については、その経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成するものとする。

(特別委員会)

- 第40条 特別委員会は、常任委員会に準ずるものとする。
2 特別委員会は、任務が終了したときに解散する。

第11章 推薦委員会

(設置)

- 第41条 推薦委員会は、本会の役員及び推薦委員並びに日本看護協会の代議員及び予備代議員の改選に際し、その候補者の推薦に関する事項をつかさどる。
2 推薦委員は、総会において正会員から選任する。ただし、役員は、推薦委員を兼ねることができない。
3 推薦委員会は、候補者を推薦しようとするときは、予め本人の承諾を得て推薦しなければならない。

第12章 事務局

(理事会の決議をする職員)

- 第42条 定款第44条第3項に規定する重要な職員とは、ナースセンター長及び在宅支援室長とする。

(就業及び給与)

- 第43条 職員の就業及び給与に関しては、理事会の決議により別に定める。

第13章 補則

(定款細則の変更)

- 第44条 この定款細則を変更しようとするときは、理事会の決議による。ただし、第3条第1項に定める会費の額を変更しようとするときは、総会の決議を得なければならない。

附則

(施行期日)

- 1 この細則は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成25年7月27日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成27年12月5日から施行する。(平成27年12月5日理事会議決)

附則

- 1 この細則は、平成28年4月1日から施行する。(平成28年1月23日理事会議決)

附則

- 1 この細則は、平成29年1月28日から施行する。(平成29年1月28日理事会議決)

附則

- 1 この細則は、平成29年4月22日から施行し、平成29年4月1日から適用する。(平成29年4月22日理事会議決)

附則

- 1 この細則は、令和2年7月18日から施行する。

附則

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。(令和3年2月27日理事会議決)

附則

- 1 この規則は、令和7年1月18日から施行する。(令和7年1月18日理事会議決)

別表1 地区名

地区名	含まれる地域	
延岡・西臼杵地区	延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町	4市町
日向・東臼杵地区	日向市、門川町、諸塙村、椎葉村、美郷町	5市町村
西都・児湯地区	西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町	7市町村
宮崎・東諸県地区	宮崎市、国富町、綾町	3市町
都城・北諸県地区	都城市、三股町	2市町
小林・えびの・西諸県地区	小林市、えびの市、高原町	3市町
日南・串間地区	日南市、串間市	2市
7地区	26市町村	

公益社団法人宮崎県看護協会 会館整備資金取扱規程

(目的)

第1条 公益社団法人宮崎県看護協会（以下「本会」という。）の保有する建物・機械設備等の補修や将来の会館建替並びに備品の更新及び会館管理等に要する資金は、正会員からの会館整備に係る資金（以下「整備資金」という。）を充てるものとし、整備資金の管理・運営に関してはこの規程による。

(整備資金の使途)

第2条 整備資金の使途は、次のものに限る。

- (1) 建物・機械設備及び備品等の減価償却費
- (2) 建物・機械設備及び備品等の法定検査費
- (3) 建物・機械設備及び備品等の維持補修に要する経費
- (4) 機械設備及び備品等の更新に要する経費
- (5) 会館管理に要する経費
- (6) その他本会の建物、機械設備等の価値を高める経費

(整備資金の額)

第3条 正会員は整備資金を納付するものとし、金額は1人あたり5万円とする。

(整備資金の使途の割合)

第4条 整備資金の使途の割合は、整備資金総額の2分の1以上を公益目的事業に充てるものとする。

(整備資金の納付方法)

第5条 整備資金の納付方法は、一括払い及び分割払いのいずれの方法でも差し支えないものとする。

(会計経理の基準)

第6条 整備資金に係る会計経理については、本会の会計処理規則の定めるところにより取り扱うものとする。

(事務)

第7条 整備資金の受け入れ事務は、本会事務局が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、総会の決議を経て行うものとする。

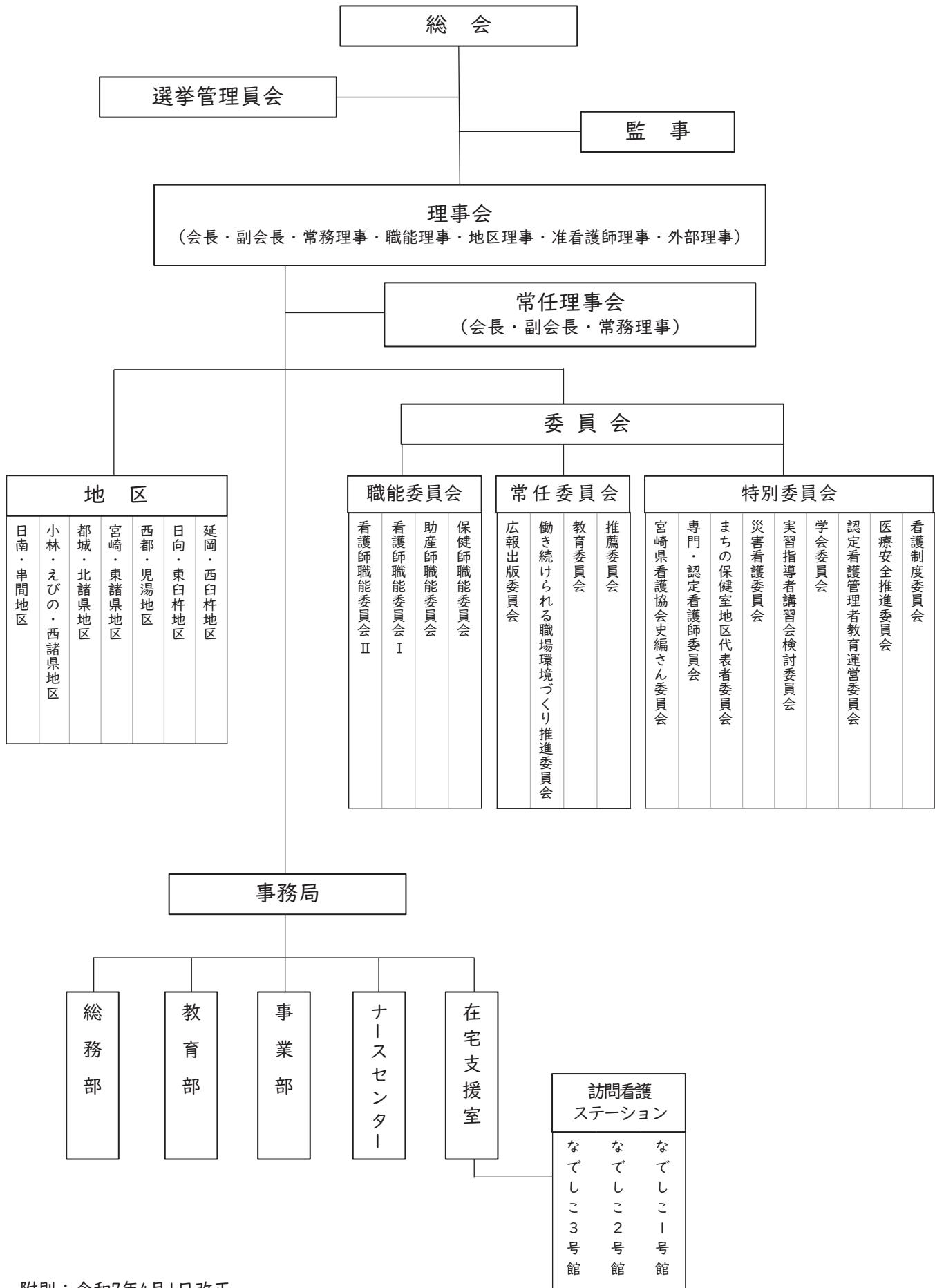
(補則)

第9条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成25年6月15日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

公益社団法人宮崎県看護協会 組織図



附則：令和7年4月1日改正

令和6年度 役員・委員名簿

【役員・職能委員】

役職・委員会名		氏 名	施設・事業所名
会長	☆	久保 敦子	宮崎県看護協会
副会長	3	田中 美幸	個人会員
副会長	☆	中村 小夜子	宮崎大学医学部附属病院
常務理事	☆	永野 秀子	宮崎県看護協会
常務理事	☆	川崎 伸子	宮崎県看護協会
職能理事	保健師	2 蛭原 夕起子	宮崎県福祉保健部健康増進課
	助産師	5 田中 優子	古賀総合病院
	看護師 I	☆ 釣崎 信	西都病院
	看護師 II	2 黒木 正樹	介護老人保健施設螢邑苑
地区理事	延岡・西臼杵地区	☆ 鴨田 充世	延岡市医師会病院
	日向・東臼杵地区	2 富山 由美	和田病院
	西都・児湯地区	4 関原 昭吾	鶴田病院
	宮崎・東諸県地区	4 山下 千夏	南部病院
	都城・北諸県地区	☆ 荒武 昌代	藤元総合病院
	小林・えびの・西諸県地区	2 弓削 尚美	個人会員
	日南・串間地区	2 山中 ゆかり	愛泉会日南病院
准看護師理事	6	崎村 真由美	潤和会記念病院
監事	8	蛭原 幸子	個人会員
	8	黒木 千賀子	個人会員
	4	三浦 洋司	三浦会計事務所
職能委員会 師	★ 有川 文美	延岡市役所	
	☆ 田邊 真理	宮崎県高鍋保健所	
	☆ 6 岩崎 恵子	宮崎県健康づくり協会	
	☆ 太田 直子	宮崎市役所	
	☆ 永山 加恵	宮崎県都城保健所	
職能委員会 産婦人科	☆ 林田 留実子	渡辺産婦人科	
	4 児玉 朋希	宮崎市郡医師会病院	
	☆ 長倉 千夏	宮崎県立宮崎病院	
	☆ 佐藤 百恵	宮崎大学医学部附属病院	
	★ 土器屋 智子	宮崎県立日南病院	
職能委員会 I 看護師	☆ 3 日高 栄美	和田病院	
	4 野邨 づぐみ	西都児湯医療センター	
	2 井上 めぐみ	宮崎県立宮崎病院	
	☆ 平山 薫	宮崎江南病院	
	☆ 岩部 仁	宮崎善仁会病院	
	2 上森 妃美	都城市郡医師会病院	
	2 餅原 悅子	小林市立病院	
	☆准 中村 幸恵	慈英病院	
職能委員会 II 看護師	2 日野 亮司	訪問看護ステーション陽のひかり	
	☆ 3 佐藤 幸代	訪問看護ステーションなでしこ日向	
	☆ 小森 順子	介護老人保健施設並木の里	
	☆ 児玉 真由見	訪問看護ステーションやわらぎ	
	☆ 3 谷口 世志美	個人会員	
	★ 岩永 美由紀	訪問看護ステーション夢の杜 (野尻中央病院)	
	★ 作本 愛	はまぼう訪問看護ステーション	

☆新役員・委員(再任を含む) 数字は在籍年数

★任期途中で辞任した役員・委員の後任

【常任委員】

委員会名	氏 名	施設・事業所名
推薦委員会	☆ 興梠 靖子	五ヶ瀬町国民健康保険病院
	☆ 上原 千枝	宮崎県日向保健所
	☆ 安田 みゆき	宮崎県立宮崎病院
	☆ 岡野 理恵	宮崎江南病院
	☆ 上田 淳子	藤元上町病院
	☆ 清水 小百合	串間市民病院
教育委員会	★ 木津 里美	伸和会延岡共立病院
	☆ 坂本 香代	高千穂町国民健康保険病院
	☆ 後藤 香織	済生会日向病院
	2 三好 里美	宮崎生協病院
	2 山田 恵美子	宮崎大学医学部附属病院
	☆ 佐藤 美和	宮崎市郡医師会病院
	2 谷口 孝英	井上病院
	2 柳原 由美子	平和台病院
	☆ 緒方 美穂(~7/12)	野崎東病院
	★ 東野 千春(7/13~)	
働き続けられる職場環境委員会	☆ 久保 江里	宮崎大学医学部看護学科
	2 岩崎 智子	国立病院機構都城医療センター
	☆ 田村 美千代	日南市立中部病院
	2 金澤 雅子	済生会日向病院
	★ 甲斐 泰幸	協和病院
広報出版委員会	6 小牟田 佐知子	宮崎生協病院
	4 東原 美由紀	宮崎善仁会病院
	3 亀澤 秀一	池井病院
	2 中迫 伸一	大悟病院
	2 藤村 涼子	宮崎県福祉保健部医療政策課
	2 荒川 貴代美	県看護協会ナースセンター
	☆ 3 山崎 朱美	平田東九州病院
広報出版委員会	☆ 高見 多恵	三股病院
	2 長友 寛子	西都児湯医療センター
	2 本田 里美	竹内病院
	2 米田 貴博	金丸脳神経外科病院
	2 坂元 由美子	増田病院
	☆ 熊倉 仁美	迫田病院
	☆ 財部 正恵	都城市郡医師会病院
	☆ 安田 修一郎	小林市立病院
	2 上田 麻衣子	日南市立中部病院

【特別委員】

委員会名	氏 名	施設・事業所
看護制度委員会	門田 広美	延岡看護専門学校
	藤村 涼子	宮崎県福祉保健部医療政策課
	日高 明美	宮崎県立宮崎病院
	坂本 三智代	宮崎県福祉保健部健康増進課
	濱寄 真由美	宮崎県立看護大学
	久保 敦子	宮崎県看護協会
医療安全推進委員会	甲斐 邦宏	延岡・西臼杵地区(国見ヶ丘病院)
	阿部 裕子	日向・東臼杵地区(千代田病院)
	永友 聖敏	西都・児湯地区(鶴田病院)
	中尾 直子	宮崎・東諸県地区(宮崎大学医学部附属病院)
	船ヶ山 真由美	宮崎・東諸県地区(南部病院)
	末永 麻里	宮崎・東諸県地区(宮崎県立宮崎病院)
	山本 直美	宮崎・東諸県地区(潤和会記念病院)
	藤内 千夏	都城・北諸県地区(国立病院機構都城医療センター)
	小川 賢二	小林・えびの・西諸県地区(内村病院)
認定教育護理運営管理委員会	黒木 美紀	日南・串間地区(串間市民病院)
	井上 由紀子	一般財団法人弘潤会
	東 美代子	宮崎県病院局経営管理課
	武田 愛	小林市立病院
	比恵島 知子	フィオーレKOGA看護専門学校
	松田 聖美	済生会日向病院
学会委員会	久保田 智美	宮崎大学医学部附属病院
	向井 ふさ子	宮崎県看護協会
	高岩 真秀美	宮崎県看護協会
	松葉 里江	古賀総合病院
	武田 靖子	宮崎県中央保健所
	平田 サオリ	宮崎県立延岡病院
実習指導者講習会	松本 憲子	宮崎県立看護大学
	濱砂 馨	宮崎大学医学部附属病院
	川崎 伸子	宮崎県看護協会
	門田 広美	延岡看護専門学校
	小川 淳子	日南看護専門学校
災害看護委員会	上山 美紀	宮崎県立宮崎病院
	壹岐 さより	宮崎県立看護大学
	川崎 伸子	宮崎県看護協会
	富山 健司	延岡・西臼杵地区(延岡看護専門学校)
	成合 貴代	日向・東臼杵地区(済生会日向病院)
	橋田 志帆	西都・児湯地区(都農町国民健康保険病院)
	壹岐 由加利	宮崎・東諸県地区(宮崎市郡医師会病院)
	福田 幸子	都城・北諸県地区(国立病院機構都城医療センター)
	野間 智夏	小林・えびの・西諸県地区(園田病院)
	松田 菜緒子	日南・串間地区(串間市民病院)
	永迫 望	感染管理認定看護師(潤和会記念病院)

委員会名	氏 名	施設・事業所
まちの保健室地区代表者委員会	田中 澄子	個人会員
	蛯原 夕起子	保健師職能理事(宮崎県福祉保健部健康増進課)
	田中 優子	助産師職能理事(古賀総合病院)
	釘崎 信	看護師職能I理事(西都病院)
	黒木 正樹	看護師職能II理事(介護老人保健施設螢邑苑)
	加藤 千鶴	延岡・西臼杵地区(延岡リハビリテーション病院)
	藤原 勝美	日向・東臼杵地区(千代田病院)
	丸岡 智子	西都・児湯地区(都農町国民健康保険病院)
	小牟田 佐知子	宮崎・東諸県地区(宮崎生協病院)
	齊藤 皆子	都城・北諸県地区(個人会員)
専門・認定看護師委員会	四元 瑞恵	小林・えびの・西諸県地区(小林市立病院)
	山元 ヒサ子	日南・串間地区(個人会員)
	永野 秀子	宮崎県看護協会
	三輪 真砂子	宮崎大学医学部附属病院
	楠原 裕美子	古賀総合病院
	中内 健太	宮崎県立延岡病院
	酒井 美香	宮崎市郡医師会病院
	田原 真美代	小林市立病院
	高須 順子	宮崎善仁会病院

【選挙管理委員】

氏 名	施設・事業所
村岡 涼子	宮崎県日南保健所
田邊 真理	宮崎県高鍋保健所
天川 直子	宮崎大学医学部附属病院
松本 友紀子	宮崎県立日南病院
横井 美香	野崎東病院
餅原 悅子	小林市立病院
瀬戸口 麻美	訪問看護ステーション凜
日野 亮司	訪問看護ステーション陽のひかり

令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員名簿

番号	代議員・予備代議員区分	氏名	職能別	役職等
1	代議員	田中 美幸	保健師	副会長
2	代議員	川崎 伸子	看護師	常務理事
3 (予備 2)	代議員	永野 秀子	保健師	常務理事
4	代議員	田中 優子	助産師	助産師職能理事
5	代議員	釘崎 信	看護師	看護師職能 I 理事
6	代議員	黒木 正樹	看護師	看護師職能 II 理事
7	代議員	崎村 真由美	准看護師	准看護師理事
8 (予備 1)	予備代議員	中村 小夜子	看護師	副会長
9	代議員	山中 ゆかり	看護師	日南・串間地区理事
予備 3	予備代議員	永山 加恵	保健師	保健師職能委員
予備 4	予備代議員	林田 留実子	助産師	助産師職能委員
予備 5	予備代議員	佐藤 百恵	助産師	助産師職能委員
予備 6	予備代議員	井上 めぐみ	看護師	看護師職能委員 (I 領域)
予備 7	予備代議員	佐藤 幸代	看護師	看護師職能委員 (II 領域)
予備 8	予備代議員	中村 幸恵	准看護師	看護師職能委員 (I 領域)
予備 10	予備代議員	荒武 昌代	看護師	都城・北諸県地区理事

令和6年度・7年度 表彰者名簿

令和7年度宮崎県看護協会長表彰受賞者

No	氏名	職能	所属施設名
1	渡部 京子	看護師	宮崎県看護連盟
2	末永 淳子	看護師	個人会員
3	小城 一代	看護師	個人会員
4	新名 麻理子	看護師	個人会員
5	齋藤 由美子	看護師	訪問看護ステーション一ツ葉
6	荒川 貴代美	看護師	宮崎県看護協会ナースセンター
7	弓削 尚美	看護師	個人会員
8	岩崎 恵子	保健師	公益財団法人宮崎県健康づくり協会
9	田中 優子	助産師	古賀総合病院

宮崎県看護協会推薦表彰受賞者

表彰名	受賞日	氏名	所属施設名 (受賞日時点)
令和7年度 日本看護協会名誉会員	令和7年6月11日	久保野 イツ子	認定NPO法人 ホームホスピス宮崎
令和7年度 日本看護協会会長表彰	令和7年6月11日	中武 郁子	個人会員
令和6年度 宮崎県公衆衛生功労者表彰	令和7年2月4日	田中 澄子	個人会員
令和7年度 「看護の日」記念 宮崎県知事表彰	令和7年5月12日	田中 茂子	春光会記念病院
		黒木 千賀子	個人会員
		藤澤 豊子	宮崎医療福祉専門学校
		竹田 栄子	育生会井上病院
		水永 豊子	千代田病院

令和6年度各種事業に伴う委員会

【宮崎県ナースセンター事業運営委員会】

氏名	団体名等
池井 義彦	宮崎県医師会
赤須 郁太郎	宮崎県医師会
石原 史絵	国立病院機構都城医療センター附属看護学校
小川 淳子	日南看護専門学校
柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科
松下 理絵	訪問看護ステーション希星
多田 真理子	宮崎公共職業安定所 所長
大脇 泰弘	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 宮崎県福祉人材センター
益留 真由美	宮崎県保健師長会
徳地 清孝	宮崎県福祉保健部医療政策課
岩部 仁	宮崎善仁会病院
久保 敦子	宮崎県看護協会

【新人看護職員研修推進協議会】

氏名	団体名等
池井 義彦	宮崎県医師会
比嘉 利信	国立病院機構宮崎東病院
長鶴 美佐子	宮崎県立看護大学
小川 淳子	日南看護専門学校
上森 妃美	都城市郡医師会病院
日高 明美	宮崎県立宮崎病院
戸高 薫	宮崎市郡医師会病院
徳地 清孝	宮崎県福祉保健部医療政策課
松田 聖美	済生会日向病院
久保 敦子	宮崎県看護協会

【訪問看護推進協議会】

氏名	団体名等
池井 義彦	宮崎県医師会
弓場 光泰	宮崎県歯科医師会
岩崎 恭子	宮崎県薬剤師会
久保 敦子	宮崎県看護協会
木場 圭一	宮崎県介護福祉士会
佐藤 幸代	宮崎県済生会訪問看護ステーション なでしこ日向
松下 理絵	訪問看護ステーション希星
崎田 聰美	なないろ訪問看護ステーション
福迫 千香	訪問看護ステーションひかり
日高 陽子	宮崎県介護支援専門員協会
楠木 千恵子	宮崎県栄養士会
川原 瑞代	宮崎県立看護大学
徳地 清孝	宮崎県福祉保健部医療政策課
島田 浩二	宮崎県福祉保健部長寿介護課

令和6年度関係機関等への委員等の参画

役職等	名 称
会長	宮崎県総合計画審議会 宮崎県地域医療構想調整会議 宮崎県医療審議会 宮崎県医療審議会医療法人等部会 宮崎県薬事審議会 宮崎県医療介護推進協議会 宮崎県社会福祉審議会 宮崎県社会福祉審議会児童福祉専門分科会 宮崎県防災会議 宮崎県水防協議会 宮崎県国民健康保険運営協議会 宮崎県医療費適正化計画策定検討委員会 宮崎県国民保護協議会 宮崎県周産期医療協議会 宮崎県がん対策審議会 宮崎県肝疾患診療連絡協議会 宮崎県糖尿病対策推進会議 宮崎県立病院事業評価委員会 宮崎県地方独立行政法人評価委員会 宮崎県建築審査会 宮崎県キャリア教育推進会議 宮崎県医師会医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 宮崎県男女共同参画センター評価委員会 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会 宮崎市医療安全推進協議会 宮崎市防災会議 宮崎市立田野病院等運営協議会 宮崎市保健所運営協議会 宮崎市開発審査会 宮崎県社会福祉協議会評議員会 宮崎市社会福祉審議会 宮崎県プライマリ・ケア研究会 在宅医療研修会企画委員会委員 介護支援専門員ケアマネジメント向上支援事業に係る選考委員会 宮崎県移植推進財団理事会 日本医療マネジメント学会宮崎県支部理事会 日本社会医療学会
副会長	宮崎県献血推進協議会 宮崎県高齢者虐待防止連絡会議 宮崎県健康づくり推進協議会 宮崎市地域包括支援センター運営協議会 宮崎東諸県在宅医療介護連携推進協議会 慢性腎臓病対策推進会議 (Mz-CKDI) 宮崎市国民保護協議会 宮崎県リウマチ研究会世話人会 宮崎県社会福祉事業団評議員会 「宮崎いのちの電話」理事会 宮崎県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会 公立大学法人宮崎県立看護大学教育研究審議会
常務理事 (総務担当)	宮崎県感染症対策審議会 宮崎県感染症対策連携協議会 宮崎県医療審議会医療計画部会 宮崎県災害派遣精神医療チーム (DPAT) 運営委員会 令和5年度大規模地震時医療活動訓練調整会議 宮崎県自殺対策推進協議会 宮崎県循環器病対策推進協議会 宮崎県難病対策協議会 宮崎県高齢者サービス総合調整推進会議 宮崎県アドバンス・ケア・プランニング推進委員会 宮崎県歯科保健推進協議会 宮崎県医療介護推進協議会地域リハビリテーション支援体制検討部会 宮崎市認知症地域支援ネットワーク推進委員会 宮崎市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会 宮崎市地域密着型サービス運営委員会 宮崎県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員会 宮崎県小児保健学会監事
常務理事 (教育担当)	宮崎県准看護師試験委員会 宮崎県立看護大学地域貢献等研究推進事業審査委員会 宮崎県立看護大学看護研究・研修センター運営協議会 「特定行為に係る看護師の研修制度」推進検討会 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会「宿泊・衛生部門委員会」 外国人患者の受け入れ環境整備推進協議会 ピンクリボン活動みやざき実行委員会及び企画委員会 ピンクリボン活動みやざき監事 宮崎県スポーツ協会スポーツ医・科学委員会

役職等	名 称
常務理事 (教育担当)	宮崎県競技力向上対策本部コンディショニングサポート専門委員会委員 宮崎県コモティブシンドローム対策協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 宮崎県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 宮崎リハビリテーション研究会世話人会 宮崎県健康長寿社会づくり推進会議
職能理事	宮崎県母子保健運営協議会 宮崎県保健師現任教育推進会議 宮崎県段階別研修運営委員会 宮崎県 HTLV-1 母子感染対策協議会 宮崎県介護現場革新会議 宮崎県性と生殖に関する検討会 延岡市在宅医療・介護連携推進協議会部会
地区理事	延岡保健所運営協議会 延岡西臼杵地域医療構想調整会議 延岡市在宅医療・介護連携推進協議会 日向保健所運営協議会 日向入郷医療圏地域医療構想調整会議 第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会 日向市準備委員会 高鍋保健所運営協議会 西都児湯地域・職域連携推進協議会及び部会 西都児湯地域自殺対策推進協議会 西都児湯二次医療圏地域医療構想調整会議 宮崎東諸県地域医療構想調整会議 中央保健所運営協議会 宮崎市感染症予防計画策定協議会 第 81 回国民スポーツ大会宮崎市準備委員会 都城保健所運営協議会 都城北諸県地域・職域連携推進協議会及び部会 都城北諸県地域医療構想調整会議 都城市介護保険運営協議会 都城市防災会議 都城市学校における医療的ケア児支援事業運営協議会 都城北諸県地域自殺対策協議会 第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会 都城市準備委員会 都城市・三股町医療・介護連携推進協議会 西諸地域・職域連携推進協議会及び作業部会 小林保健所運営協議会 西諸地域医療構想調整会議 西諸地域自殺対策協議会 西諸地域在宅介護連携推進協議会 第 81 回国民スポーツ大会えびの市準備委員会 日南保健所運営協議会 日南串間地域・職域連携推進協議会 日南串間地域医療構想調整会議 健康にちなん 21 推進会議 日南市在宅医療・介護連携推進協議会 日南市地域包括支援センター運営協議会 日南市地域密着型サービス運営会議 日南市地域ケア推進協議会 日南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画委員会 第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回国民障害者スポーツ大会日南市準備委員会 串間市在宅医療介護連携推進協議会
ナースセンター長	宮崎県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 ひなたの出逢い・子育て応援運動「子育て応援部会」 みやざき医療・福祉分野人材確保対策推進協議会
在宅支援室長	宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議 宮崎県介護人材確保推進協議会 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 宮崎県介護支援専門員研修向上委員会 第 5 次宮崎市地域福祉計画検討会議
会員	宮崎県精神医療審査会 宮崎東諸県地域介護認定審査会 宮崎市障がい程度区分認定審査会 都城市地域介護認定審査会 日南串間地域介護認定審査会 日南市串間地区障害支援区分等認定審査会 宮崎県医師会在宅医療協議会 宮崎市医療的ケア児等支援連絡協議会 宮崎市難病対策地域協議会 宮崎市小児慢性特定疾病対策地域協議会 都城市小・中学校医療的ケア児支援運営協議会
事務局長	宮崎県防災会議幹事 宮崎県国民保護協議会幹事 宮崎市国民保護協議会幹事 宮崎市高齢者福祉計画等推進協議会

令和6年度関係団体の後援

	名称	主催	期日
1	のべおか骨太プロジェクト/WEBシンポジウム	一般社団法人 延岡市医師会	令和6年4月26日
2	みやざき “いのちのリレー” ポスターコンテスト2024	公益財団法人宮崎県移植推進財団	令和6年7月22日～9月11日 表彰式：令和6年10月中旬予定 展示：令和6年10月～
3	第35回宮崎県糖尿病教育セミナー	宮崎県糖尿病懇話会	令和6年9月8日
4	第64回宮崎県精神保健福祉大会	宮崎県精神保健福祉連絡協議会	令和6年10月19日
5	令和6年度公益財団法人宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー養成講習会	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	令和6年6月30日～令和7年1月19日
6	介護テクノロジーフェスターIn 日南	日南市連携協議会みらい	令和6年8月22日
7	日本緩和医療学会第6回九州支部学術大会	日本緩和医療学会第6回九州学術大会大会長	令和6年11月16日
8	令和6年度 第12回宮崎県輸血懇話会	宮崎県赤十字血液センター	令和6年9月21日
9	第31回 都城緩和ケア研究会	都城緩和ケア研究会	令和6年10月5日
10	第29回宮崎県理学療法学会	第29回宮崎県理学療法学会事務局	令和6年12月1日
11	令和6年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座	日本肝臓学会市民公開講座宮崎県責任者	令和6年10月5日
12	第12回呼吸療法勉強会	宮崎県呼吸療法ネットワーク	令和6年11月23日
13	第11回日本医療安全学会学術総会	一般社団法人 日本医療安全学会	令和7年3月15日～3月16日
14	日本社会医療学会第25回記念大会	日本社会医療学会	令和6年10月26日～10月27日
15	九州作業療法学会2025in宮崎	九州作業療法士会	令和6年6月21日～6月22日
16	宮崎県民公開講座2024	エーザイ株式会社	令和6年11月9日
17	第12回市民フォーラム	国立病院機構都城医療センター	令和7年3月1日
18	令和6年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会研究大会	一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会	令和7年2月16日
19	第14回2025年度「在宅を支える多職種交流会」	宮崎キュアケアネットワーク代表世話人会	令和7年6月7日

令和7年度入会施設一覧（令和7年4月30日現在：6,989名）

延岡・西臼杵地区(延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町) 743名

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30 現在	R6年度
宮崎県立延岡病院	0982-32-6181	小泉 さなえ	882-0835	延岡市新小路2丁目1-10	373	377
伸和会延岡共立病院	0982-33-3268	山本 いづみ	882-0037	延岡市山月町5丁目5679-1	50	55
高千穂町国民健康保険病院	0982-73-1700	甲斐 美幸	882-1101	西臼杵郡高千穂町三田井435-1	53	55
延岡市医師会病院	0982-21-1302	鴨田 充世	882-0856	延岡市出北6-1621	40	44
延岡リハビリテーション病院	0982-21-6211	榎田 美代子	882-0854	延岡市長浜町1-1777	40	43
黒木病院	0982-21-6381	柳田 志乃	882-0041	延岡市北小路14-1	32	35
平田東九州病院	0982-37-5959	松田 智子	889-0503	延岡市伊形町4791	27	33
介護老人保健施設トトロみのる園	0982-37-3336	会員代表者	889-0516	延岡市鯛名町422-9		
早田病院	0982-33-5577	梅田 政子	882-0042	延岡市高千穂通3748-1	28	32
日之影町国民健康保険病院	0982-87-2021	桐木 志穂	882-0401	西臼杵郡日之影町大字七折9074-3	19	19
育生会井上病院	0982-21-5110	会員代表者	882-0866	延岡市平原町1-990-1	10	12
国見ヶ丘病院	0982-72-3151	甲斐 邦宏	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	7	7
吉田病院	0982-37-0126	甲斐 美和子	889-0511	延岡市松原町4丁目8850	3	5
岡村病院	0982-21-5353	会員代表者	882-0866	延岡市平原町1-1389-1	0	3
谷村病院	0982-33-3024	会員代表者	882-0041	延岡市北小路10-2	3	3
五ヶ瀬町国民健康保険病院	0982-73-5500	興梠 靖子	882-1203	西臼杵郡五ヶ瀬町三ヶ所2109-1	4	2
黒瀬病院	0982-21-2558	会員代表者	882-0867	延岡市構口町2-123	0	1
延岡保養園	0982-33-6396	会員代表者	882-0863	延岡市緑ヶ丘5丁目14番地30号	1	1
米田脳神経外科	0982-33-7766	会員代表者	882-0857	延岡市惣領町3-19	3	5
あたご整形外科	0982-22-7575	東福 紀代子	882-0872	延岡市愛宕町3丁目161	1	1
石井皮膚科	0982-28-1112	会員代表者	882-0855	延岡市卸本町2-19	1	1
延岡市夜間急病センター	0982-21-1300	小川 幸一	883-0041	延岡市出北6丁目1621番地	1	0
おがわクリニック	0982-31-3121	会員代表者	882-0803	延岡市大貫町2-1206-1	9	9
おおぬきクリニック	0982-28-1533	会員代表者	882-0803	延岡市大貫町2丁目1236番地		
プレストセンターさがらクリニック延岡	0982-33-0355	会員代表者	882-0836	延岡市恒富町4-26	0	5
生協クリニックのべおか	0982-26-7100	北野 里佳	882-0851	延岡市浜砂1-5-17	4	4
桜ヶ丘ファミリークリニック	0982-28-2280	会員代表者	882-0005	延岡市夏田町414-1	0	2
宮崎県延岡保健所	0982-33-5373	後藤 由佳	882-0803	延岡市大貫町1-2840	6	10
延岡市役所	0982-22-7014	日高 隆一	882-8686	延岡市東本小路2-1	0	3
宮崎県高千穂保健所	0982-72-3210	蘭田 成央	882-1101	西臼杵郡高千穂町三田井1086-1	4	3
北部福祉こどもセンター	0982-35-1700	会員代表者	882-0803	延岡市大貫町1-2845	0	1
旭化成(株)健康経営推進室延岡経営支援センター	0982-22-2928	赤木 真希子	882-0847	延岡市旭町6-4100-1	5	5
旭化成健康保健組合	0982-22-2940	会員代表者	882-0847	延岡市旭町2-1-3	3	3
訪問看護ステーション陽のひかり	0982-20-5085	日野 亮司	882-0864	延岡市塩浜町3丁目1795番地1	7	7
訪問看護ステーションそれいゆ	0982-31-1442	稲垣 澄子	882-0851	延岡市浜砂1-5-6	3	4
訪問看護事業所あたご	0982-26-7578	会員代表者	882-0846	延岡市中島町4丁目314-3	2	2
訪問看護ステーションあいの環	0982-40-3669	高橋 大樹	882-0021	延岡市無鹿町1丁目2233	1	2
訪問看護ステーションひとしづく	0982-29-3903	会員代表者	882-0864	延岡市塩浜町2丁目1858番7	0	1
介護老人保健施設エクセルライフ	0982-32-1550	会員代表者	882-0803	延岡市大貫町1-2850-1	1	1
介護老人保健施設のべおか老健あたご	0982-34-7575	会員代表者	882-0846	延岡市中島町4丁目314-3	0	1
介護老人保健施設螢邑苑	0982-46-2295	黒木 正樹	889-0101	延岡市北川町川内名7055-2	1	1
特別養護老人ホームひえいの郷	0982-47-2266	会員代表者	882-0125	延岡市北方町川水流卯1810-86	1	1
高千穂町養護老人ホームときわ園	0982-73-3001	会員代表者	882-1413	西臼杵郡高千穂町田原1071-1	0	1

日向・東臼杵地区(日向市、門川町、諸塙村、椎葉村、美郷町) 452名

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30現在	R6年度
千代田病院	0982-52-7111	水永 豊子	883-0064	日向市大字日知屋字古田町88番地	146	155
済生会日向病院	0982-63-1321	松田 聖美	889-0692	東臼杵郡門川町南町4丁目128番地	123	138
和田病院	0982-52-0011	富山 由美	883-0051	日向市向江町1-196-1	88	94
椎葉村国民健康保険病院	0982-67-2008	椎葉 瞳美	883-1601	東臼杵郡椎葉村大字下福良1747-5	18	19
三股病院	0982-58-0034	会員代表者	889-1111	日向市美々津町3870	10	13
協和病院	0982-54-2806	甲斐 泰幸	883-0021	日向市財光寺1194-3	9	9
美郷町国民健康保険西郷病院	0982-66-3141	美麻 美佐	883-1101	東臼杵郡美郷町西郷区田代29	3	3
瀧井病院	0982-52-2409	森澤 修一	883-0033	日向市大字塩見11652番地	9	1
国民健康保険諸塙診療所	0982-65-0140	三浦 繁光	883-1301	東臼杵郡諸塙村家代3063番地	7	11
今給黎医院	0982-54-2459	前田 明美	883-0021	日向市財光寺2864-3	8	8
日向市立東郷診療所	0982-69-2013	伊藤 貴久子	883-0102	日向市東郷町大字山陰1412-1	7	8
森迫胃腸科内科	0982-63-2048	会員代表者	889-0601	東臼杵郡門川町須賀崎1-40-1	0	1
医療法人 仁徳会 渡辺産婦人科	0982-57-1011	会員代表者	883-0022	日向市平岩718	2	1
宮崎県日向保健所	0982-52-5101	上原 千枝	883-0041	日向市北町2-16	7	8
椎葉村総合保健センターすこやか館	0982-68-7510	椎葉 祐美子	883-1601	東臼杵郡椎葉村大字下福良1762-1	2	2
日向市東臼杵郡医師会立訪問看護ステーション	0982-54-7770	会員代表者	883-0052	日向市鶴町1-6-2	2	2
訪問看護ステーションMahalo	0982-95-0791	原田 早奈恵	883-0037	東臼杵郡門川町須賀崎3-23	1	1
かかりつけ訪問看護ステーションふた葉	0982-95-0155	会員代表者	883-0012	日向市江良町4-81柏田テナント1階北側号室	0	1
訪問看護ステーションあやめ	0982-66-6004	黒田 亜矢	883-0021	日向市財光寺972番地10	1	1
介護老人保健施設メディケア盛年館	0982-53-8788	会員代表者	883-0051	日向市向江町1-196-2	6	7
NPO法人あつたかほーむ愛あい	0982-66-0501	会員代表者	883-0021	日向市財光寺2939-8	1	1
永寿園介護支援センター	0982-50-1223	会員代表者	883-0034	日向市大字富高546-1	1	1
特別養護老人ホーム牧水園	0982-69-3355	酒井 やつ子	883-0102	日向市東郷町山陰丙1422-2	1	1
特別養護老人ホーム立縫の里	0982-58-1100	会員代表者	889-1111	日向市美々津町4074	0	1
日本救急システム株式会社	0982-60-3731	会員代表者	889-0901	東臼杵郡美郷町北郷宇納間401	0	1

西都・児湯地区(西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町) 331 名

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30現在	R6年度
海老原総合病院	0983-23-1111	会員代表者	884-0006	児湯郡高鍋町大字上江堂ヶ瀬207	89	93
鶴田病院	0983-42-3711	関原 昭吾	881-0016	西都市御舟町1丁目78	58	75
地方独立行政法人 西都児湯医療センター	0983-42-1113	野邨 つぐみ	881-0033	西都市大字妻1550	43	49
独立行政法人国立病院機構宮崎病院	0983-27-1036	会員代表者	889-1301	児湯郡川南町大字川南19403-4	32	38
西都病院	0983-43-0143	釤崎 信	881-0023	西都市調殿1010	27	31
都農町国民健康保険病院	0983-25-1031	海野 澄子	889-1201	児湯郡都農町大字川北5202	24	26
三財病院	0983-44-5221	会員代表者	881-0113	西都市下三財3378	5	9
大塚病院	0983-43-0016	小城 美紀	881-0016	西都市御船町2-45	7	8
川南病院	0983-27-4111	会員代表者	889-1301	児湯郡川南町大字川南18150-47	4	5
内田医院	0983-23-0041	会員代表者	884-0002	児湯郡高鍋町大字北高鍋784	2	2
国民健康保険西米良診療所	0983-36-1031	濱砂 明美	881-1411	児湯郡西米良村大字村所66-1	0	1
東米良診療所	0983-46-2335	会員代表者	881-1123	西都市中尾小崎171-9	1	1
おおやまこどもクリニック	0983-32-8303	会員代表者	889-1413	児湯郡新富町富田西2-2-1	3	5
医療法人隆徳会 木城クリニック	0983-32-3322	栗栄 易子	884-0101	児湯郡木城町高城3846	1	1
宮崎県高鍋保健所	0983-22-1330	鶴 香織	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1	12	9
都農町役場	0983-25-1008	安藤 優子	889-1201	児湯郡都農町大字川北4874-2	1	2
新富町役場	0983-33-6059	会員代表者	889-1493	児湯郡新富町大字上富田7491	1	1
西米良役場	0983-36-1114	会員代表者	881-1411	児湯郡西米良村村所15	0	1

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30現在	R6年度
ひまわり訪問看護ステーション	0983-43-2431	会員代表者	881-0016	西都市御舟町1-93-2	4	4
訪問看護ステーション花ほたる	0983-27-3370	会員代表者	889-1302	児湯郡川南町大字平田1428-8	2	3
訪問看護ステーション湯癒亭	0983-47-0588	岩村 優子	889-1302	児湯郡川南町大字平田字垂門2379番地1	1	3
訪問看護ステーションLife	0983-26-6002	会員代表者	884-0102	児湯郡木城町大字椎木4646番地2	1	2
訪問看護ステーションC le a r	0983-32-8430	祖田 栄児	883-0038	西都市水流崎町14番地HAKUBA TOWN 102	4	0
介護老人保健施設 並木の里	0983-44-6066	会員代表者	881-0113	西都市下三財8124-8	6	7
鶴田クリニックデイケア	0983-42-3755	会員代表者	881-0016	西都市御舟町1-55	3	3

宮崎・東諸県地区(宮崎市、国富町、綾町) 3,593名

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30現在	R6年度
宮崎大学医学部附属病院	0985-85-9207	福満 美和	889-1692	宮崎市清武町木原5200	573	639
宮崎県立宮崎病院	0985-24-4181	井上 洋子	880-8510	宮崎市北高松町5-30	459	502
宮崎市郡医師会病院	0985-77-9101	戸高 薫	880-2102	宮崎市大字有田1173	369	358
潤和会記念病院	0570-00-4755	西橋 富美江	880-2112	宮崎市大字小松1119	304	347
訪問看護ステーションやわらぎ	0985-48-0316	神ノ川 智恵美	880-2112	宮崎市大字小松1119		
古賀総合病院	0985-39-8888	和泉 貴子	880-0041	宮崎市池内町数太木1749-1	279	302
古賀ケアプランセンター	0985-39-9150	会員代表者	880-0041	宮崎市池内町数太木1763-3		
宮崎江南病院	0985-51-7575	三原 直子	880-8585	宮崎市大坪西1丁目2-1	259	273
宮崎善仁会病院	0570-02-1599	岩部 仁	880-0834	宮崎市新別府町江口950-1	171	200
宮崎医療センター病院	0985-26-2800	乙守 篤	880-0003	宮崎市高松町2-16	128	165
宮崎生協病院	0985-24-6877	井上 友香	880-0824	宮崎市大島町天神前1171	80	90
平和台病院	0985-24-2605	脇坂 幸江	880-0034	宮崎市矢の先町150-1	74	88
医療法人真愛会高宮病院	0985-24-5678	白濱 美保子	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	79	85
野崎東病院	0985-28-8555	会員代表者	880-0837	宮崎市村角町高尊2105	65	70
若草病院	0985-28-2801	小川 和彦	880-0804	宮崎市宮田町7-37	60	63
社会医療法人如月会 在宅部門	0985-28-2801	田上 淑子	880-0037	宮崎市宮田町7-37 若草病院内		
さがら病院宮崎	0985-32-7170	石川 章子	880-0052	宮崎市下原町247-19	49	44
宮崎県立こども療育センター	0985-85-6500	吉野 真奈美	889-1601	宮崎市清武町木原4257-8	49	44
迫田病院	0985-51-3555	江藤 けさよ	880-0917	宮崎市城ヶ崎3-2-1	27	34
増田病院	0985-41-1234	篠原 真理子	880-0045	宮崎市大字大瀬町2176-1	30	34
宮崎市立田野病院	0985-86-1155	会員代表者	889-1704	宮崎市田野町南原1丁目6番地2	27	30
独立行政法人国立病院機構 宮崎東病院	0985-56-2311	坂元 安恵	880-0911	宮崎市大字田吉4374-1	25	28
井上病院	0985-39-5396	川崎 誉一郎	880-0123	宮崎市大字芳士80	24	28
南部病院	0985-54-5353	長友 謙明	880-0916	宮崎市大字恒久891-14	20	22
宮崎若久病院	0985-51-1548	会員代表者	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	25	22
大江整形外科病院	0985-23-6297	会員代表者	880-0022	宮崎市大橋1-94-1	15	19
竹内病院	0985-26-0123	山村 由枝	880-0032	宮崎市霧島2-260	17	19
金丸脳神経外科病院	0985-39-8484	川野 由美子	880-0041	宮崎市池内町八幡田803	16	18
慈英病院	0985-23-5000	小川 登喜子	880-0853	宮崎市中西町160番地	15	15
宮崎中央眼科病院	0985-24-8661	三角 裕子	880-0021	宮崎市清水3丁目6-21	11	12
野崎病院	0985-51-3111	中山 谷一	880-0916	宮崎市大字恒久5567	13	11
けいめい記念病院	0985-75-7007	会員代表者	880-1111	東諸県郡国富町岩知野六江762	5	10
大塚小松台眼科	0985-75-0100	小野 由佳	880-0951	宮崎市大塚町無量寺道下78-3	3	3
阿波岐ヶ原病院	0985-26-5050	会員代表者	880-0835	宮崎市阿波岐ヶ原前浜4276	2	2
近間病院	0985-24-2418	会員代表者	880-0836	宮崎市山崎町965-6	4	2
城山病院	0985-85-0036	松下 由美子	889-1604	宮崎市清武町船引238	0	2
藤木病院	0985-47-0415	押川 美智子	880-2112	宮崎市大字小松2988番地	0	2
海老原病院	0985-75-2115	会員代表者	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄4365	1	2
辰元病院	0985-82-3531	会員代表者	880-2224	宮崎市高岡町飯田2089-1	1	1
いしかわ内科	0985-32-2234	渡邊 紀代子	880-0033	宮崎市神宮西1-49-1	3	4

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30 現在	R6年度
南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	0985-71-2888	会員代表者	880-0916	宮崎市恒久1383-1	2	3
外山内科神経内科医院	0985-28-1388	会員代表者	880-0841	宮崎市吉村町境目甲1529-1	2	2
上田脳神経外科	0985-54-3500	金丸 江理子	880-0925	宮崎市本郷北方2703	1	2
ゆげ小児科弓削整形外科	0985-25-7115	会員代表者	880-0806	宮崎市広島1丁目1-18	1	1
なかしま外科・内科	0985-52-6511	会員代表者	880-0904	宮崎市中村東2丁目4-8	1	1
青木皮膚科	0985-23-2011	会員代表者	880-0873	宮崎市堀川町103	1	1
結い診療所	0985-30-7383	北村 紗希	880-1303	東諸県郡綾町南俣字桑下319-4	1	1
みつばち診療所	0985-41-8938	武藤 麻衣子	883-0044	宮崎市上野町4-23	2	0
古賀駅前クリニック	0985-22-2111	会員代表者	880-0812	宮崎市高千穂通2-7-14	18	16
野間内科クリニック	0985-77-5775	会員代表者	880-0823	宮崎市北権現町220-1	5	6
生目台カリヨンクリニック	0985-77-7501	会員代表者	880-0942	宮崎市生目台東4-6-1	5	5
プレストセンターさがらクリニック宮崎	0985-23-5400	会員代表者	880-0015	宮崎市大工1-10-28ひむかワールドビル6F	0	4
おおつか生協クリニック	0985-52-6715	会員代表者	880-0951	宮崎市大塚町大迫南平4401-1	5	4
和知川原生協クリニック	0985-23-0050	飯干 真代	880-0023	宮崎市和知川原2-25-1	4	4
市民の森クリニック	0985-39-7630	会員代表者	880-0122	宮崎市大字塩路2783-37	2	3
このはな生協クリニック	0985-58-1222	会員代表者	889-2151	宮崎市大字熊野1613	4	3
メンタルヘルスマネジメント宮崎CLEAR	080-3908-5574	赤松 照美	880-0013	宮崎市橋通東4-1-4河北ビル 1階	1	1
のざきクリニック	0985-61-7751	会員代表者	880-0879	宮崎市宮崎駅東3-9-13	1	1
こごうメンタルクリニック	0985-55-1777	小野 綾子	880-0905	宮崎市中村西3-2-33	1	1
宮崎鶴田記念クリニックがん診断センター	0985-31-3719	会員代表者	880-0835	宮崎市阿波岐原町宝財2281-1	0	0
マナビヤ在宅クリニックun	0985-41-6310	会員代表者	880-0865	宮崎市松山2-2-32 TMビル5F	0	0
ふくどめクリニック	0985-41-7700	会員代表者	880-0924	宮崎市大字郡司分甲1600-1	0	0
あおやま訪問・救急クリニック	050-5530-4013	会員代表者	880-0041	宮崎市池内町榎迫523-25	0	0
きら助産院	0985-74-0693	白池 晶	880-0301	宮崎市佐土原町上田島1144-36	1	1
Family Care House とも	090-3662-0086	森 伴子	880-0053	宮崎市神宮1-235	1	1
はた産婦人科	0985-25-3511	会員代表者	880-0023	宮崎市和知川原1-107	1	1
宮崎市保健所	0985-29-4102	会員代表者	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-2	19	21
宮崎市役所	0985-42-6442	会員代表者	880-0001	宮崎市橋通西1-1-1		
宮崎県福祉保健部医療政策課	0985-26-7450	藤村 涼子	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	17	19
宮崎県福祉保健部健康増進課	0985-26-7078	井手 香	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1		
宮崎県福祉保健部障がい福祉課	0985-32-4471	会員代表者	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1		
宮崎県福祉保健部長寿介護課	0985-44-2605	会員代表者	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1		
宮崎県中央保健所	0985-28-2111	松尾 祐子	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	8	9
国富町保健センター	0985-75-3553	会員代表者	880-1101	東諸県郡国富町本庄4991	4	4
宮崎県総務事務センター健康管理担当	0985-26-7013	会員代表者	880-0805	宮崎市旭1-2-1	2	2
宮崎県警察本部警務部厚生課	0985-31-0110	会員代表者	880-8509	宮崎市旭1丁目8-28	0	2
宮崎県病院局経営管理課	0985-26-0224	会員代表者	880-8501	宮崎市橋通東1-9-10	2	2
宮崎県健康づくり協会	0985-27-2684	岩崎 恵子	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	2	2
宮崎県精神保健福祉センター	0985-27-5663	永田 千佳代	880-0032	宮崎市霧島町1-1-2	2	2
宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センター	0985-77-9106	会員代表者	880-2102	宮崎市大字有田1173宮崎市郡医師会病院1階	2	2
宮崎市総合発達支援センター	0985-21-1616	会員代表者	880-0834	宮崎市新別府町久保田657-4	1	1
中央東・檍北地区地域包括支援センター	0985-60-0828	黒木 克伸	880-0834	宮崎市新別府町久保田683-1	2	1
宮崎県身体障害者相談センター	0985-29-2556	会員代表者	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	1	1
訪問看護ステーション一ツ葉	0985-64-8195	齋藤 由美子	880-0834	宮崎市新別府町江口950-1	7	13
古賀訪問看護ステーションあおぞら	0985-39-8127	久保 孝子	880-0041	宮崎市池内町数太木1763-3	12	13
訪問看護ステーション やわらぎ	0985-48-0316	会員代表者	880-2112	宮崎市小松1119	0	9
訪問看護ステーションなでしこ2号館	0985-30-1876	那須 聰子	880-0211	宮崎市佐土原町下田島12220-9	9	8
訪問看護ステーションなでしこ3号館	0985-55-6712	中村 久美	889-1604	宮崎市清武町船引644-62新町橋レジデンス1F	7	8
訪問看護ステーションれいんぼう	0985-23-7728	会員代表者	880-0023	宮崎市和知川原町2-25-1	8	8
訪問看護ステーションなんぶ	0985-78-5808	竹本 美希	880-0925	宮崎市大字本郷北方字津和田3373-1	8	7
訪問看護ステーション結	0985-78-3588	会員代表者	880-0942	宮崎市生目台東1丁目20番地3沖田ビル1F	3	5

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30現在	R6年度
訪問看護ステーションGLEEE	0985-78-4208	岡原 優	880-0832	宮崎市稗原町19番地	4	5
訪問看護ステーションぱりおん	0985-72-8787	久保野 イツ子	880-0805	宮崎市橋通東 3-1-31	2	4
訪問看護ステーションのびやか	0985-62-0811	外園 亨	880-0837	宮崎市村角町北田134-6	4	4
城ヶ崎訪問看護ステーションなのはな	0985-51-6800	会員代表者	880-0917	宮崎市大字城ヶ崎3-2-1	4	4
きずケア訪問看護リハビリステーション	0985-71-1600	会員代表者	880-0872	宮崎市永楽町77田野ビル203	5	3
訪問看護ステーション夢紡ぎ	0985-89-6003	小野 俊一	880-0913	宮崎市恒久3丁目30番地24	3	3
みやざき訪問看護ステーション	0985-32-7070	会員代表者	880-0003	宮崎市高松町2-16	1	3
ココロとカラダのリハビリステーションほのか	0985-64-9950	会員代表者	889-1612	宮崎市清武町岡1-14-4	3	3
訪問ケア・ステーションにじ	0985-69-8411	会員代表者	889-1613	宮崎市清武町西新町11-6エスペランザ清武103	3	3
訪問看護ステーションすずり	0985-40-2280	今井 集一千	880-0907	宮崎市淀川3丁目10-12日高ビル1階	3	3
訪問看護ステーションTOMO宮崎	0985-20-2727	中村 友一	880-0835	宮崎市阿波岐原町前浜4276-673	1	2
セントケア訪問看護ステーション宮崎	0985-31-4351	会員代表者	880-0024	宮崎市祇園2丁目23番地2	0	2
訪問看護ステーションあいに	0985-55-0575	会員代表者	880-0951	宮崎市大塚町窪田3326-202	1	2
訪問看護ステーション翔	0985-65-7010	佐師 マキ	880-0925	宮崎市本郷北方2708ケアタウン飛鳥	2	2
訪問看護ステーションらふたーらいふ	0985-35-7410	中武 悅子	880-0056	宮崎県宮崎市神宮東2-3-55河崎ビル203	1	1
訪問看護ステーションCalm	0985-72-9844	会員代表者	880-0854	宮崎市一の宮町79シャンテの宮101	1	1
OUR訪問看護ステーション	0985-77-8266	中田 志保	880-0036	宮崎市花ヶ島町南赤江町2096-1-2F	1	1
訪問看護ステーションこみどり	0985-58-3311	会員代表者	889-2151	宮崎市熊野470-2	1	1
訪問看護ステーションハピネス	0985-78-3393	中田 彰子	880-0916	宮崎市昭栄町80番地	1	1
訪問看護ステーションゆずり葉	0985-86-8210	会員代表者	880-0124	宮崎市新名爪4450-1	0	1
訪問看護ステーションおあふ	0985-69-6538	梅原 敏行	889-1613	宮崎市清武町西新町11-3	2	1
訪問看護ステーション夢	0985-88-1683	会員代表者	880-2112	宮崎市大字小松260番地	2	1
訪問看護ステーション葵	0985-89-5535	会員代表者	880-2111	宮崎市大字柏原425-1階	1	1
あいづ訪問看護ステーション宮崎	0985-67-5088	会員代表者	880-0951	宮崎市大塚町乱橋4551-1ユーワホームズ本社ビル1階	1	1
訪問看護ステーションaika	0985-34-9420	黒木 章太	883-0036	宮崎市大島町馬場尻1898-1	1	1
訪問看護ステーション真ごころ	0985-65-7738	川畑 初美	880-0907	宮崎市大淀川3丁目3-11日栄コーポ205	2	1
訪問看護ステーションたすと	0985-78-2321	会員代表者	880-0853	宮崎市中西町165-1	1	1
コンパス訪問看護宮崎	0985-71-2291	会員代表者	880-0055	宮崎市南花ヶ島町331-1	0	1
訪問看護ステーション希星	0985-30-6601	松下 理絵	880-1102	東諸県郡国富町大字宮王丸154-8	1	1
SOU訪問看護ステーション宮崎	0985-22-4210	槇 由香理	883-0040	宮崎市吉村町浮之城甲16-1	2	0
訪問看護ステーション燐久寿	0985-71-0755	会員代表者	880-2112	宮崎市大字小松301-1	1	0
訪問看護ステーションCAN	0985-89-6188	赤木 佳世	883-0043	宮崎市大字島之内6321-2清田アパート201	1	0
介護老人保健福祉施設ひむか苑	0985-47-3434	山本 直美	880-2112	宮崎市大字小松1158	14	15
介護老人保健施設春草苑	0985-39-8899	宮永 由美	880-0041	宮崎市池内町太木1749-1	9	9
介護老人保健施設サンヒルきよたけ	0985-84-0333	会員代表者	889-1601	宮崎市清武町木原5886-16	6	6
介護老人保健施設シルバーケア野崎	0985-28-2225	西田 香	880-0837	宮崎市村角町高尊2105	3	6
こどもとおとの訪問看護 ろっくと★ステーション	0985-89-4717	坂本 郁代	880-2101	宮崎市跡江665こどもとおとの訪問看護	3	4
住宅型有料老人ホーム輪（りん）	0985-48-5300	会員代表者	880-2102	宮崎市有水流田ノ上324-1	2	3
認定NPO法人ホームホスピス宮崎かあさんの家	0985-53-6056	会員代表者	880-0913	宮崎市恒久2-19-6	1	2
タナカ在宅クリニック	0985-55-0225	会員代表者	880-0211	宮崎市佐土原町下田島20297-45	2	2
看護小規模多機能型居宅介護事業所やわらぎ	0985-47-6707	横山 美香	880-2112	宮崎市大字小松1133カーサ・アルバ壱番館2階	4	2
一般社団法人レイール	090-6490-1880	野崎 仁美	880-0927	宮崎市源藤町原田368-1串間ビル203	1	1
☆在宅看護☆すてら	050-55274-2000	会員代表者	880-0927	宮崎市源藤町原田368-1串間ビル401	1	1
特別養護老人ホームしらふじ	0985-41-0012	会員代表者	880-2231	宮崎市糸原400	0	1
ニチイケアセンター神宮	0985-35-7161	会員代表者	880-0033	宮崎市神宮西2丁目138番地	1	1
グループホーム 太陽の丘	0985-85-8668	会員代表者	889-1601	宮崎市清武町木原5886-4	1	1
介護老人保健施設あおしまのいえ	0985-65-1122	会員代表者	889-2162	宮崎市青島4-6-3	1	1
特別養護老人ホーム悠楽園	0985-47-5377	会員代表者	880-2102	宮崎市大字跡江2366	0	1
有料老人ホームはくじゅ	0985-74-7070	会員代表者	883-0042	宮崎市大字赤江字飛江田1052-1	1	0
宮崎県看護協会事務局	0985-58-0622	久保 敦子	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6	22	22
宮崎県看護連盟	0985-58-2724	渡部 京子	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6	4	4

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30現在	R6年度
九州電力宮崎支店	0985-26-9164	会員代表者	880-8544	宮崎市橘通西4-2-23	2	2
宮崎県難病相談・支援センター	0985-31-3414	松田 のり子	880-0007	宮崎市原町2-22	1	1
カーサ・アルバ壱番館2F看護小規模多機能	0985-47-6707	会員代表者	880-2112	宮崎市小松1133	0	1

都城・北諸県地区(都城市、三股町)839名

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30現在	R6年度
都城市郡医師会病院	0986-36-8300	上森 妃美	885-0002	都城市太郎坊町1364-1	260	274
藤元総合病院	0986-22-1717	荒武 昌代	885-0055	都城市早鈴町17-1	126	188
独立行政法人国立病院機構都城医療センター	0986-23-4111	田中 久美	885-0014	都城市祝吉町5033-1	162	178
藤元病院	0986-25-1315	中山 秋子	885-0055	都城市早鈴町17-4	71	98
大悟病院	0986-52-5800	谷口 光恵	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	82	97
横山病院	0986-22-2806	会員代表者	885-0083	都城市都島町506	21	24
メディカルシティ東部病院	0986-22-2240	西 照代	885-0035	都城市立野町3633-1	17	19
宮永病院	0986-22-2015	中堂菌 明人	885-0077	都城市松元町15-10	18	17
三州病院	0986-22-0230	会員代表者	885-0037	都城市花繚町3-14	11	14
小牧病院	0986-24-1212	会員代表者	885-0035	都城市立野町5-5-1	4	13
藤元上町病院	0986-23-4000	会員代表者	885-0072	都城市上町10-24	8	8
宮田眼科病院	0986-22-1441	会員代表者	885-0051	都城市蔵原町6-3	1	6
吉見病院	0986-58-2335	会員代表者	885-1202	都城市高城町穂満坊457-1	3	3
倉内整形外科病院	0986-22-1252	会員代表者	885-0072	都城市上町16-6	0	2
都城新生病院	0986-22-0280	会員代表者	885-0093	都城市志比田町3782	1	1
城南病院	0986-23-2844	会員代表者	885-0026	都城市大王町30-5	0	1
森山内科・脳神経外科	0986-21-5000	会員代表者	885-0082	都城市南鷹尾24-20	5	6
ベテスダクリニック	0986-22-1700	会員代表者	885-0017	都城市年見町23-12	1	1
すみ産婦人科医院	0986-23-1152	会員代表者	885-0052	都城市東町14街区9-1号	5	5
野田医院	0986-24-8553	会員代表者	885-0051	都城市蔵原町9-18	2	3
中山産婦人科医院	0986-23-8815	会員代表者	885-0025	都城市前田町17街区32	2	2
えりこ助産院	0986-39-3234	会員代表者	885-0063	都城市梅北町4265-2	1	1
宮崎県都城保健所	0986-23-4504	益留 真由美	885-0012	都城市上川東3-14-3	9	11
南部福祉こどもセンター	0986-22-4294	会員代表者	885-0017	都城市年見町14-1-1	1	1
訪問看護ステーション優癒	0986-58-3678	梅垣 亜由美	885-1203	都城市高城町大井手2167-41	5	6
訪問看護ステーションほほえみの園	0986-36-8177	井阪 さおり	885-0042	都城市上長飯町5-1	5	5
藤元総合訪問看護ステーション	0986-25-1330	会員代表者	885-0055	都城市早鈴町17-1	1	5
都城市郡医師会立訪問看護ステーション	0986-57-0086	岩満 雪美	885-0002	都城市太郎坊町1364-1	5	5
訪問看護ステーション紬(つむぎ)	0986-51-4758	会員代表者	885-0035	都城市立野町3633-1	3	4
訪問看護ステーションひだまり	0986-25-4285	会員代表者	885-0093	都城市志比田町4539-1	1	1
訪問看護ステーションcocoro美	0986-77-8186	会員代表者	885-0042	都城市上長飯町58-13	1	1
三股町訪問看護ステーションなごみ	0986-52-7133	栗山 誓子	889-1901	北諸県郡三股町大字樺山3384-2	1	1
みやこばるこども縁	0986-22-4323	会員代表者	885-0094	都城市都原町11-5	0	2
介護老人保健施設 すこやか苑	0986-39-1107	安藤 美保	885-0062	都城市大岩町5812	1	1
星空の都なかごう	0986-39-1111	会員代表者	885-0043	都城市豊満町2647	1	1
介護老人保健施設 はまゆう	0986-51-0001	会員代表者	889-1914	北諸県郡三股町蓼池660	1	1
メンタルサポートyuki	0986-66-5136	山元 英之	885-0033	都城市西町3735-1	1	1
シニアのためのフィットネス遊癒	0986-36-7872	廣瀬 美奈子	885-0055	都城市早鈴町1990イオン都城ショッピングセンター2F	1	1
一般社団法人都城市北諸県郡医師会	0986-22-0711	会員代表者	885-0073	都城市姫城町8街区23号	1	1

小林・えびの・西諸県地区(小林市、えびの市、高原町) 360名

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30 現在	R6年度
小林市立病院	0984-23-4711	武田 愛	886-8503	小林市細野2235-3	100	102
池井病院/介護老人保健施設みづほ	0570-00-4151	有村 直子	886-0007	小林市大字真方87	38	58
整形外科前原病院	0984-23-1711	津貫 恵子	886-0004	小林市大字細野2033	45	56
野尻中央病院	0984-44-1141	会員代表者	886-0212	小林市野尻町東麓1176	38	53
国民健康保険高原病院	0984-42-1022	古川 裕恵	889-4412	西諸県郡高原町大字西麓871	28	29
整形外科押領司病院	0984-22-3131	会員代表者	886-0004	小林市大字細野162	22	26
えびの市立病院	0984-33-1023	山之口 和樹	889-4301	えびの市原田3223	21	21
内村病院	0984-23-2575	小川 賢二	886-0002	小林市水流追852-1	18	16
園田病院	0984-22-2221	林 一美	886-0003	小林市大字堤3005-1	7	10
桑原記念病院	0984-22-4138	会員代表者	886-0004	小林市大字細野167	4	9
池田病院	0984-23-3535	会員代表者	886-0007	小林市大字真方27-1	3	3
川井田医院	0984-42-2000	会員代表者	889-4412	西諸県郡高原町西麗173-3	0	1
楨内視鏡内科医院	0984-22-2819	会員代表者	886-0007	小林市大字真方242	6	6
堀胃腸科外科医院	0984-23-3988	会員代表者	886-0004	小林市細野436-10	1	1
沖内科・小児科医院	0984-22-4043	会員代表者	886-0004	小林市細野59-8	1	1
押川病院	0984-44-1005	会員代表者	886-0212	小林市野尻町東麓1082-1	2	1
京町共立クリニック	0984-37-1011	会員代表者	889-4151	えびの市大字向江508	0	2
宮崎県小林保健所	0984-23-3118	高藤 ユキ	886-0003	小林市堤3020-13	9	9
のじり地域包括支援センター	0984-44-2271	会員代表者	886-0212	小林市野尻町東麓1159-3	1	1
高原町総合保健福祉センター「ほほえみ館」	0984-42-4820	中村 みどり	889-4412	西諸県郡高原町大字西麓360-1	2	1
訪問看護ステーションひかり	0984-33-6300	会員代表者	889-4301	えびの市大字原田2200-9	5	5
訪問看護ステーションなでしこ1号館	0984-24-1828	高野 久美子	886-0003	小林市堤2260-1	4	4
訪問看護ステーションおじやったもんせ	0984-27-3133	山本 美由紀	886-0003	小林市堤3702番地2	2	2
訪問看護ステーションケアふる	0984-35-1601	北原 優子	889-4221	えびの市大字栗下209-5	1	1
ケアサポートステーションすみれ	0984-33-3405	会員代表者	886-0003	小林市堤3742-12	0	1
訪問看護ステーションなごみ	0984-25-7101	浅利 唯斗	886-0212	小林市野尻町東麓1085-2	1	1
福祉タクシー きずな	090-1515-3844	四位 純徳	886-0004	小林市細野2294-1	1	1

日南・串間地区(日南市、串間市) 477名

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R7.4.30 現在	R6年度
宮崎県立日南病院	0987-23-3111	大木 郁美	887-0013	日南市木山1-9-5	211	242
愛泉会日南病院	0987-23-3131	山中 ゆかり	887-0034	日南市大字風田3649-2	77	90
串間市民病院	0987-72-1234	清水 小百合	888-0001	串間市大字西方7917	58	61
日南市立中部病院	0987-27-1111	川越 百合子	889-3141	日南市大堂津5-10-1	55	57
谷口病院	0987-23-1331	会員代表者	887-0034	日南市大字風田3861	26	32
春光会記念病院	0987-22-2324	会員代表者	889-2533	日南市大字星倉4600-1	10	11
おび中央病院	0987-25-2525	会員代表者	889-2535	日南市飫肥6-2-28	11	11
県南病院	0987-72-0224	大塚 民子	888-0001	串間市大字西方3728	6	6
宮崎県日南保健所	0987-23-3141	武田 靖子	889-2536	日南市吾田西1-5-10	12	9
なないろ訪問看護ステーション	0987-27-3133	崎田 聰美	889-2536	日南市吾田西3-8-23星のグリーンテラス内	4	3
はまぼう訪問看護ステーション	0987-27-0021	作本 愛	889-3143	日南市下方1376-4	1	2
日南慶明会訪問看護ステーション	0987-55-1515	会員代表者	889-2535	日南市飫肥6丁目6番5号	2	2
訪問看護ステーション凜	0987-55-0950	瀬戸口 麻美	889-2532	日南市大字板敷858-4	0	1
訪問看護ステーション笑生	0987-55-9600	会員代表者	880-0055	日南市吾田西3-10-23	1	0
居宅プランなごみ	0987-32-0017	野辺 子つる	887-0024	日南市大字西弁分137	2	2
介護老人保健施設おびの里	0987-25-2012	会員代表者	889-2535	日南市飫肥6-1-15	1	1

大学・学校 194 名

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R7. 4. 30 現在	R6年度
延岡看護専門学校	0982-21-1304	門田 広美	882-0856	延岡市出北6丁目1621番地	13	15
聖心ウルスラ学園高等学校	0982-33-3203	会員代表者	882-0863	延岡市緑ヶ丘5丁目1番地12号	8	12
宮崎県立看護大学	0985-59-7700	長鶴 美佐子	880-0929	宮崎市まなび野3-5-1	48	48
フィオーレKOGA看護専門学校	0985-38-8010	園田 清美	880-0879	宮崎市宮崎駅東2-2-10	13	13
九州医療科学大学専門学校	0985-29-5340	中村 明子	880-0867	宮崎市瀬頭2丁目1-10	11	11
宮崎大学医学部看護学科	0985-85-9816	大川 百合子	889-1692	宮崎市清武町木原5200	18	16
鵬翔高等学校	0985-52-0880	日向 加穂子	880-0916	宮崎市大字恒久4336	19	17
宮崎看護専門学校	0985-77-9102	会員代表者	880-2102	宮崎市大字有田1173	12	12
日南学園高等学校宮崎類学館・田野看護専攻科	0985-86-1021	中野 里美	889-1702	宮崎市田野町乙10905	2	3
児湯准看護学校	0983-23-2008	会員代表者	884-0002	児湯郡高鍋町大字北高鍋160-1	4	4
小林看護医療専門学校	0984-27-3010	深見 信子	886-0009	小林市駅南309番地	11	11
宮崎医療福祉専門学校	0983-42-1010	会員代表者	881-0004	西都市大字清水1000	9	10
国立病院機構都城医療センター附属看護学校	0986-22-3690	山本 真由美	885-0014	都城市祝吉町5033-1	5	5
都城看護専門学校	0986-22-0775	会員代表者	885-0073	都城市姫城町8-23	11	13
日南学園高等学校日南看護専攻科	0987-23-1152	会員代表者	887-0031	日南市吾田東3-5-1	1	2
日南看護専門学校	0987-23-1883	小川 淳子	887-0013	日南市木山2-4-16	7	9
学校法人櫻美学園櫻美学園高等学校	0986-52-1010	会員代表者	889-1996	北諸県郡三股町大字樺山1996	1	0
藤元メデカルシステム看護大学校	0986-52-6921	竹ノ内 道子	889-1911	北諸県郡三股町大字長田字丸岡1258-1	1	4

個人会員 842 名

延岡・西臼杵地区	98名	日向・東臼杵地区	61名	西都・児湯地区	62名
宮崎・東諸県地区	426名	都城・北諸県地区	103名	小林・えびの・西諸県地区	48名
日南・串間地区	36名	県外	8名		

日本看護協会名誉会員 5 名

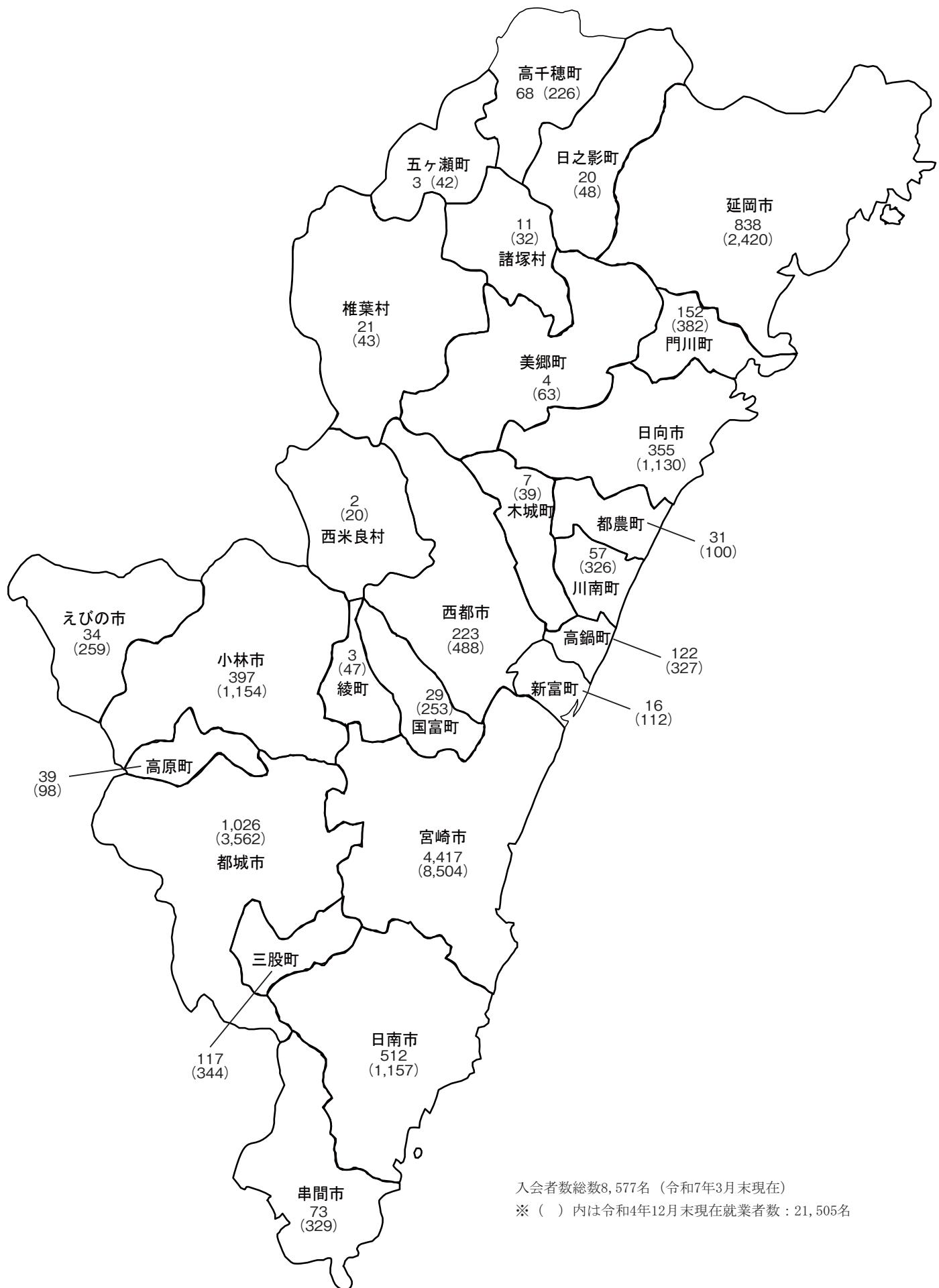
鈴木 昌子
山口 もと代
串間 秀子
瀬口 チホ
林 チエ子

宮崎県看護協会年次別入会者数

令和7年3月31日現在

年度	保健師	助産師	看護師	准看護師	計	増減
57	195	1,625		502	2,322	
58	204	96	1,611	497	2,408	86
59	207	101	1,666	463	2,437	29
60	208	114	1,907	460	2,689	252
61	211	111	1,953	451	2,726	37
62	218	116	2,084	442	2,860	134
63	237	123	2,164	478	3,002	142
平成 元	240	112	2,291	482	3,125	123
2	235	126	2,340	485	3,186	61
3	239	120	2,438	471	3,268	82
4	248	110	2,520	499	3,377	109
5	234	122	2,604	554	3,514	137
6	220	127	2,721	571	3,639	125
7	222	130	3,020	569	3,941	302
8	221	132	3,177	596	4,126	185
9	239	143	3,445	642	4,469	343
10	244	149	3,822	724	4,939	470
11	266	137	4,043	699	5,145	206
12	256	157	4,139	666	5,218	73
13	245	166	4,221	671	5,303	85
14	248	167	4,502	697	5,614	311
15	247	164	4,760	659	5,830	216
16	216	176	4,947	720	6,059	229
17	249	180	5,081	731	6,241	182
18	249	176	5,276	738	6,439	198
19	236	196	5,552	769	6,753	314
20	227	193	5,786	788	6,994	241
21	231	209	6,070	834	7,344	350
22	243	217	6,324	800	7,584	240
23	241	233	6,470	771	7,715	131
24	234	222	6,670	783	7,909	194
25	222	229	6,789	760	8,000	91
26	225	233	6,949	749	8,156	156
27	226	234	7,099	704	8,263	107
28	212	236	7,200	641	8,289	26
29	229	220	7,272	609	8,330	41
30	232	230	7,571	620	8,653	323
令和 元	225	253	7,750	593	8,821	168
2	229	242	7,864	576	8,911	90
3	226	251	7,931	535	8,943	32
4	223	258	7,967	487	8,935	△ 8
5	225	261	7,884	431	8,801	△ 134
6	195	237	7,751	394	8,577	△ 224

県内就業者数と入会状況（令和6年度）



入会者数総数8,577名（令和7年3月末現在）

※ () 内は令和4年12月末現在就業者数：21,505名

率会入數員會

(1) 周年会員数は、令和6年3月31現在の会員数で算出。
 (2) 「会員率」は、令和6年3月31現在の会員数により、各都道府県の会員納入者数(令和5年度算出額)とは異なる。

(4) 「保健師」、「看護師」、「准看護師」欄の()内は男子の再掲。

日本看護協会歌

光 求めて

山本 敏子 作詞
小椋 佳 補作詞・作曲

1. 大空のもと 光求めて
看護の心 胸深く
両手にかざす 愛のほむらは
静かに燃える 優しく燃える
今 この時 そして明日に

2. さざなみに揺れ 光求めて
看護の願い 胸熱く
つなぐその手に 通う血潮は
さやかにとける 優しくとける
ただ ひとすじ またひたむきに

3. そよ風に乗り 光求めて
看護の祈り 胸清く
枕べにたつ 花の香りは
ほのかに匂う 優しく匂う
今 この時 そして明日に
今 この時 そして明日に

The musical score is a staff-based representation of the song's melody and harmonic progression. Each staff begins with a clef (G-clef for the top two staves, F-clef for the bottom two), a key signature (one sharp for C major), and a 3/4 time signature. The lyrics are placed directly beneath the corresponding notes. Chords are marked above the staff at various points.



かんごちゃん

公益社団法人宮崎県看護協会

〒889-2155

宮崎県宮崎市学園木花台西 2-4-6

TEL : 0985-58-0622

FAX : 0985-58-2939